

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和8年6月22日

長崎県知事 殿

提出者

住 所 福岡県福岡市中央区薬院 1－1 4－5

氏 名 西松建設株式会社九州支社

執行役員支社長 高橋 一太

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0 9 2－7 7 1－4 1 2 4（担当：浦吉）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	西松建設株式会社 九州支社
事 業 場 の 所 在 地	福岡県福岡市中央区薬院 1－1 4－5
事 業 の 種 類	総合建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2, 141. 20 t	全 処 理 委 託 量	2, 141. 20 t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	0. 00 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2, 139. 11 t
自 ら 熱 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	0. 00 t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2, 141. 20 t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	0. 00 t	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0. 00 t
自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 棄 処 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	0. 00 t	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0. 00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

(単位: トン)

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用した量

0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

0.00

自ら中間処理
した量

0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

380.05

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

380.05

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

380.05

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

0.00

項目	実績値
①排出量	380.05
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減 量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	380.05
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	380.05
⑫再生利用業者への処理 委託量	380.05
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

(単位: トン)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

14.53

自ら直接
再生利用した量

②

0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0.00

自ら中間処理
した量

④

0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0.00

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

14.53

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

14.53

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

14.53

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0.00

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0.00

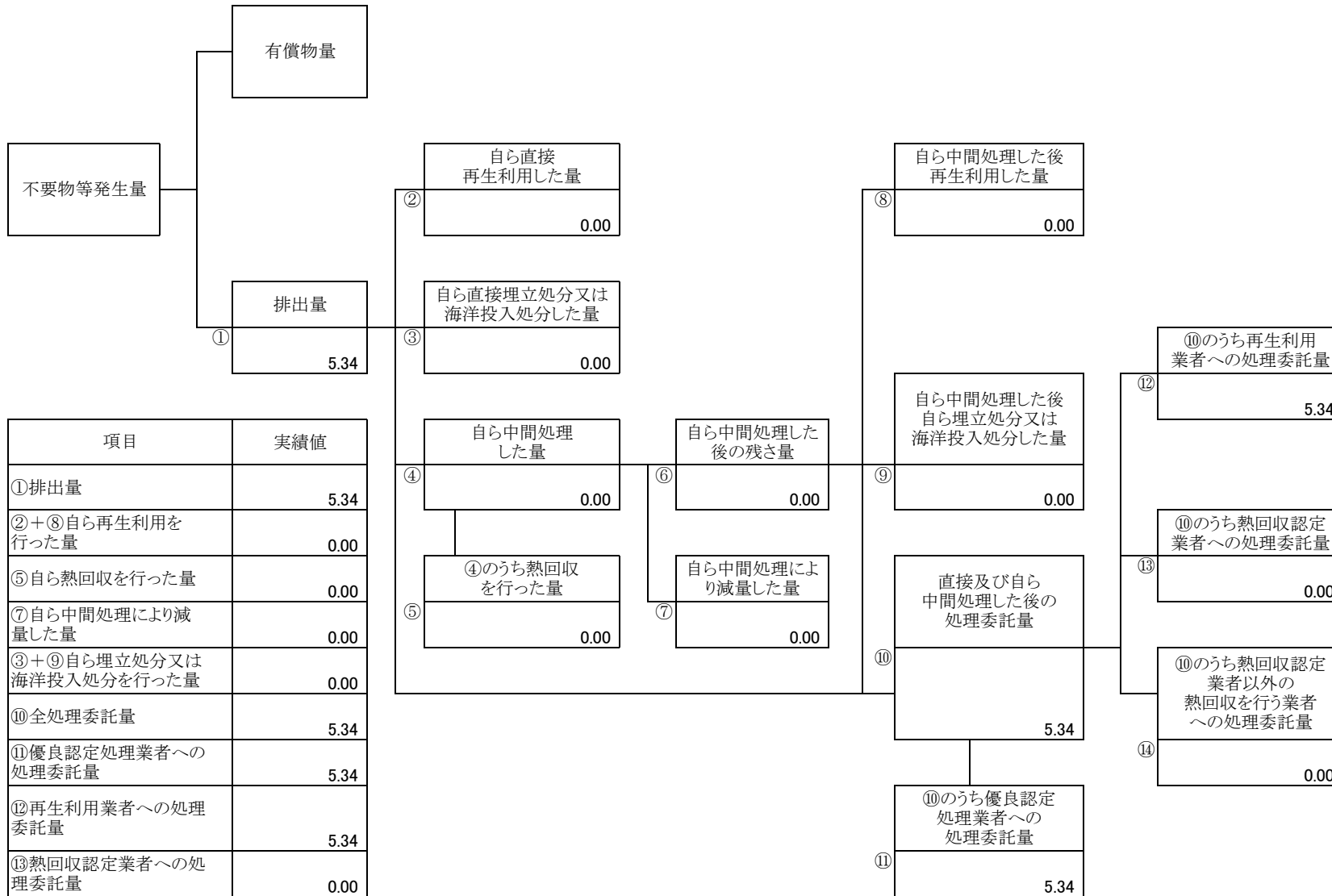
項目	実績値
①排出量	14.53
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減 量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	14.53
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	14.53
⑫再生利用業者への処理 委託量	14.53
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

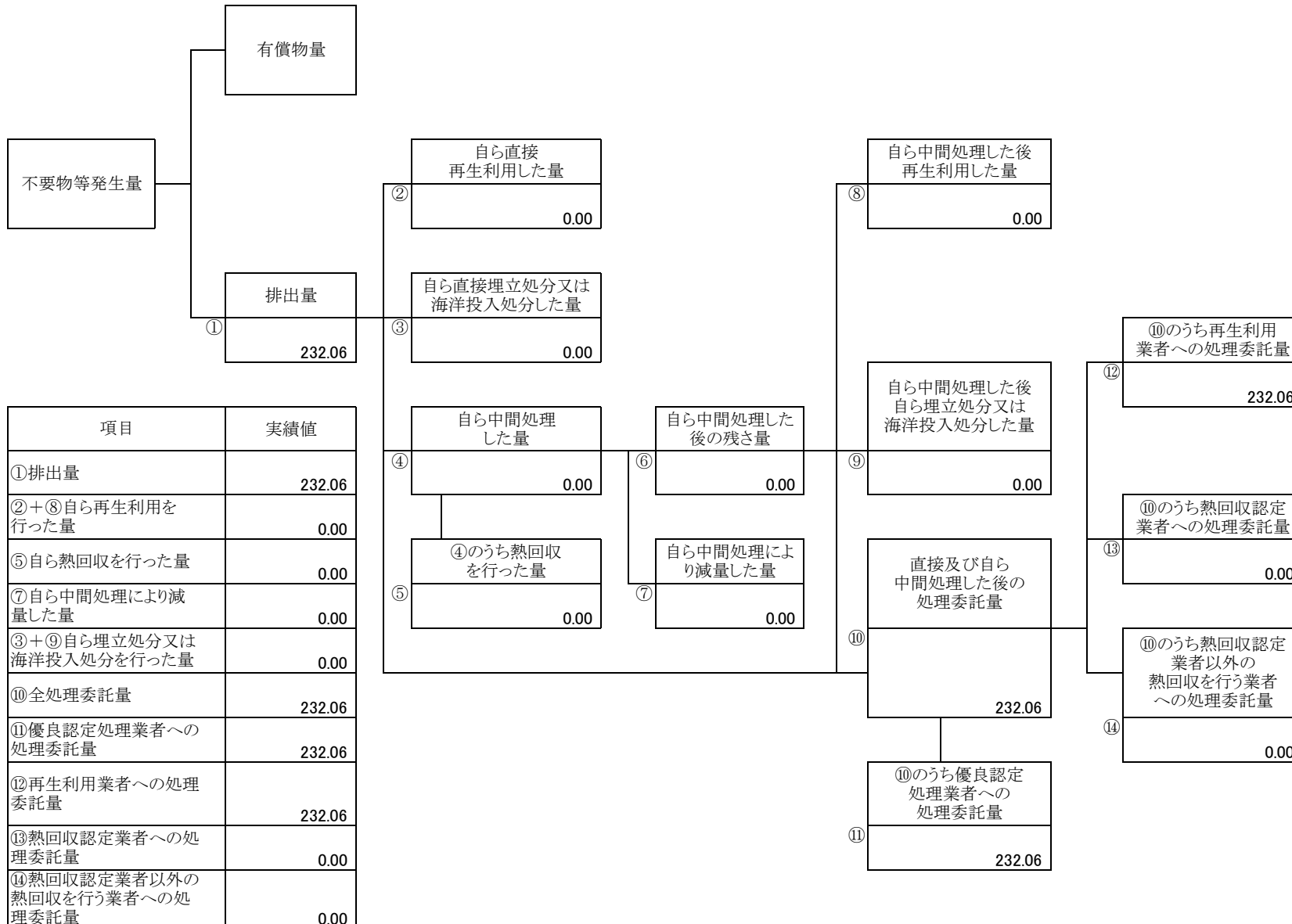
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

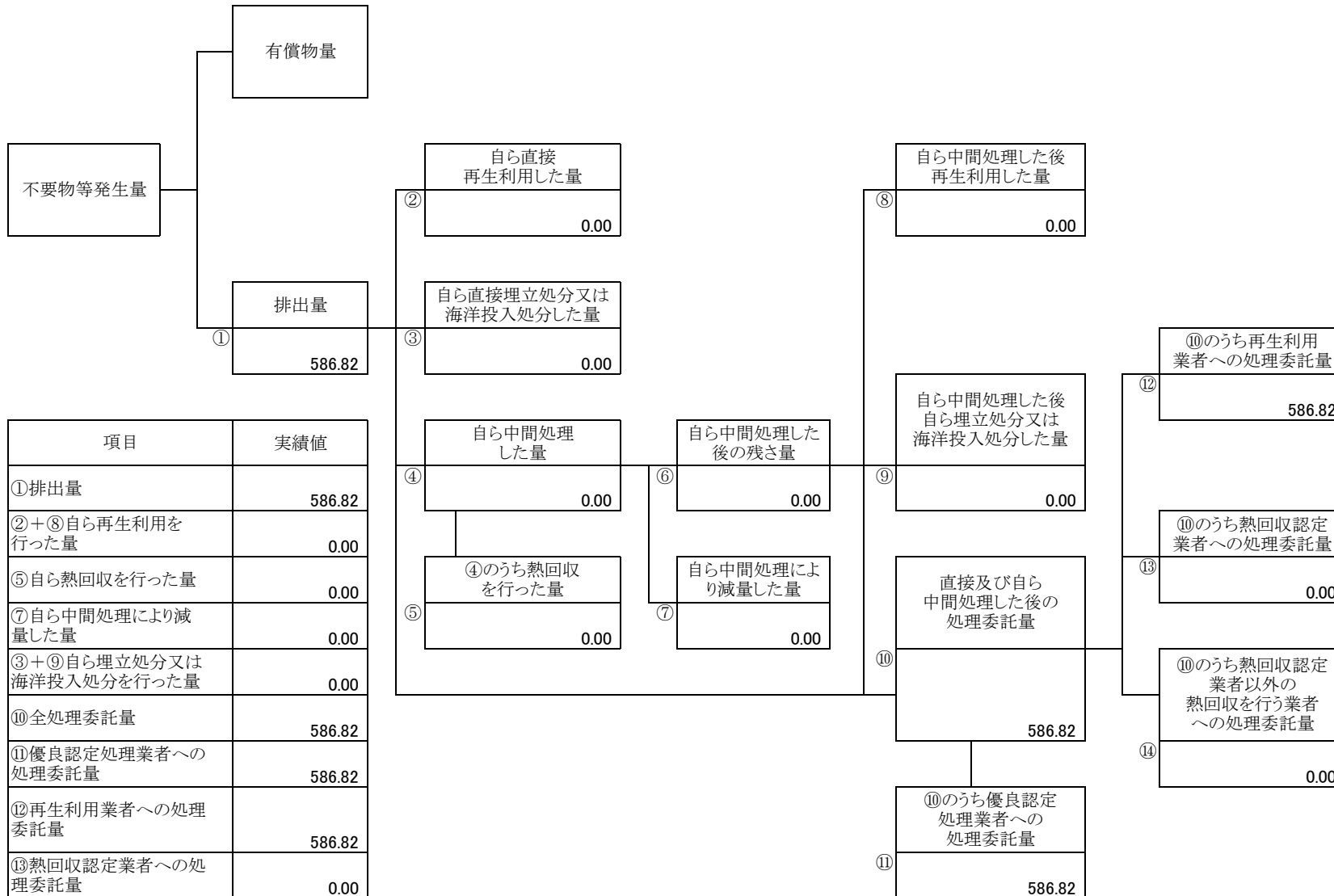
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

(単位: トン)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

1.48

自ら直接
再生利用した量

②

0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0.00

自ら中間処理
した量

④

0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0.00

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

1.48

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

0.00

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0.00

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

1.48

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

1.48

④のうち熱回収
を行った量

⑤

0.00

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0.00

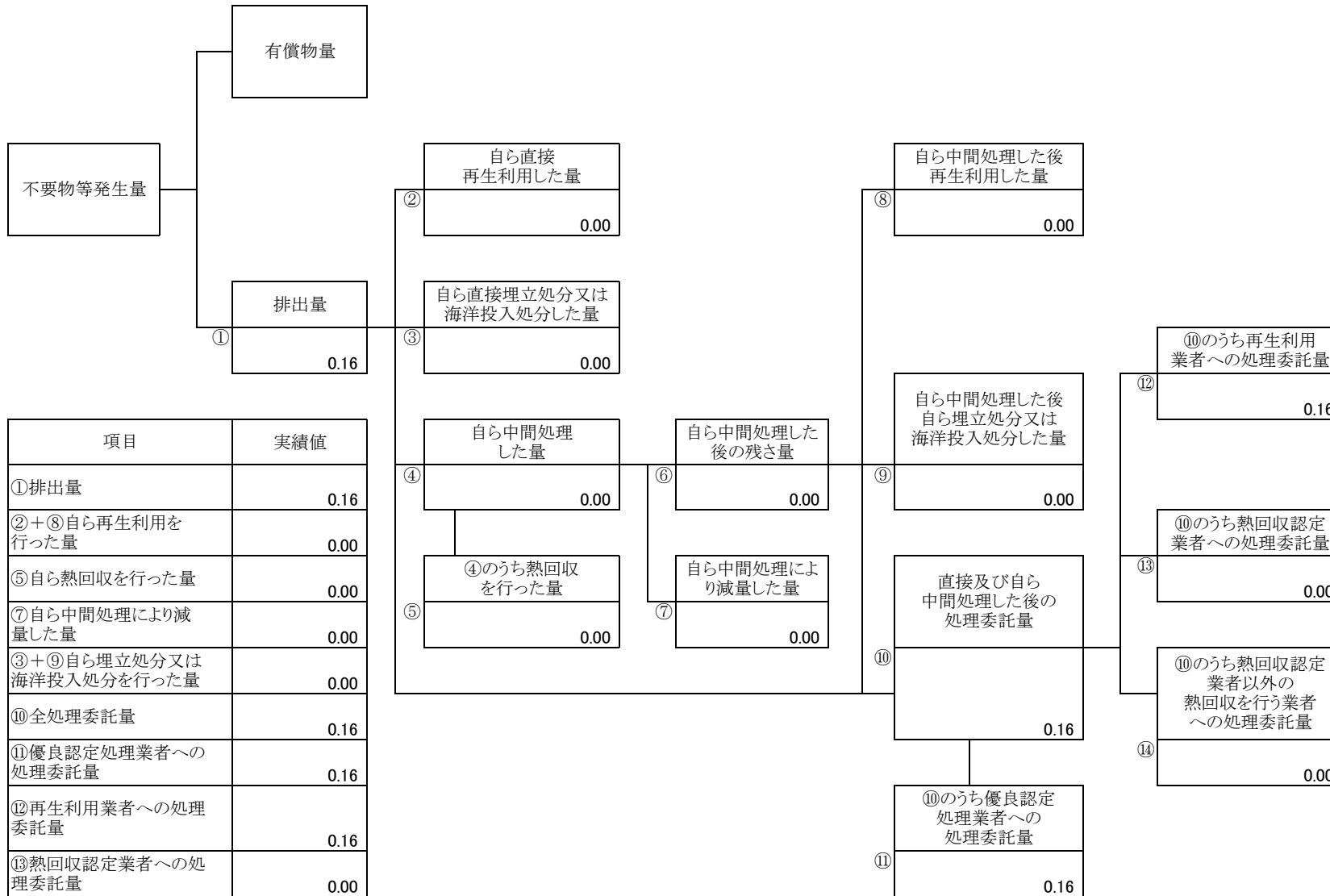
項目	実績値
①排出量	1.48
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減 量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.48
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	1.48
⑫再生利用業者への処理 委託量	1.48
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

(単位: トン)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和8年 6月 23日

長崎県知事 平田 研 殿

提出者

住 所 長崎県諫早市貝津町 1008

氏 名 西日本高速道路メンテナンス九州㈱

長崎保全センター センター長 窪 陸

電話番号 0957-25-2153

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	西日本高速道路メンテナンス九州㈱ 長崎保全センター
事業場の所在地	長崎県 諫早市 貝津町 1008
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年 4月1日 ～ 令和8年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2791.0 t	全処理委託量	2791.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	優良認定処理業者への処理委託量	—
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	再生利用業者への処理委託量	2726.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	認定熱回収業者への処理委託量	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

※事務処理欄



(日本産業規格 A列4番)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)

不要物等発生量

有償物量

排出量
①

自ら直接再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③

項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した量
④

④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫

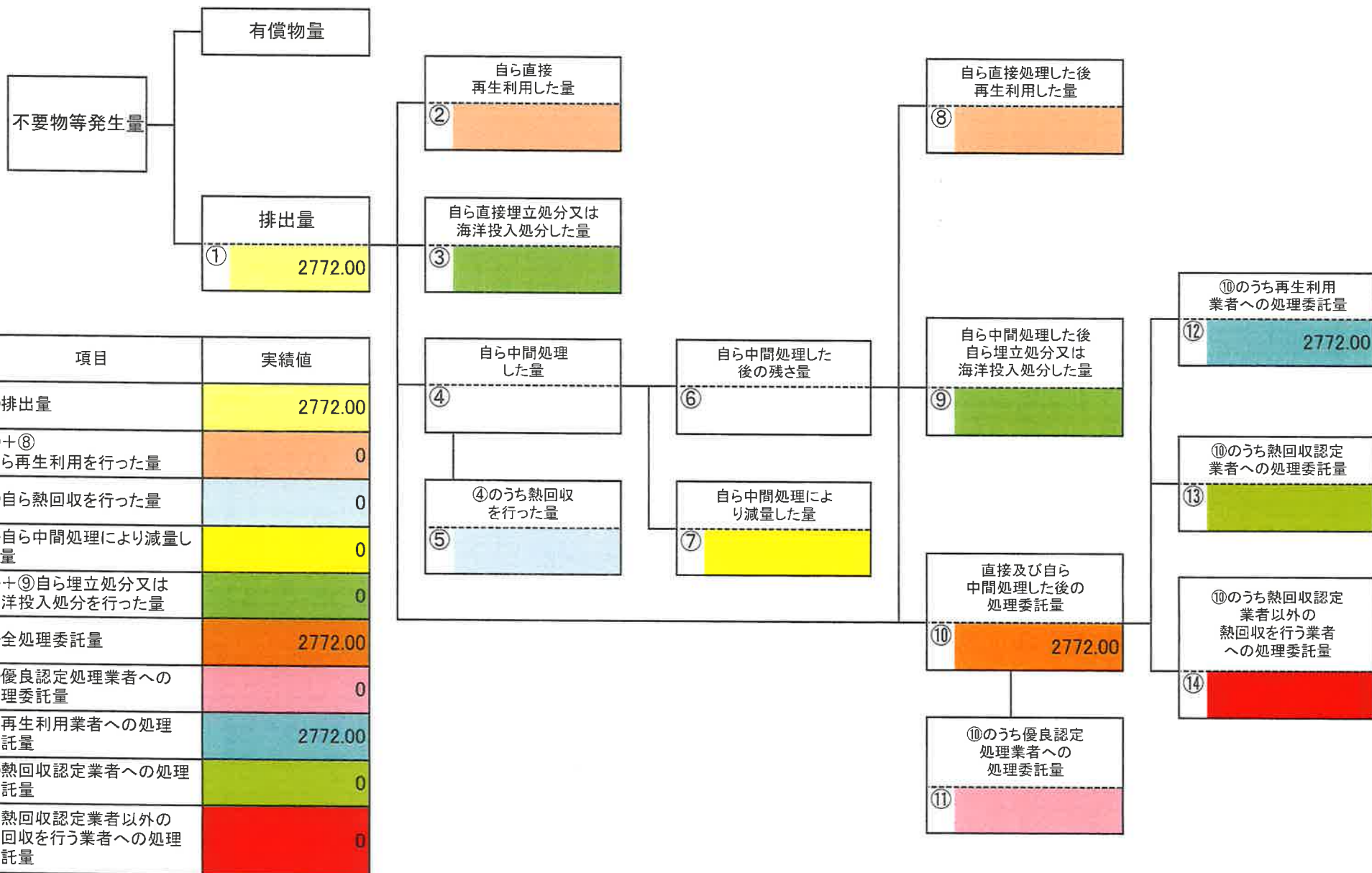
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

(第2面)

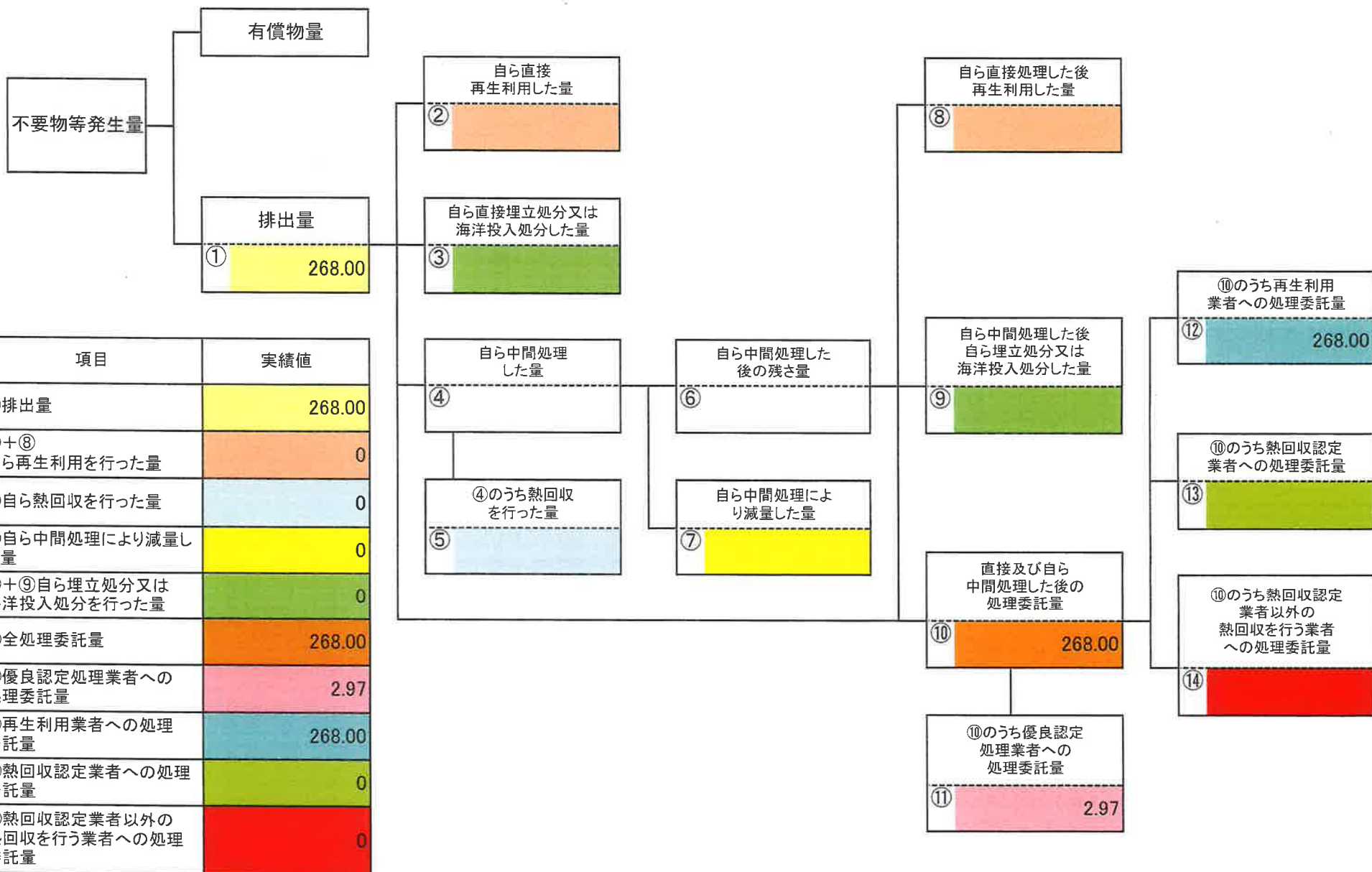
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



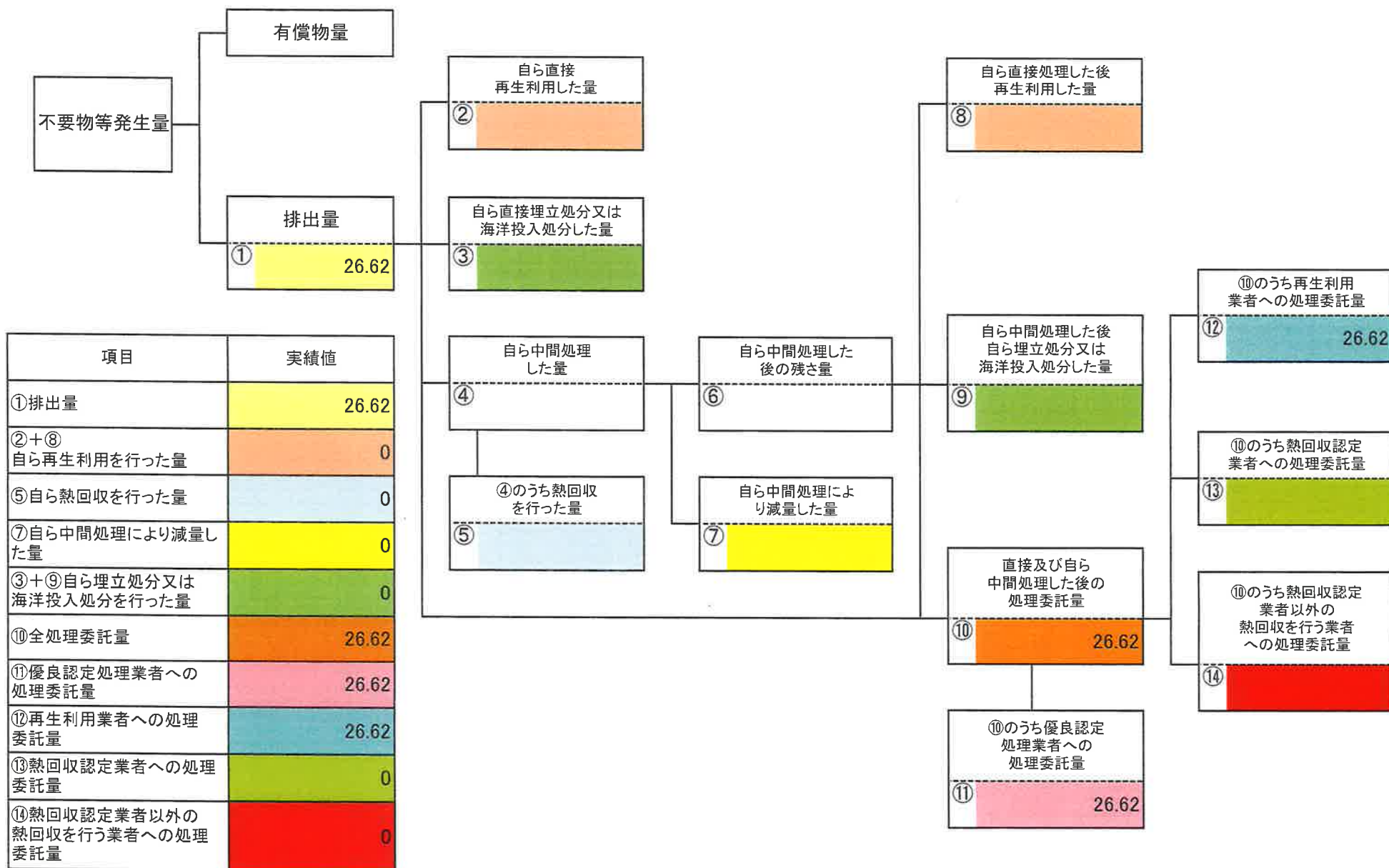
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルトがら)



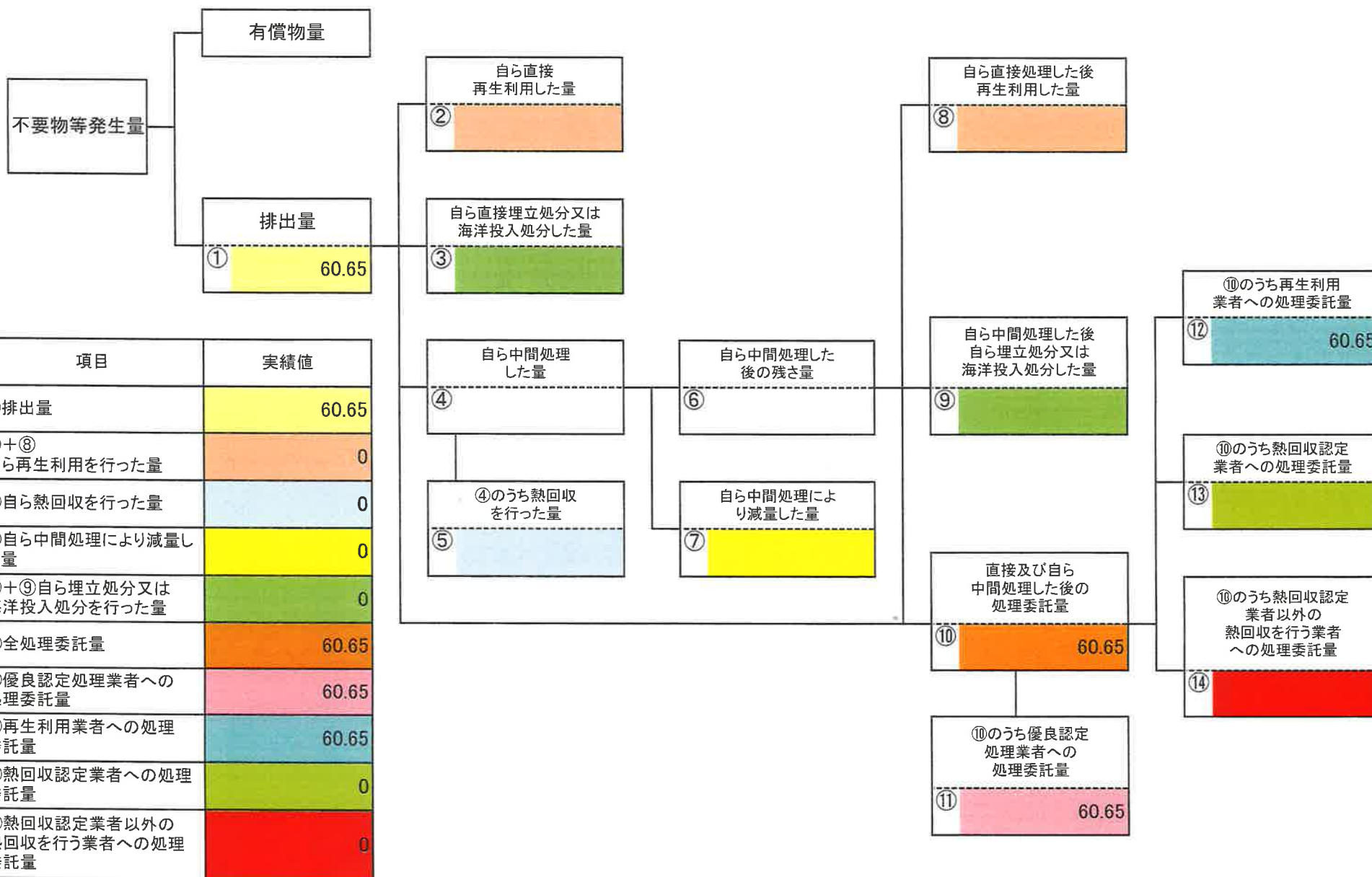
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)



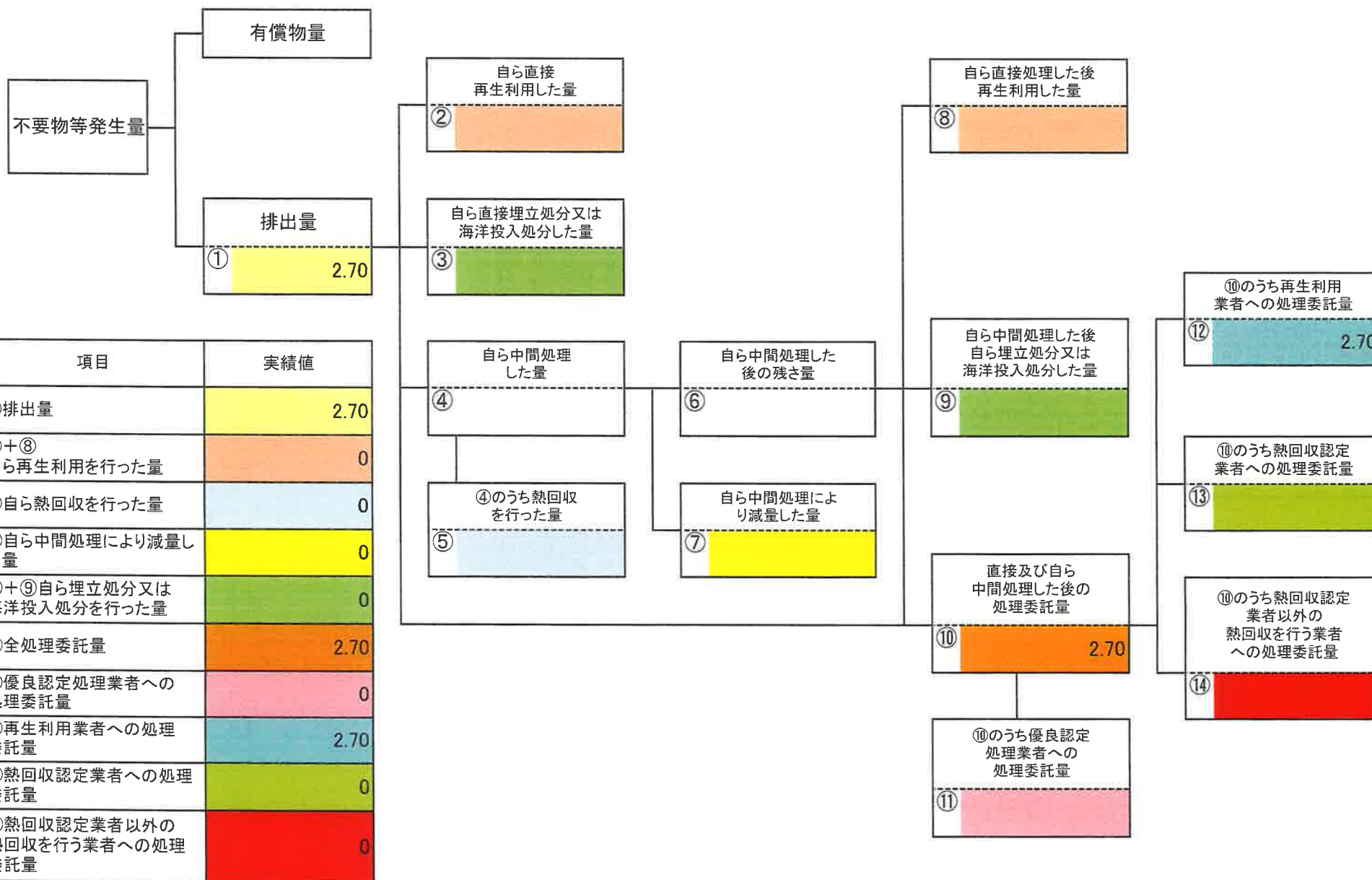
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 8年 6月 26日			
長崎県知事 殿			
提出者			
住 所 長崎県諫早市船越町700			
氏 名 日本ハム株式会社 諫早プラント			
工場長 落合 貴治			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0957 - 22 - 1346			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	日本ハム株式会社 諫早プラント		
事業場の所在地	長崎県諫早市船越町700		
事業の種類	食料品製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,164.5 t	全処理委託量	2,164.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	167.8 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2,014.1 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	77.2 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2,070.7 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量

自ら中間処理した後再生利用した量

排出量

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

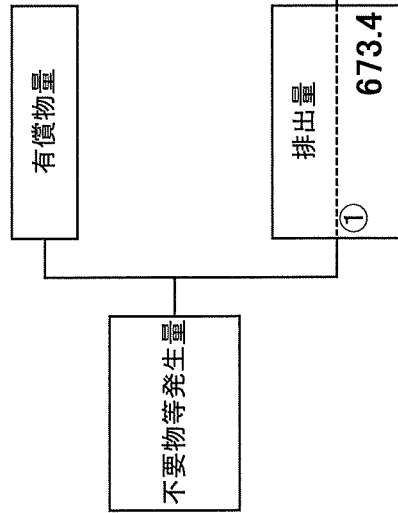
⑭

項目	実績値
①排出量	
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



② 自ら直接再生利用した量 0

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 0

④ 自ら中間処理した量 0

⑤ ④のうち熱回収を行った量 0

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 0

⑦ 自ら中間処理により減量した量 0

⑧ 自ら直接処理した後再生利用した量 0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 673.4

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 0

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量 673.4

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 673.4

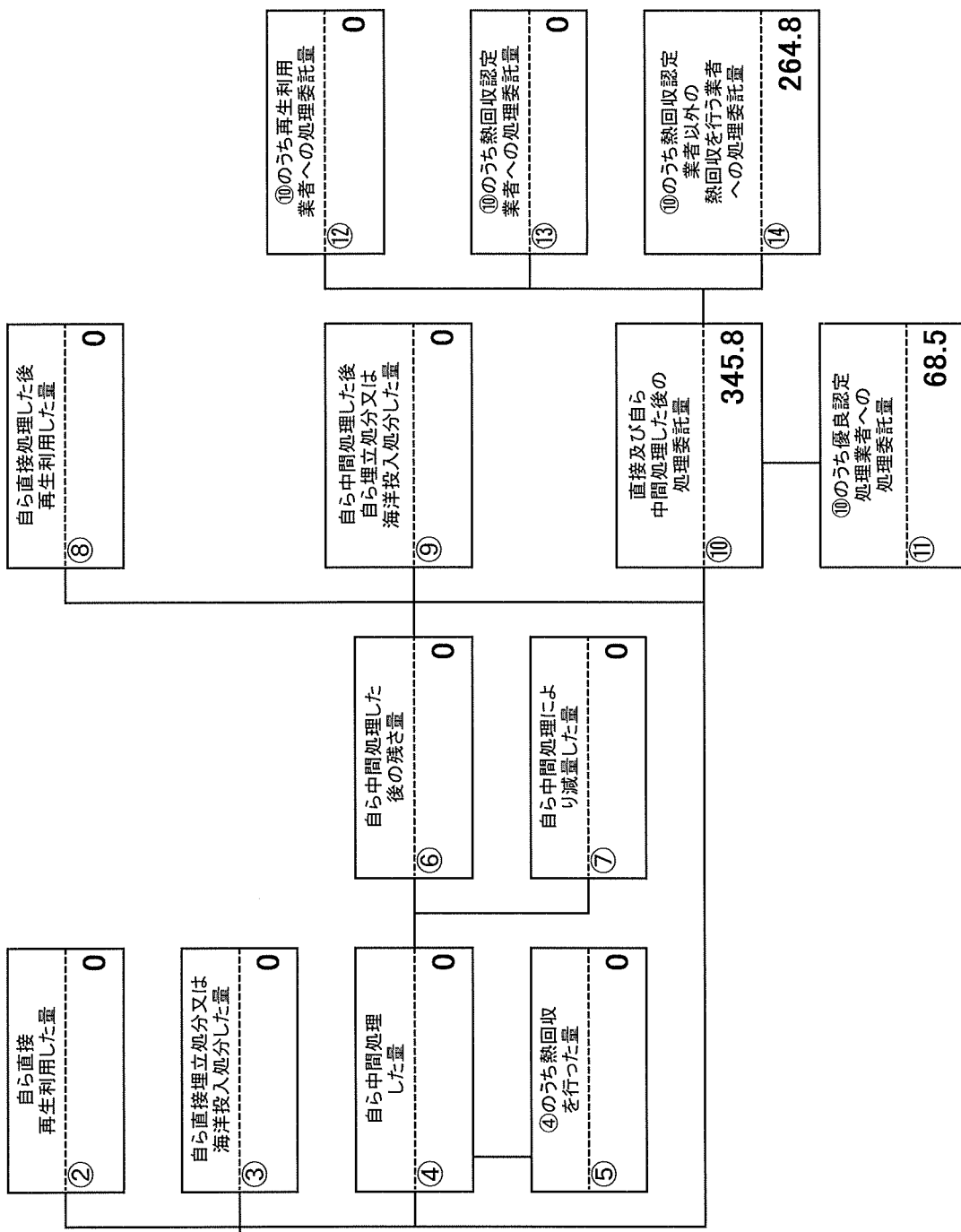
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0.0

項目	実績値
①排出量	673.4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑥+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	673.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	673.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	673.4
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

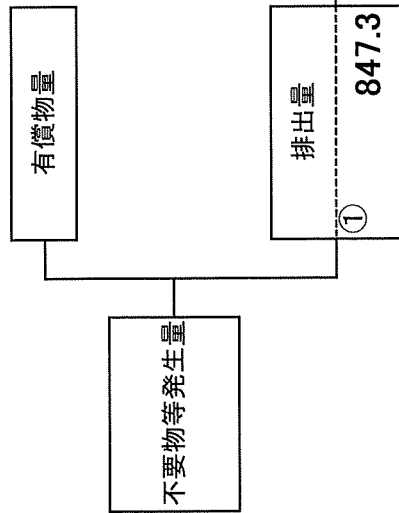
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	345.8
①	
項目	実績値
①排出量	345.8
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	345.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	264.8

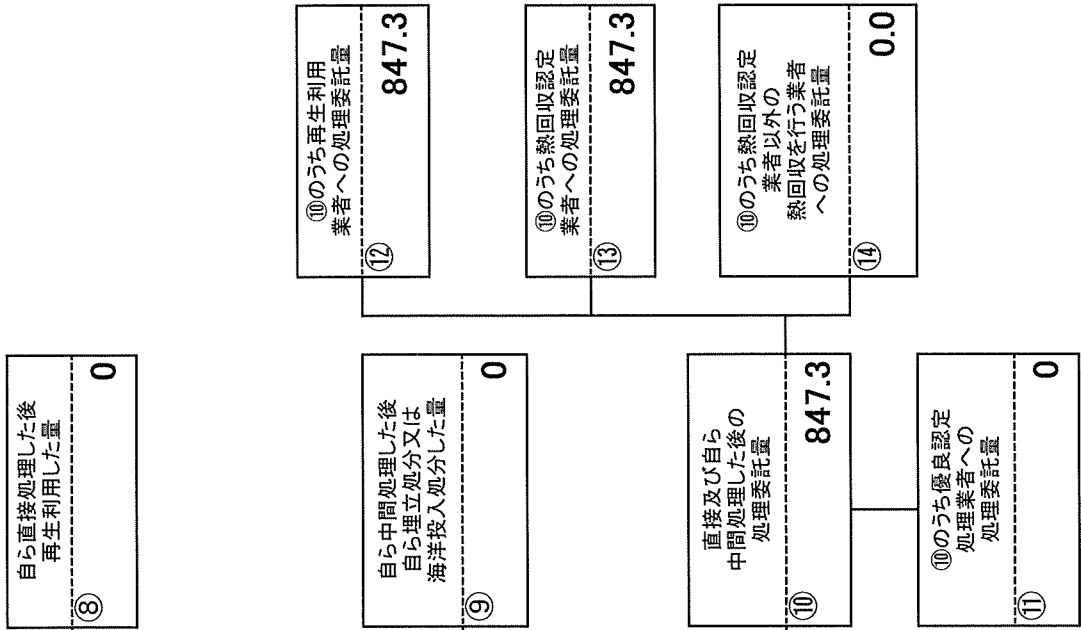


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



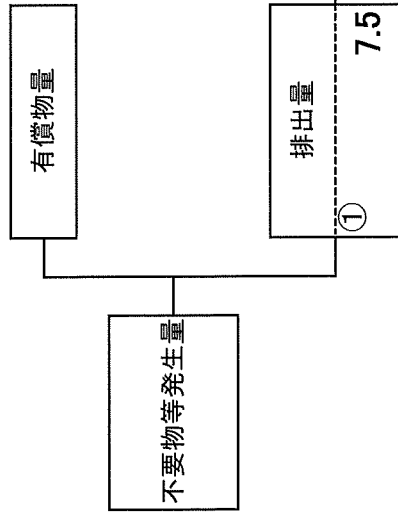
項目	実績値
①排出量	847.3
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤⑦ 自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	847.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	847.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	847.3
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0



⑩のうち再生利用業者への処理委託量	847.3
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	847.3
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:ガラスコンクリート・陶磁器クス)



② 自ら直接再生利用した量
0

③ 自ら直接埋入処分した量
0

④ 自ら中間処理した量
0

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

⑥ 自ら中間処理した後の残量
0

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0

⑧ 自ら直接処理した後再生利用した量
0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋入処分又は海洋投入処分した量
0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
7.5

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
3.5

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
7.5

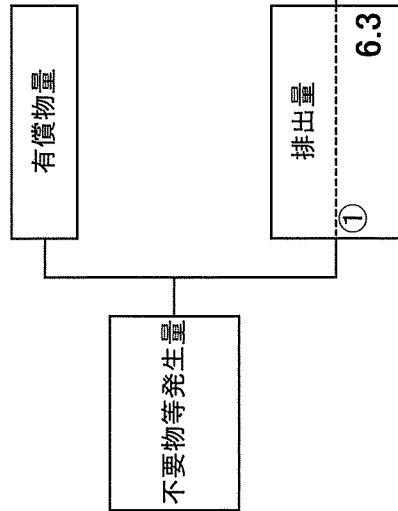
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0

項目	実績値
①排出量	7.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤+⑦自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	7.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.5
⑫再生利用業者への処理委託量	7.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



②
自ら直接
再生利用した量
0

③
自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
0

④
自ら中間処理
した量
0

⑤
④のうち熱回収
を行った量
0

⑥
自ら中間処理した
後の残さ量
0

⑦
自ら中間処理によ
り減量した量
0

⑧
自ら直接処理した後
再生利用した量
0

⑨
自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
0

⑩
直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
6.3

⑪
⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
6.3

⑫
⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
6.3

⑬
⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0

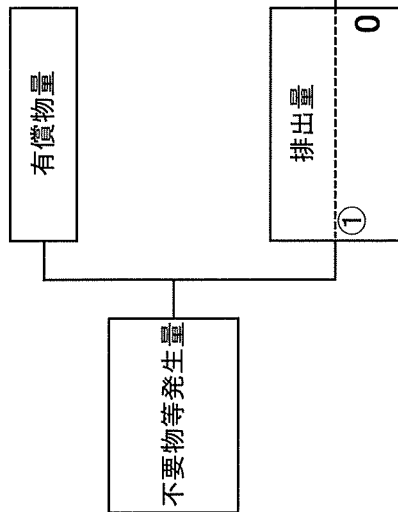
⑭
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
0

項目	実績値
①排出量	6.3
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6.3
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	6.3
⑫再生利用業者への処理 委託量	6.3
⑬熱回収認定業者への処理 委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理 委託量	0

計画の実施状況

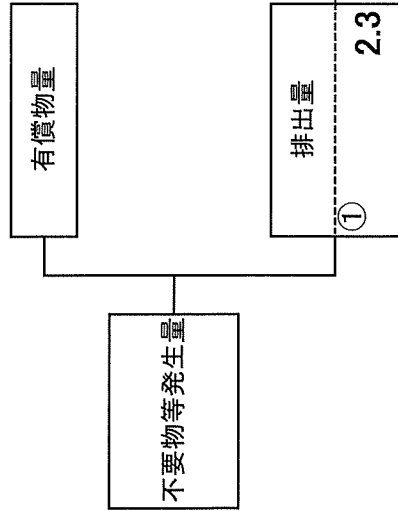
(産業廃棄物の種類： 特定有害産業廃棄物)

有償物量		
不要物等発生量		
排出量		① 0
①排出量	実績値	0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量		0
⑤自ら熱回収を行った量		0
⑦自ら中間処理により減量した量		0
③+⑤⑦ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0
⑩全処理委託量		0
⑪優良認定処理業者への処理委託量		0
⑫再生利用業者への処理委託量		0
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0

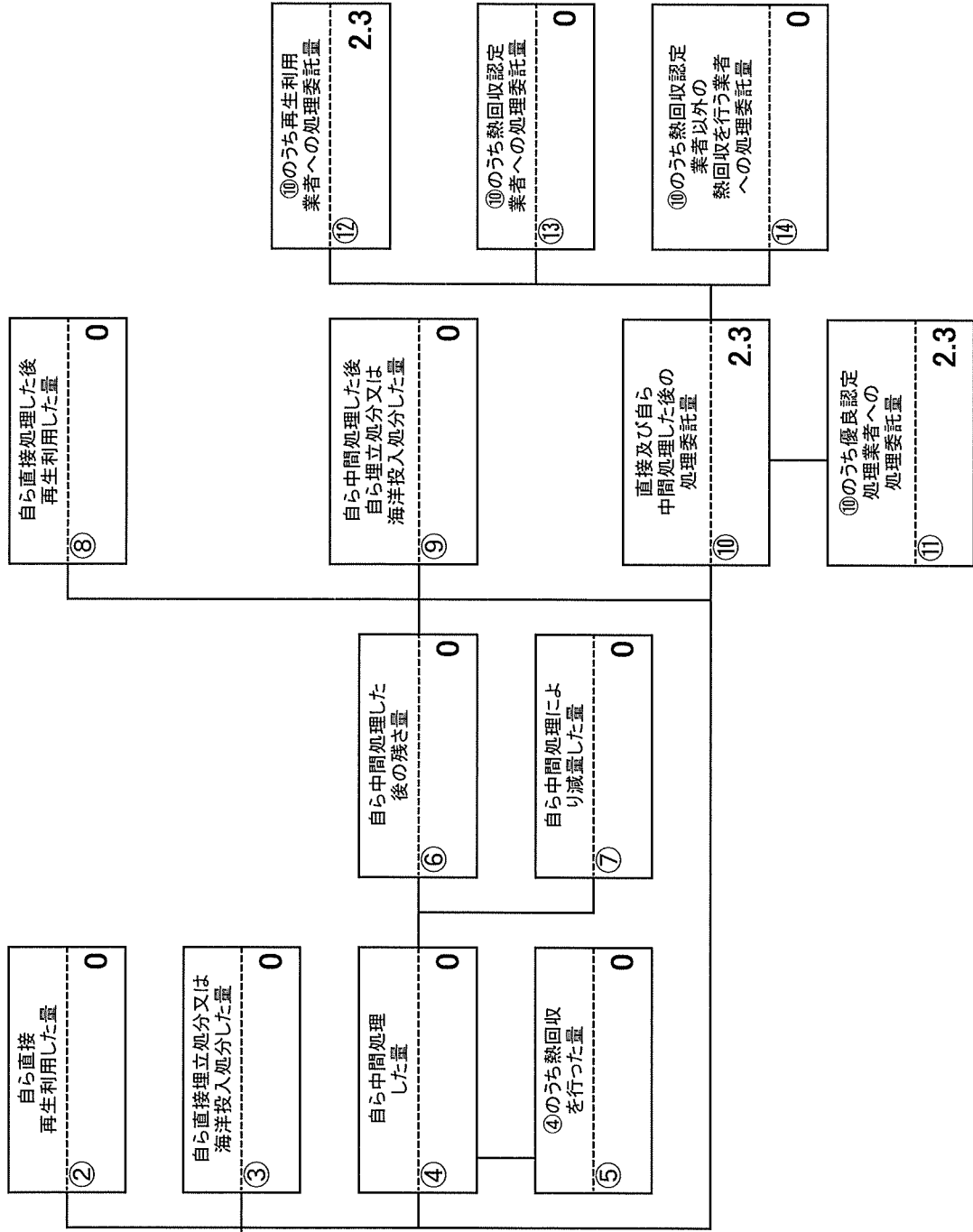


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値
①排出量	2.3
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.3
⑫再生利用業者への処理委託量	2.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

有償物量		
不要物等発生量		
排出量		
①	220.5	
項目	実績値	
①排出量	220.5	
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	220.5	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した量	0	
③+④+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	
⑩全処理委託量	0.0	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	
⑭熱回収認定業者以外の処理委託量	0.0	

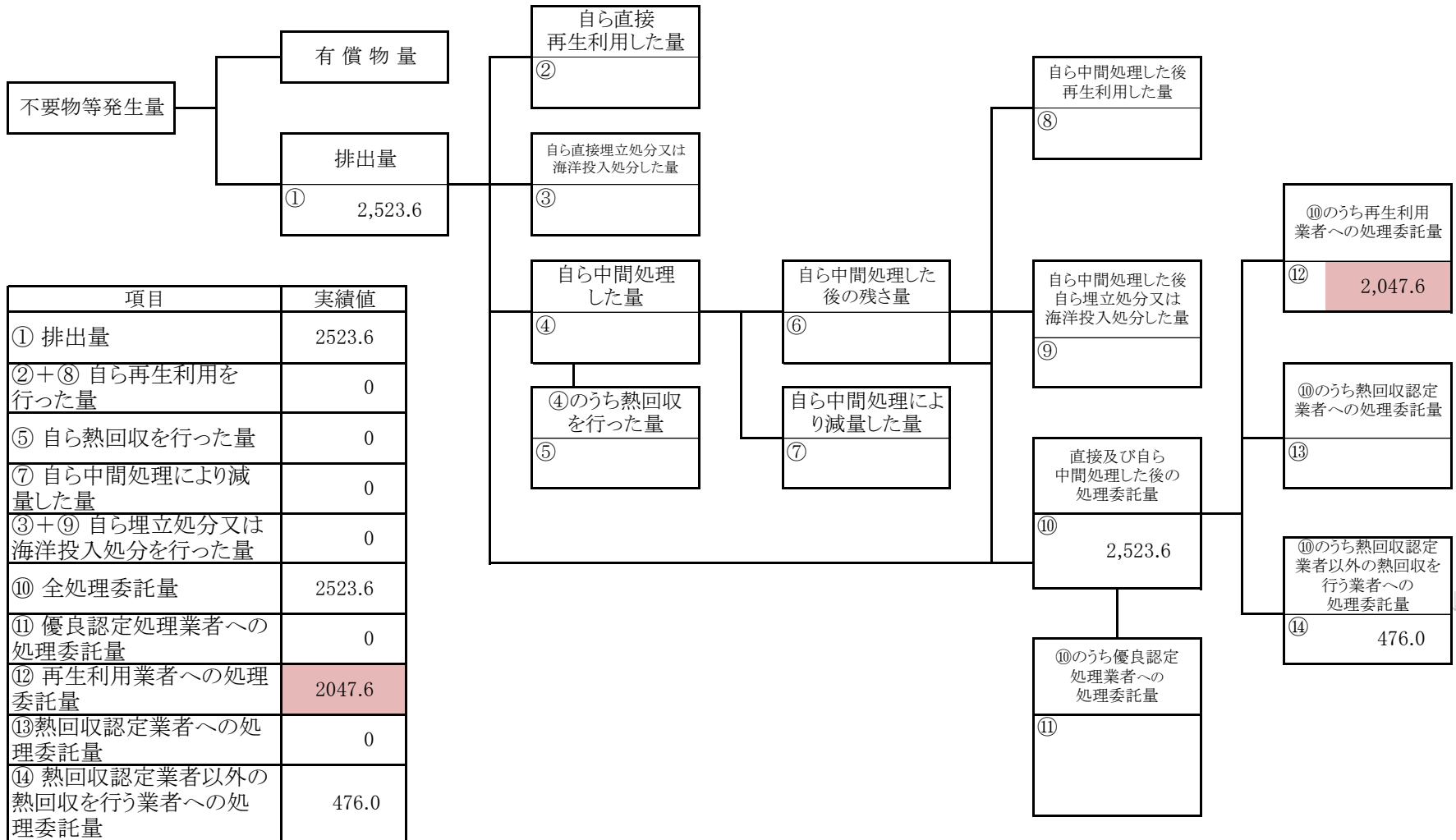
②	220.5	自ら直接再生利用した量
③	0	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
④	0	自ら中間処理した量
⑤	0	④のうち熱回収を行った量
⑥	0	自ら中間処理した後の残さ量
⑦	0	自ら中間処理により減量した量
⑧	0	自ら直接処理した後再生利用した量
⑨	0	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑩	0.00	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑪	0	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑫	0.00	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑬	0	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑭	0.00	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2026 年 6 月 15 日			
長崎県知事 平田 研 殿			
提出者 日本フードパッカー株式会社 諫早工場 住 所 854-0022 長崎県諫早市幸町79-23 氏 名 工場長 神谷 洋介 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0957-22-1343			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2025 年度の産業 廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事 業 場 の 名 称		日本フードパッカー株式会社 諫早工場	
事 業 場 の 所 在 地		長崎県諫早市幸町79番23号	
事 業 の 種 類		食品製造業	
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		2025年4月1日～2026年3月31日	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
項目		目標値	
排 出 量		2,471 t	
全 処 理 委 託 量		2,471 t	
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	
再生利用業者への 処 理 委 託 量		1,972 t	
自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量		t	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	
自ら埋立処分又は 海 洋 投 入 処 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	
認定熱回収業者以外の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量		30 t	
※事務処理欄			

計画の実施状況

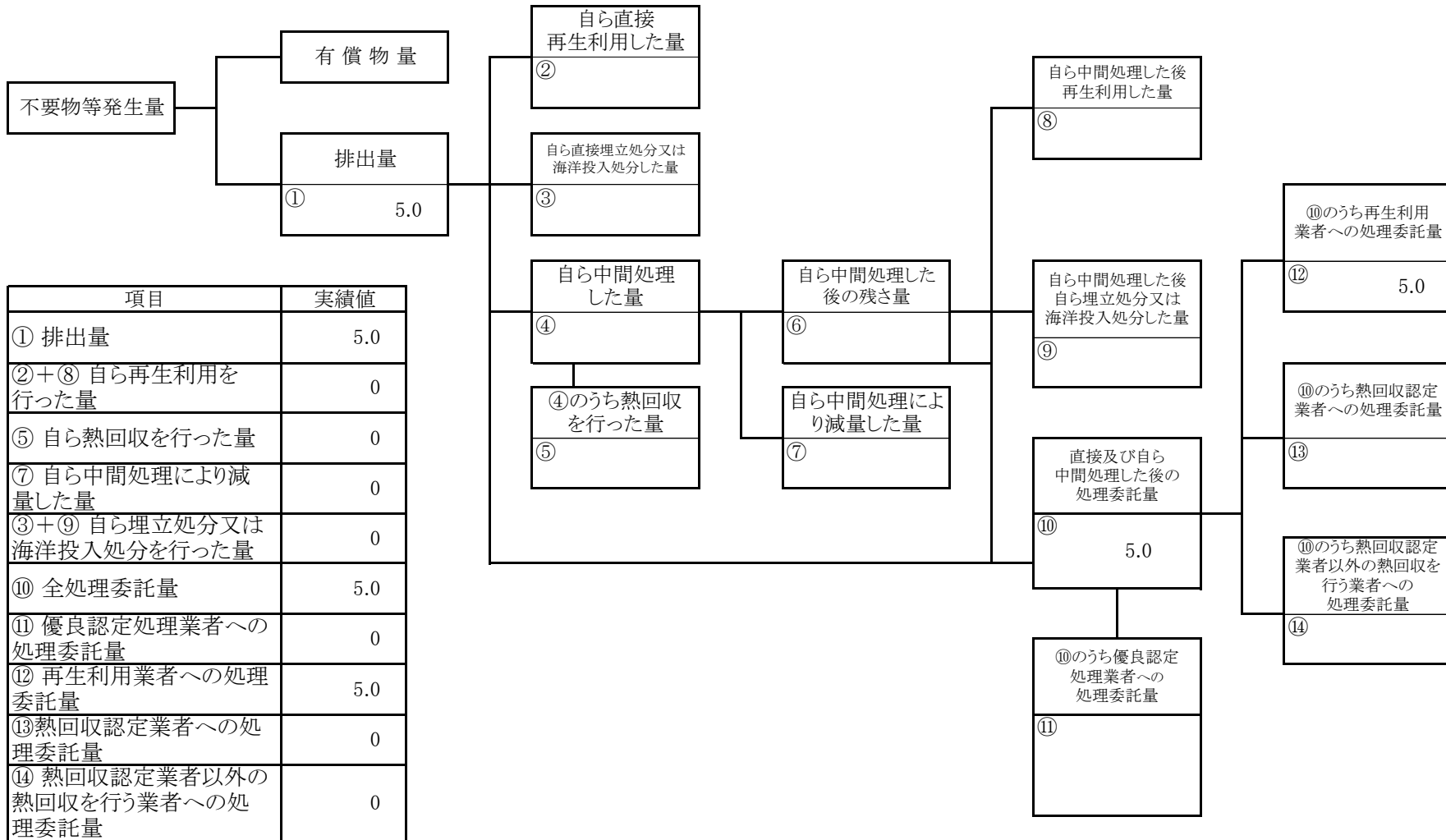
(産業廃棄物の種類： 全廃棄物)

(単位：t)



計画の実施状況

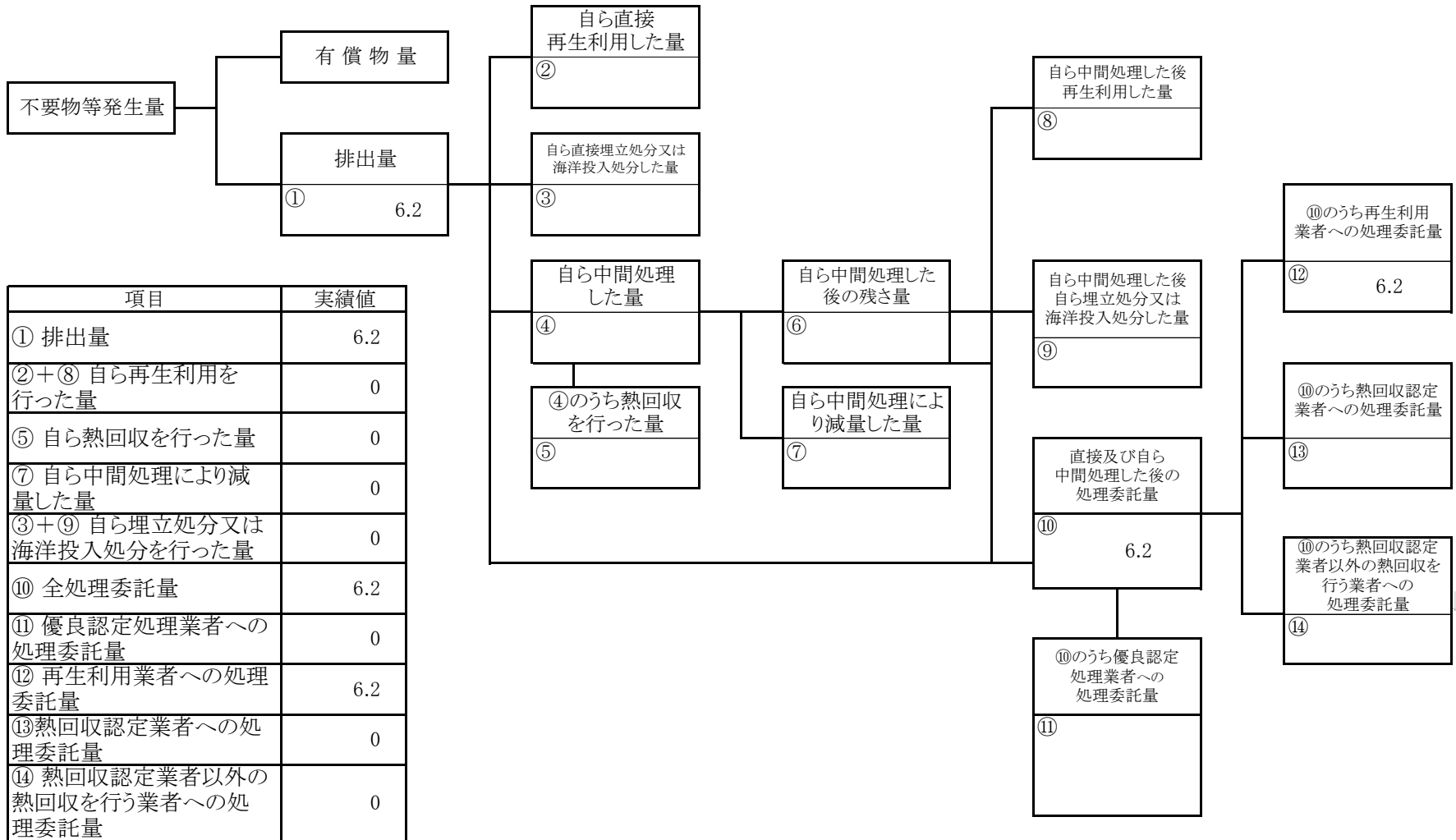
(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)
(単位： t)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属クズ)

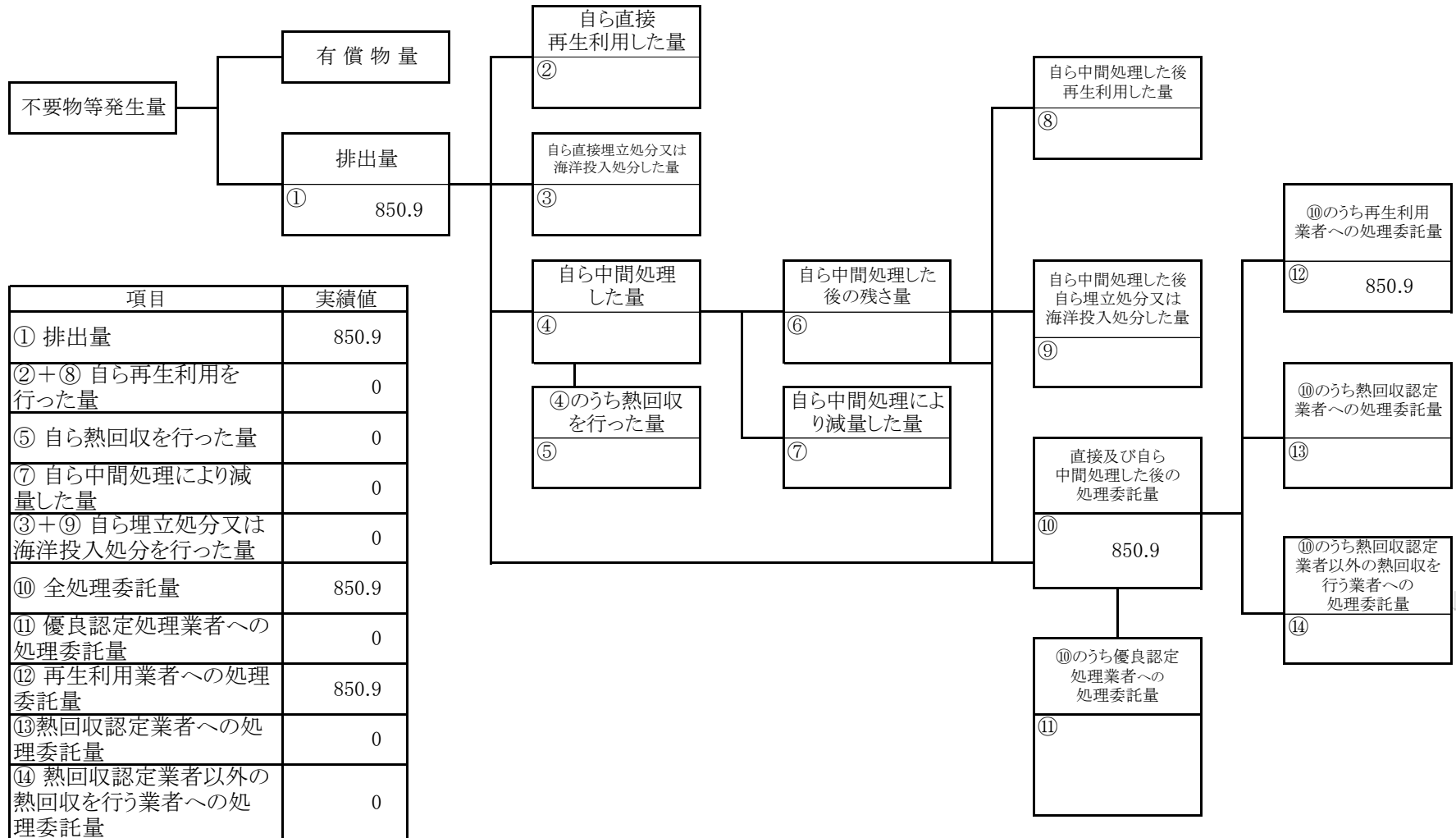
(単位：t)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)

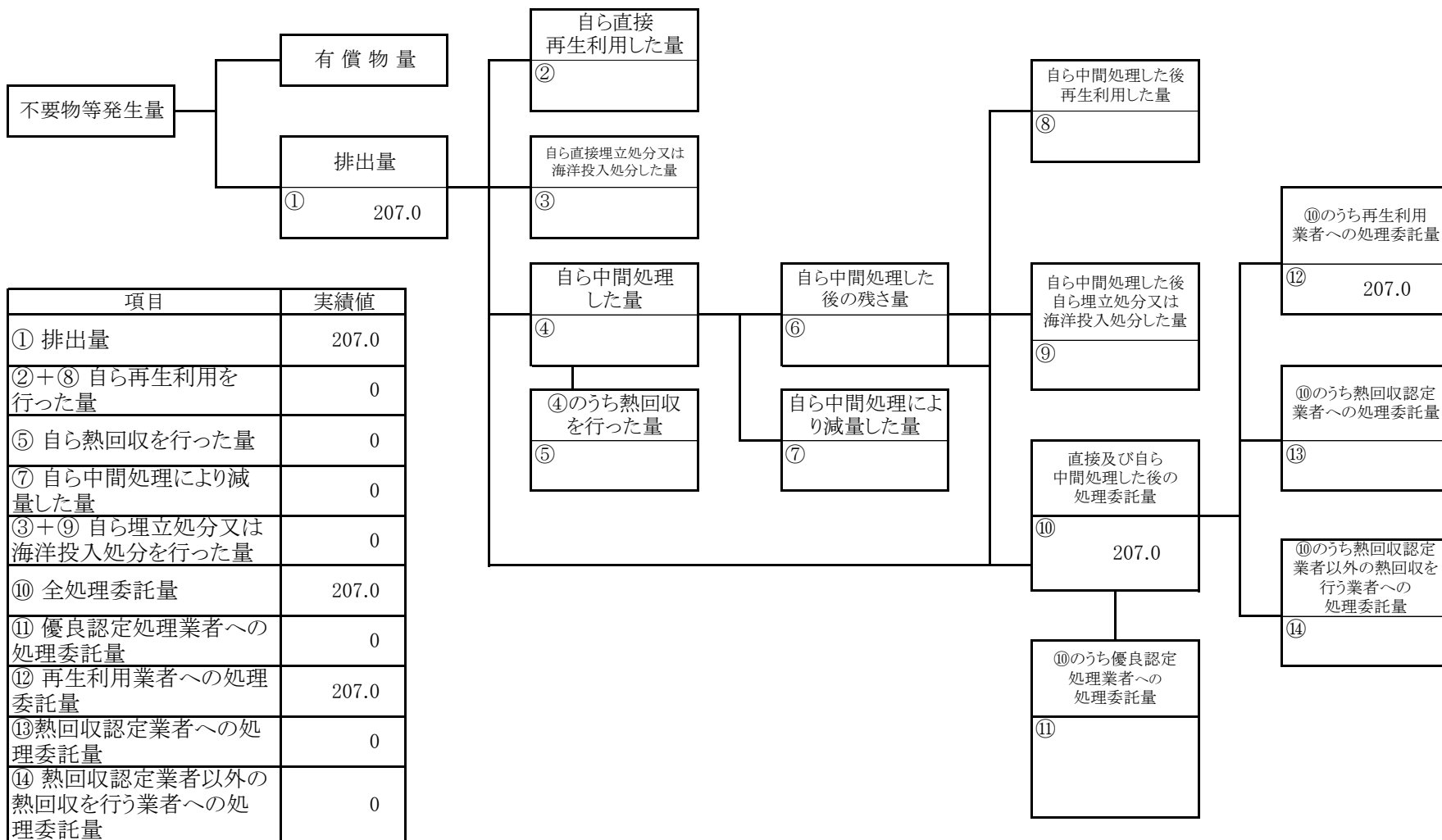
(単位：t)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥(動物の糞尿))

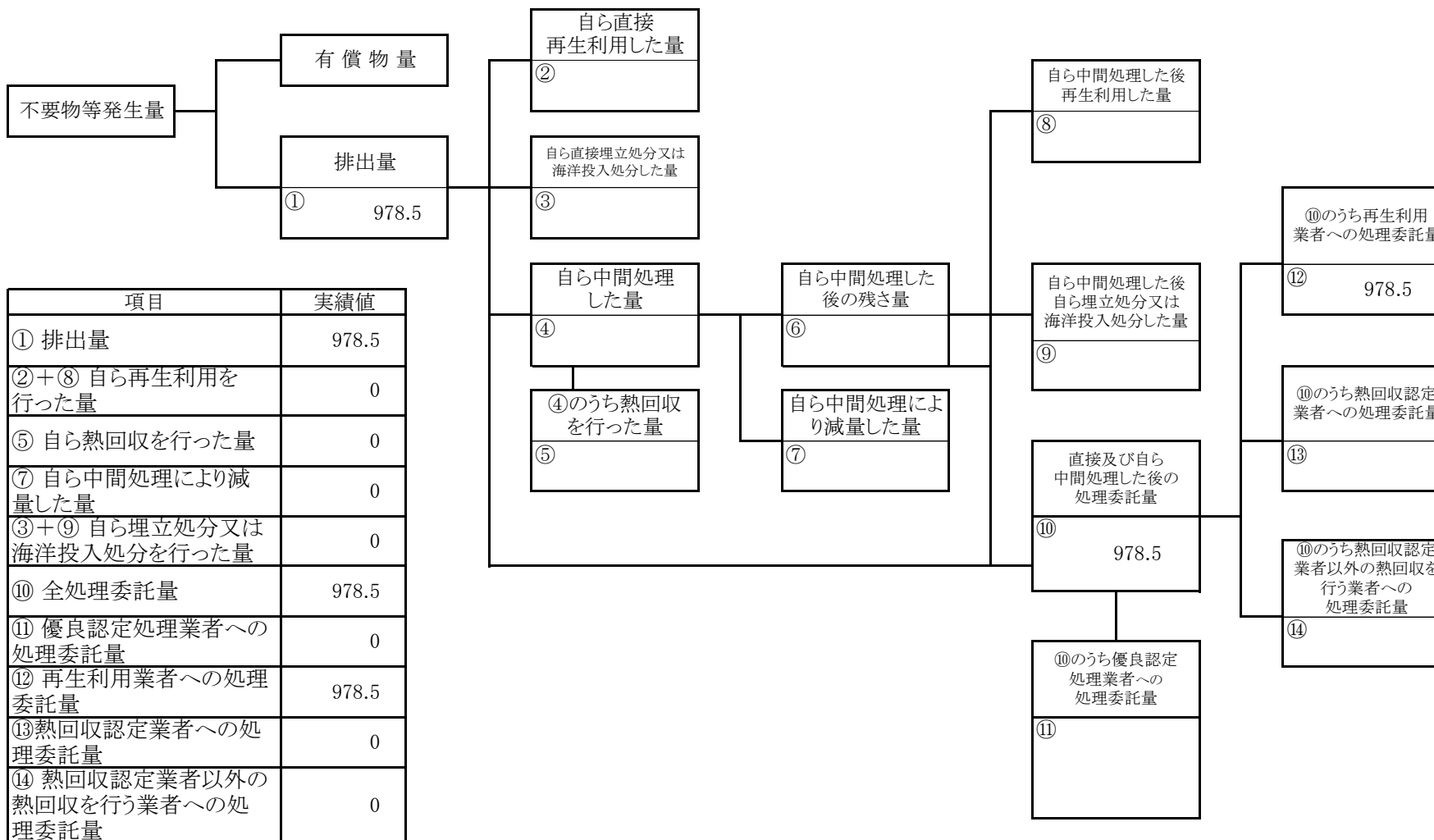
(単位：t)



計画の実施状況

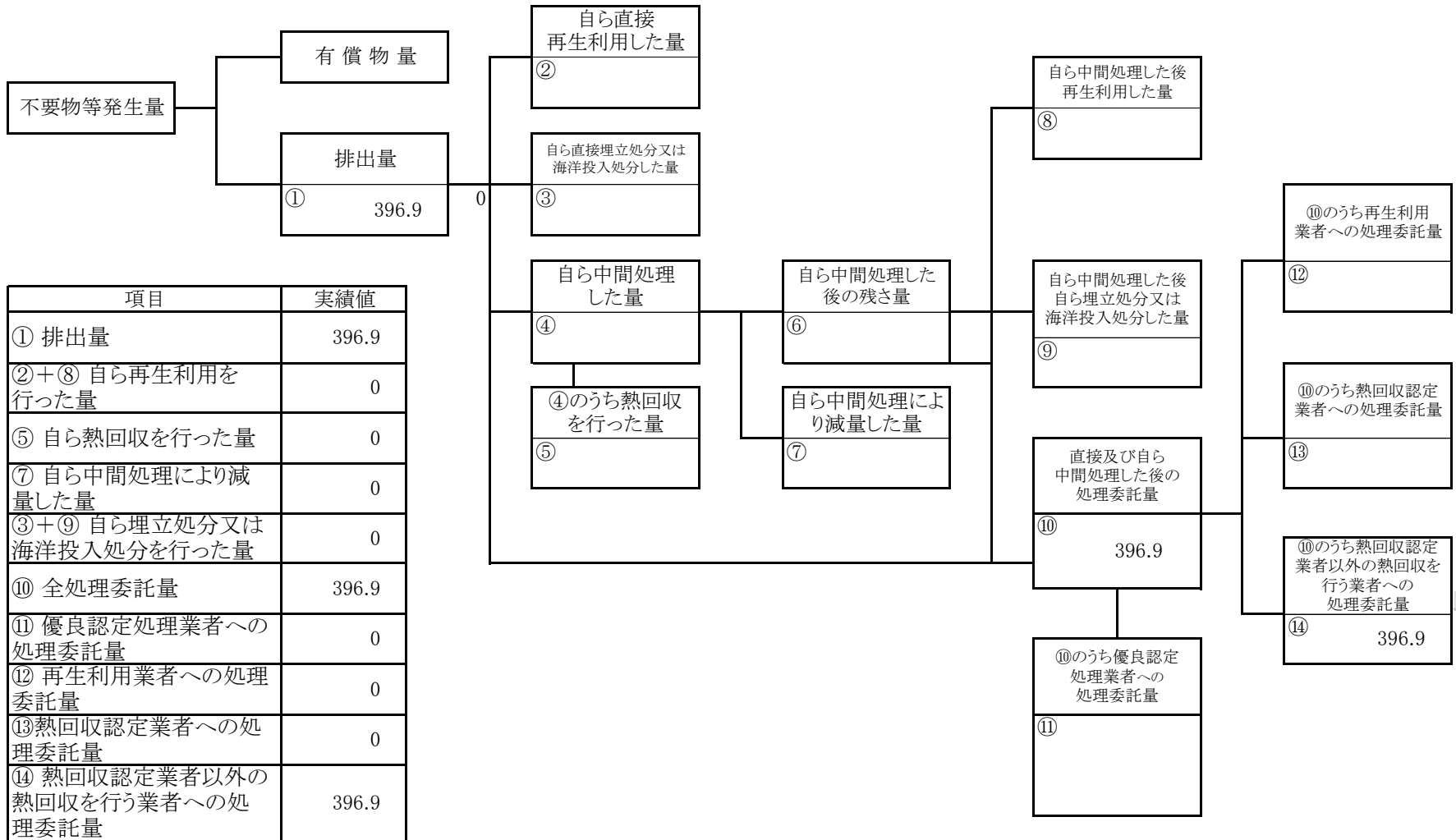
(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)

(単位：t)



計画の実施状況

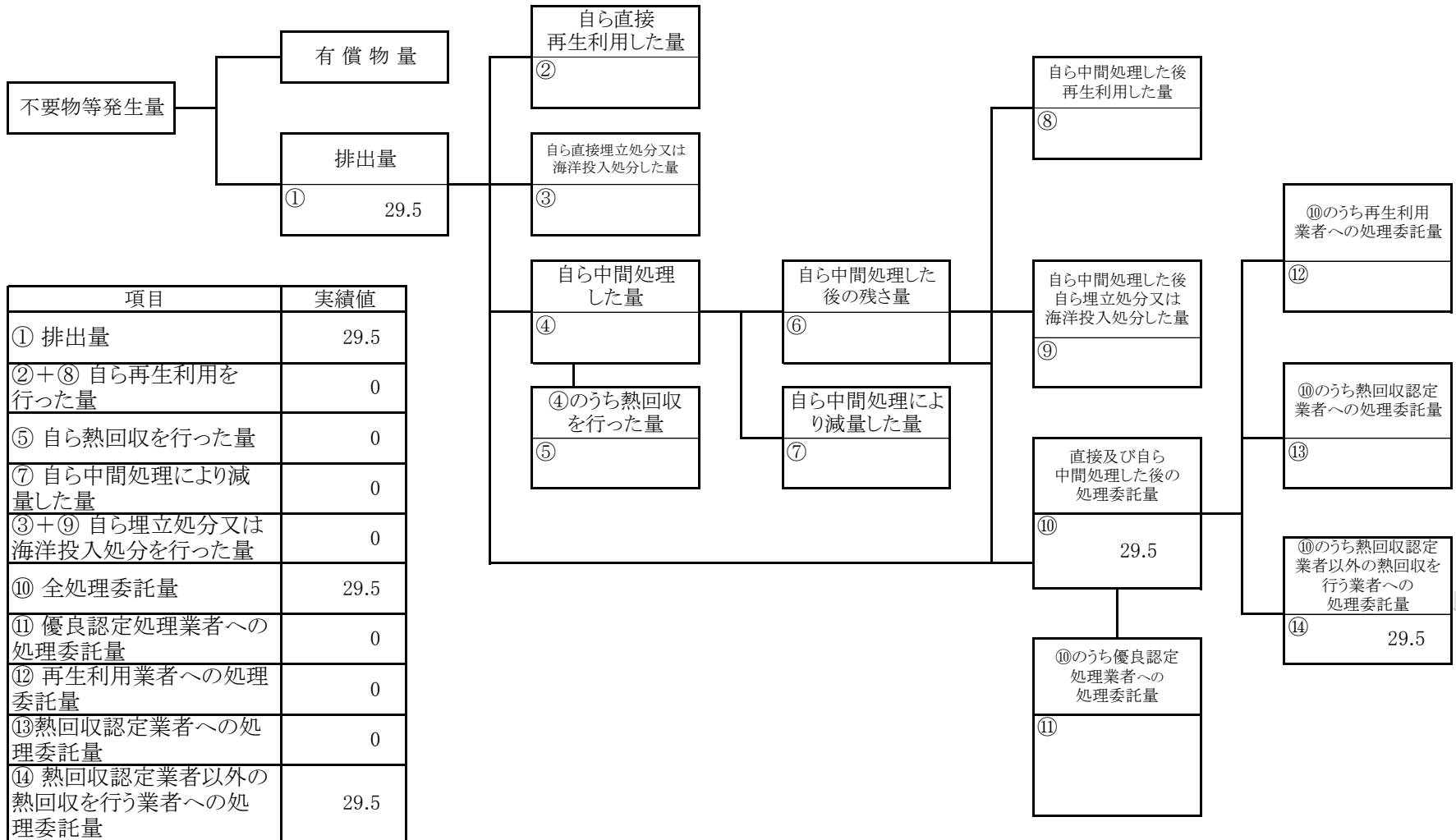
(産業廃棄物の種類： 動物系固形不要物)
(単位： t)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラ(軍手・フィルムクズ))

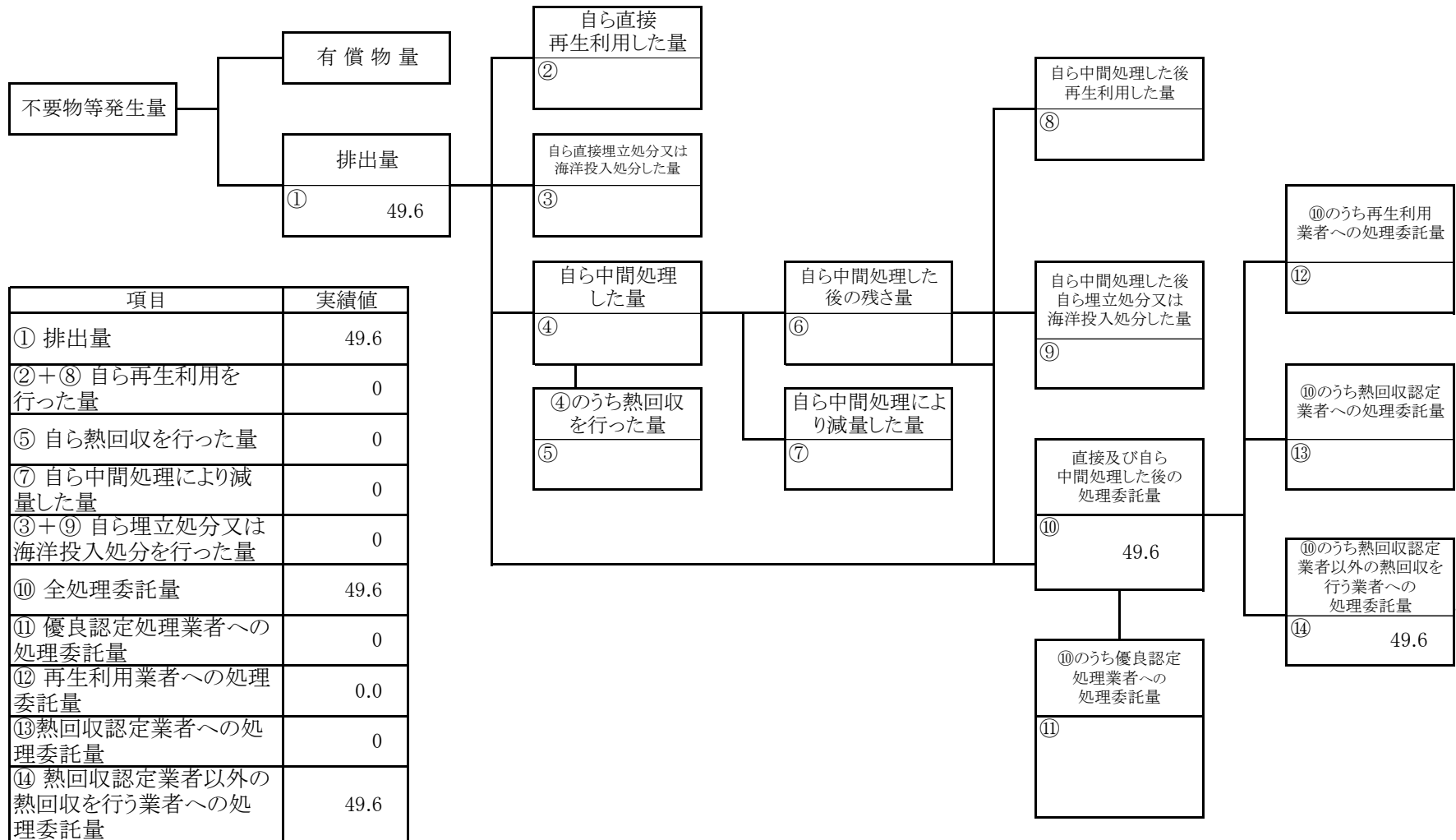
(単位：t)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥(無機性)

(単位：t)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

別添内訳書

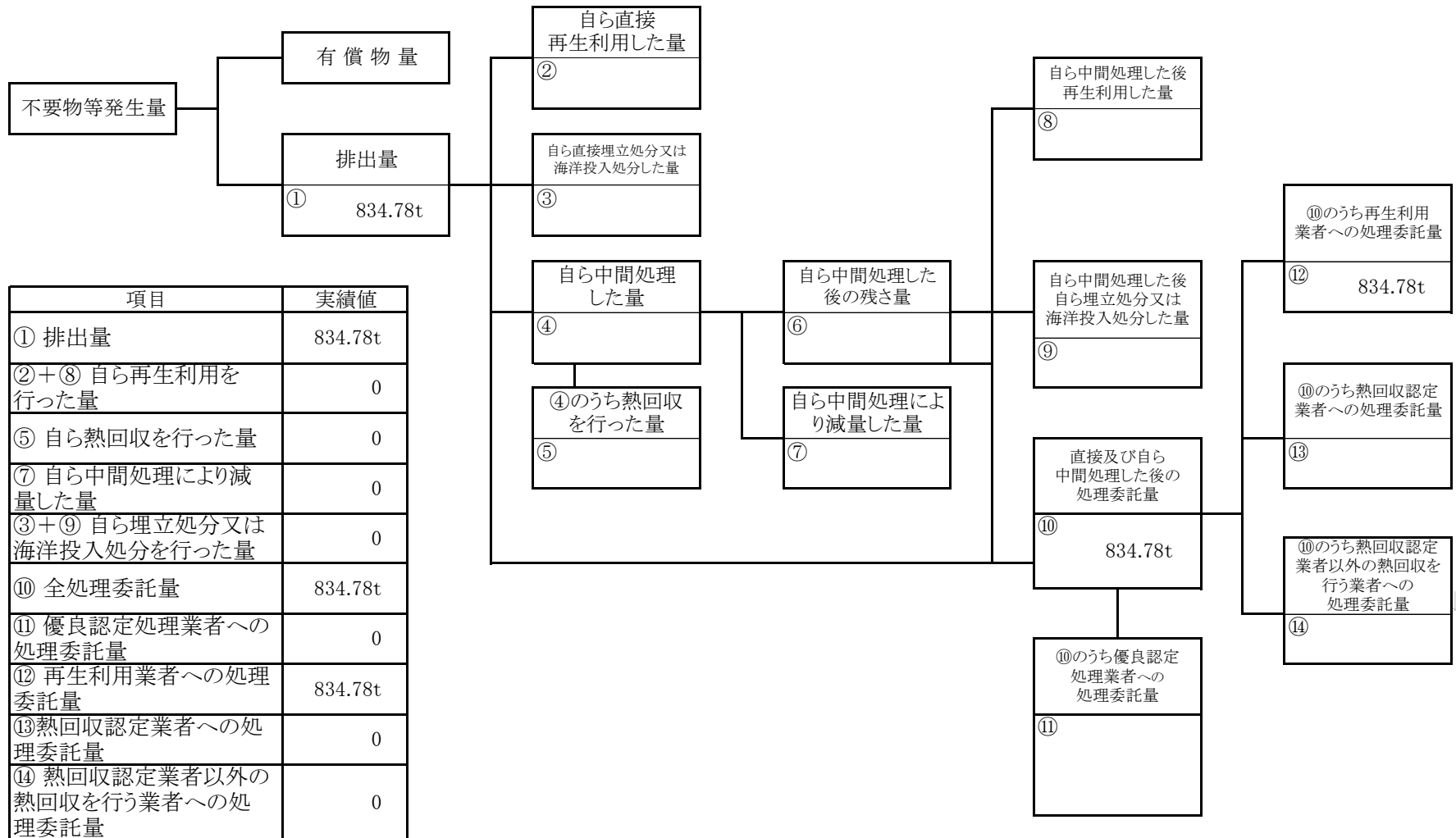
単位(t)

廃 棄 物 の 種 類			廃プラスチック類	金属くず	汚泥	汚泥(動物の糞尿)	廃アルカリ	動物系固形不要物	廃プラ(軍手・フィルムクズ等)	汚泥(無機性)				合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項														
	①現状(2025年度実績)	排出量	5.0	6.2	850.9	207.0	978.5	396.9	29.5	49.6				2,523.6
	②計画(2026年度計画)	排出量	4.9	6.1	838.4	204.0	964.1	391.1	29.1	48.9				2,486.6
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項														
	①現状(2025年度実績)	自ら再生利用を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
	②計画(2026年度計画)	自ら再生利用を行う量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項														
	①現状(2025年度状況)	自ら熱回収を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		自ら中間処理により減量する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
	②計画(2026年度計画)	自ら熱回収を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		自ら中間処理により減量する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分														
	①現状(2025年度状況)	自ら埋立処分を行った量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
	②計画(2026年度計画)	自ら埋立処分を行う量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
	①現状(2025年度状況)	全処理委託量	5.0	6.2	850.9	207.0	978.5	396.9	29.5	49.6				2,523.6
		(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量(23記入無)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		(内訳)再生処理業者へ処理を委託した量	5.0	6.2	850.9	207.0	978.5	0.0	0.0	0.0				2,047.6
		(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量(23記入無)	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	396.9	29.5	49.6				476.0
	②計画(2026年度計画)	全処理委託量	4.9	6.1	838.4	204.0	964.1	391.1	29.1	48.9				2,486.6
		(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		(内訳)再生利用業者へ委託を委託する量	4.9	6.1	838.4	204.0	964.1	0.0	0.0	0.0				2,017.5
		(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0
		(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	391.1	29.1	48.9				469.1

産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
都道府県知事 (市長) 平田 研 殿		2026 年 6 月 16 日		
提出者 日本フードパッカー(株)川棚工場 住 所 長崎県東彼杵郡川棚町百津郷39 氏 名 工場長 稲田 拓哉 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 (0956)82-4515				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 2025 年度の産業 廃棄物処理計画の実施状況を報告します。				
事 業 場 の 名 称		日本フードパッカー株式会社 川棚工場		
事 業 場 の 所 在 地		長崎県東彼杵郡川棚町百津郷39		
事 業 の 種 類		食料品製造業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		2025年4月1日から2026年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値				
項目		目標値	項目	目標値
排 出 量		2348.620 t	全 処 理 委 託 量	2348.620 t
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	2285.01 t
自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量		t	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海 洋 投 入 処 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量		t	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	63.61 t
※事務処理欄				

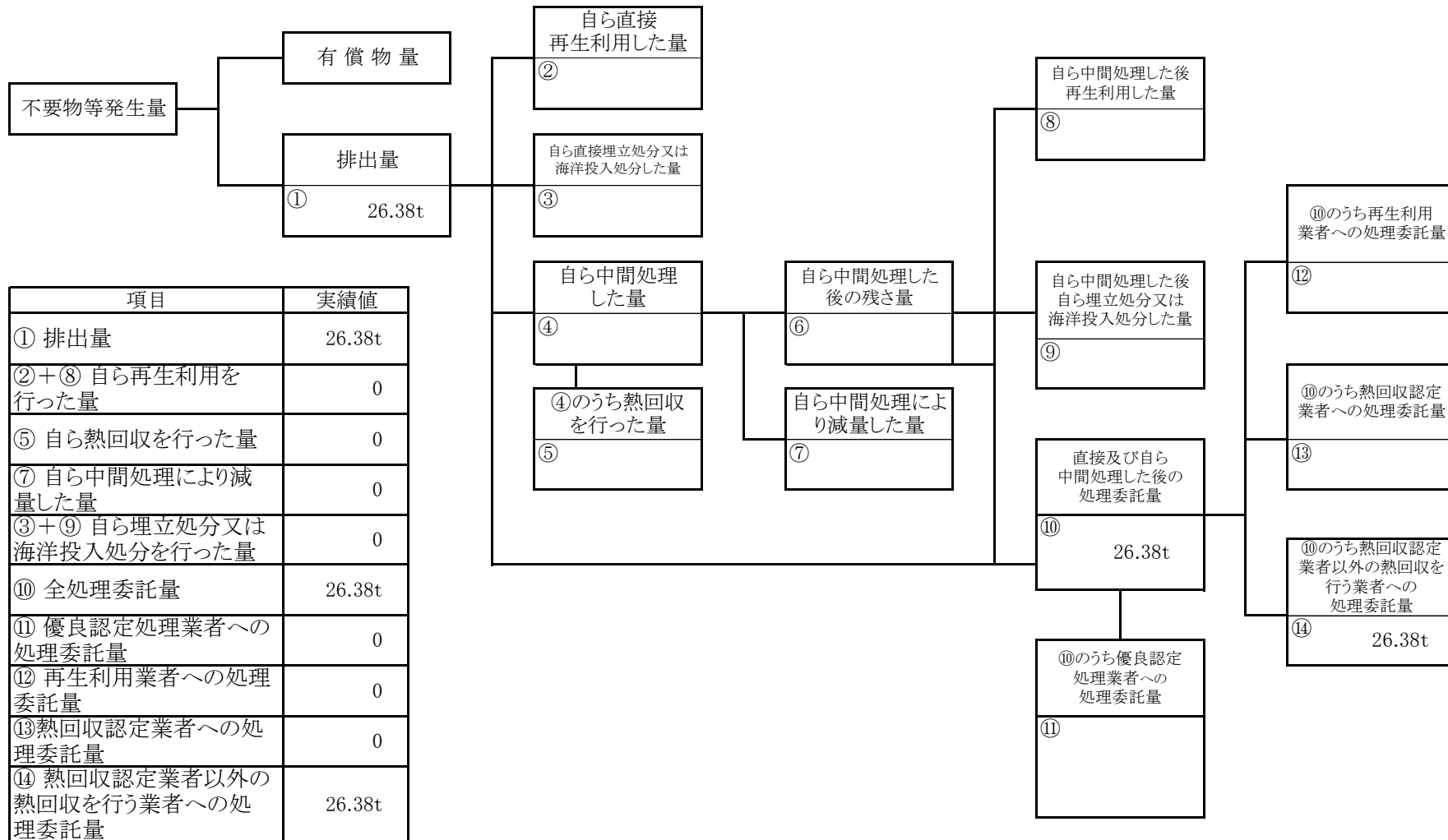
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)



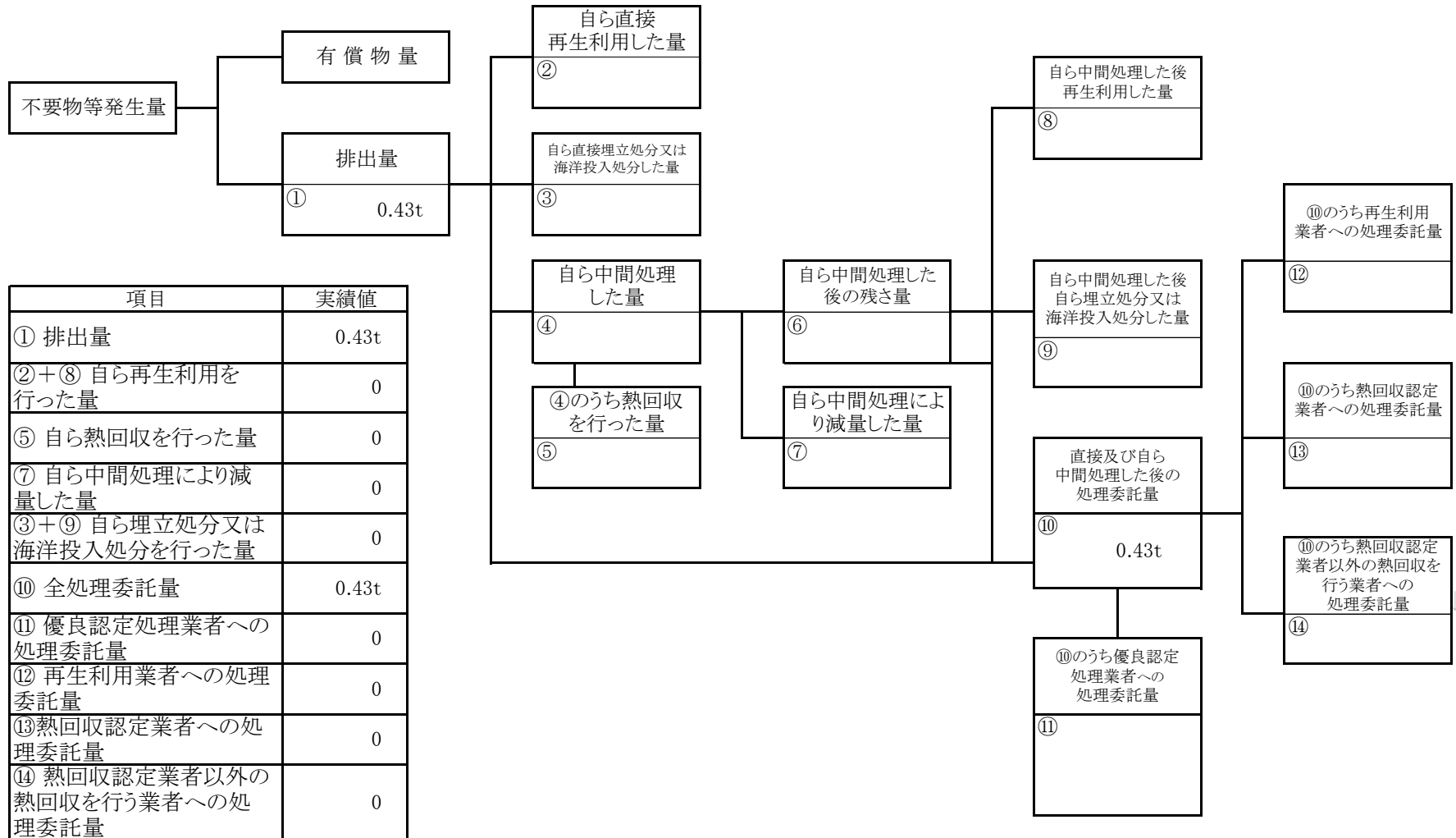
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)



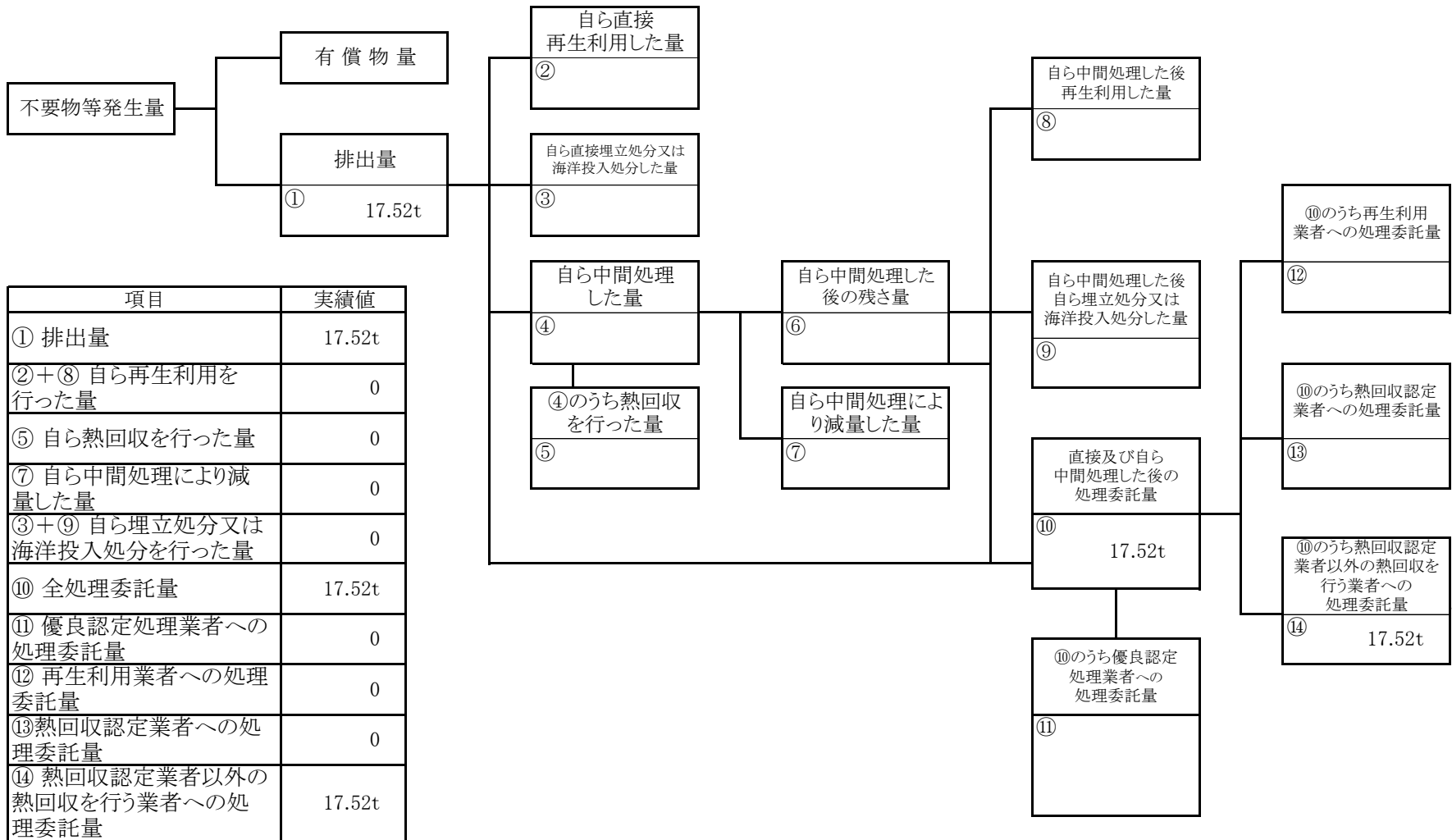
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス・陶器くず)



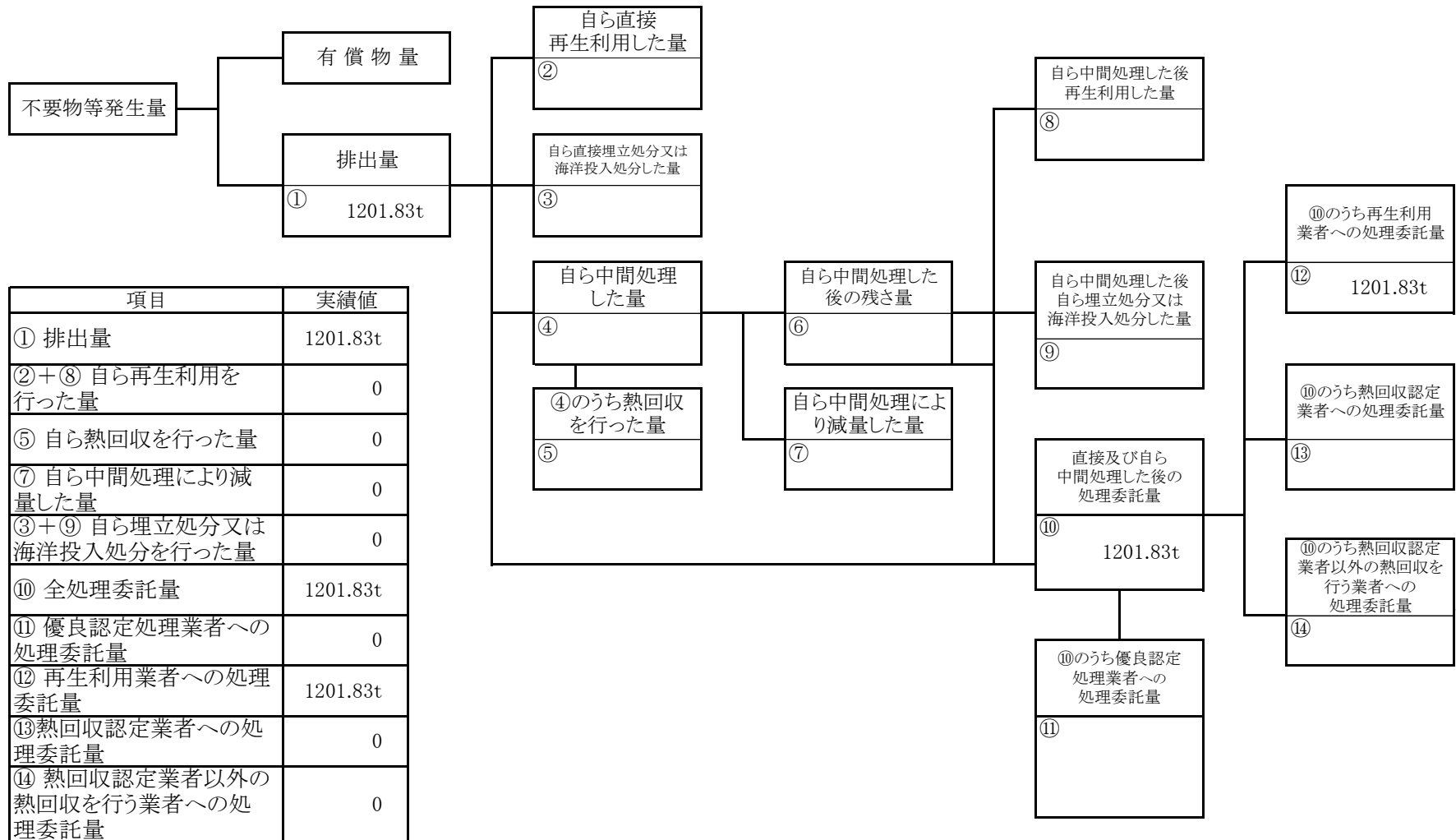
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 動物性残渣)



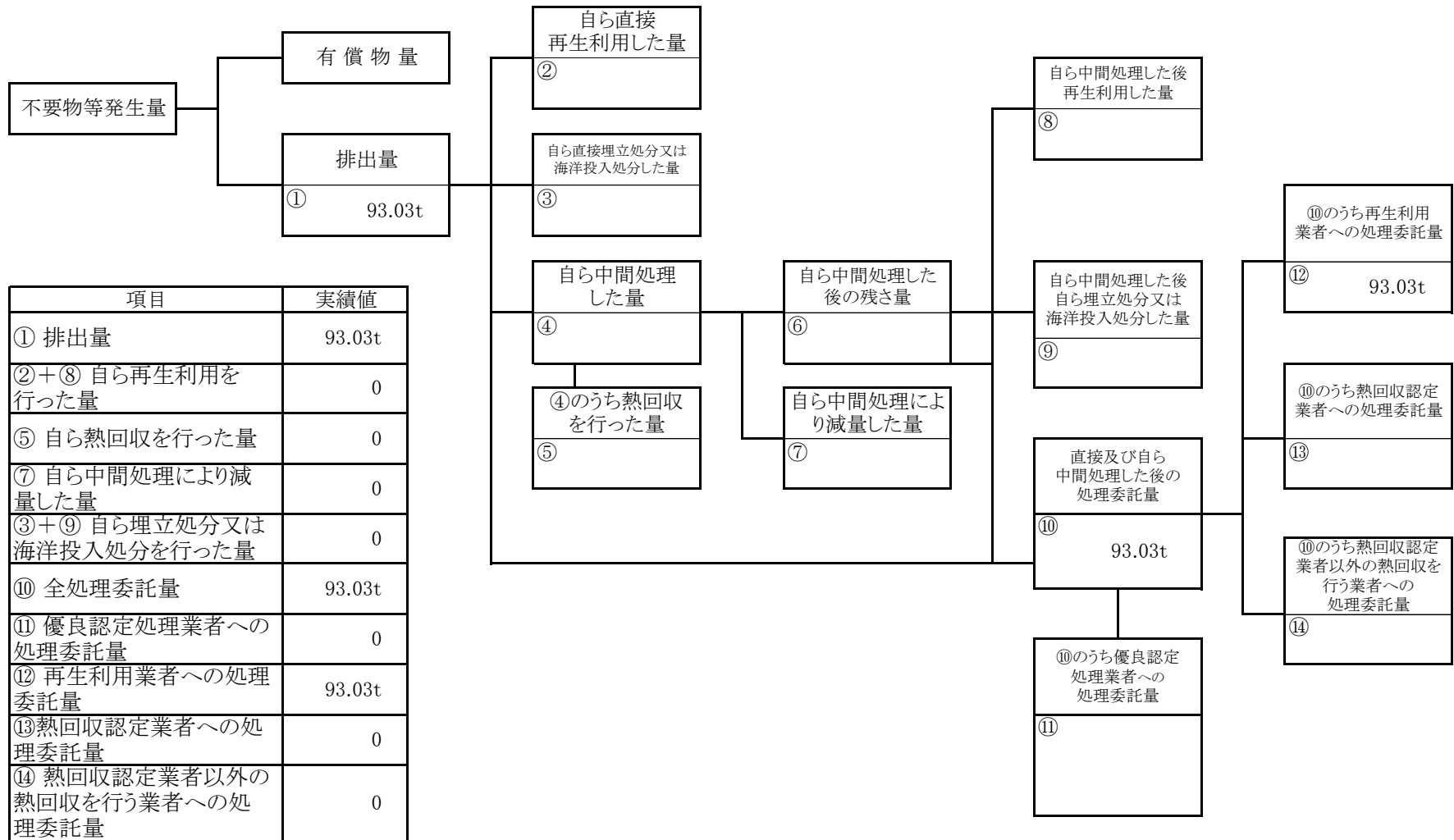
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)



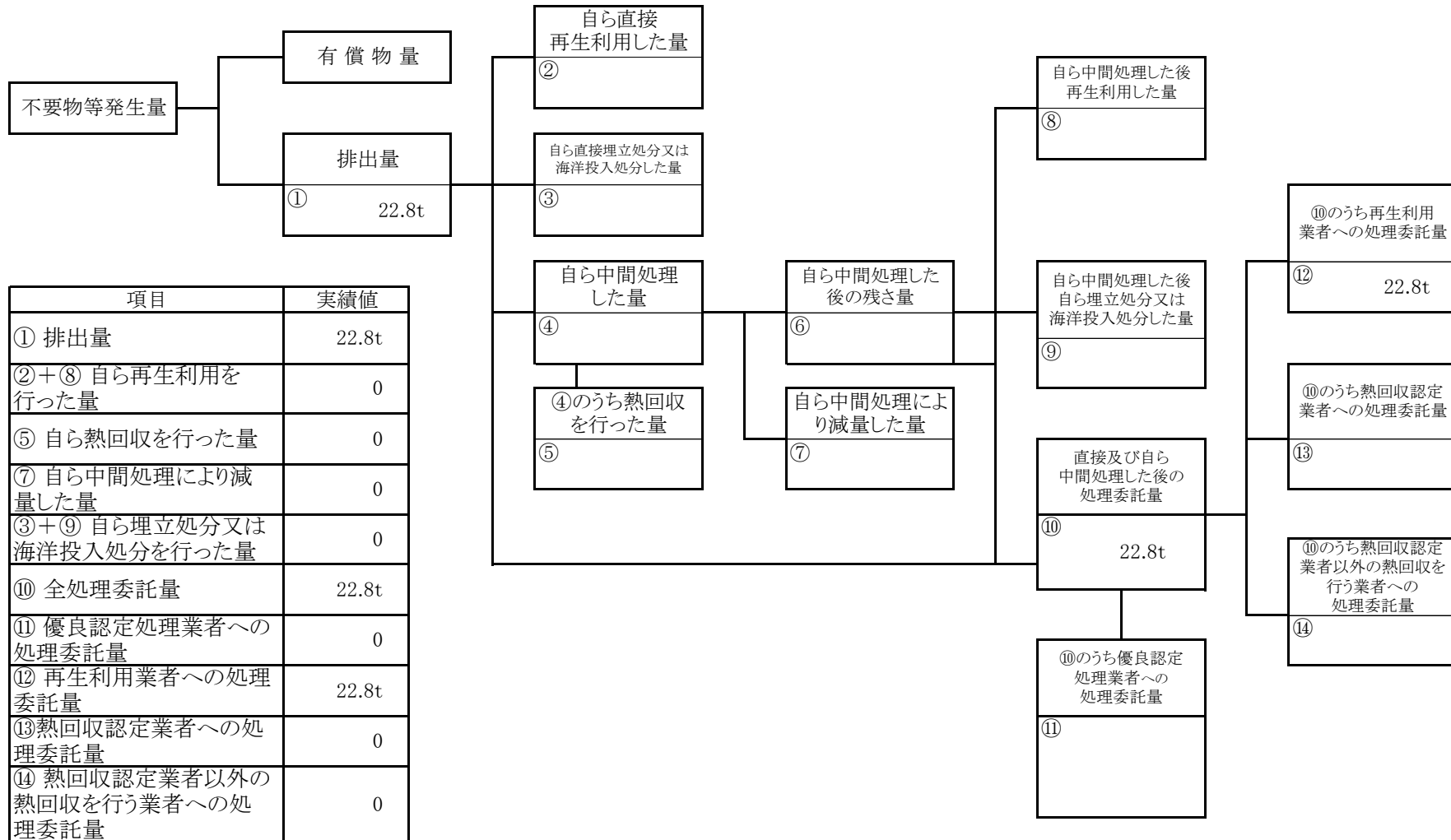
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥(腹糞))



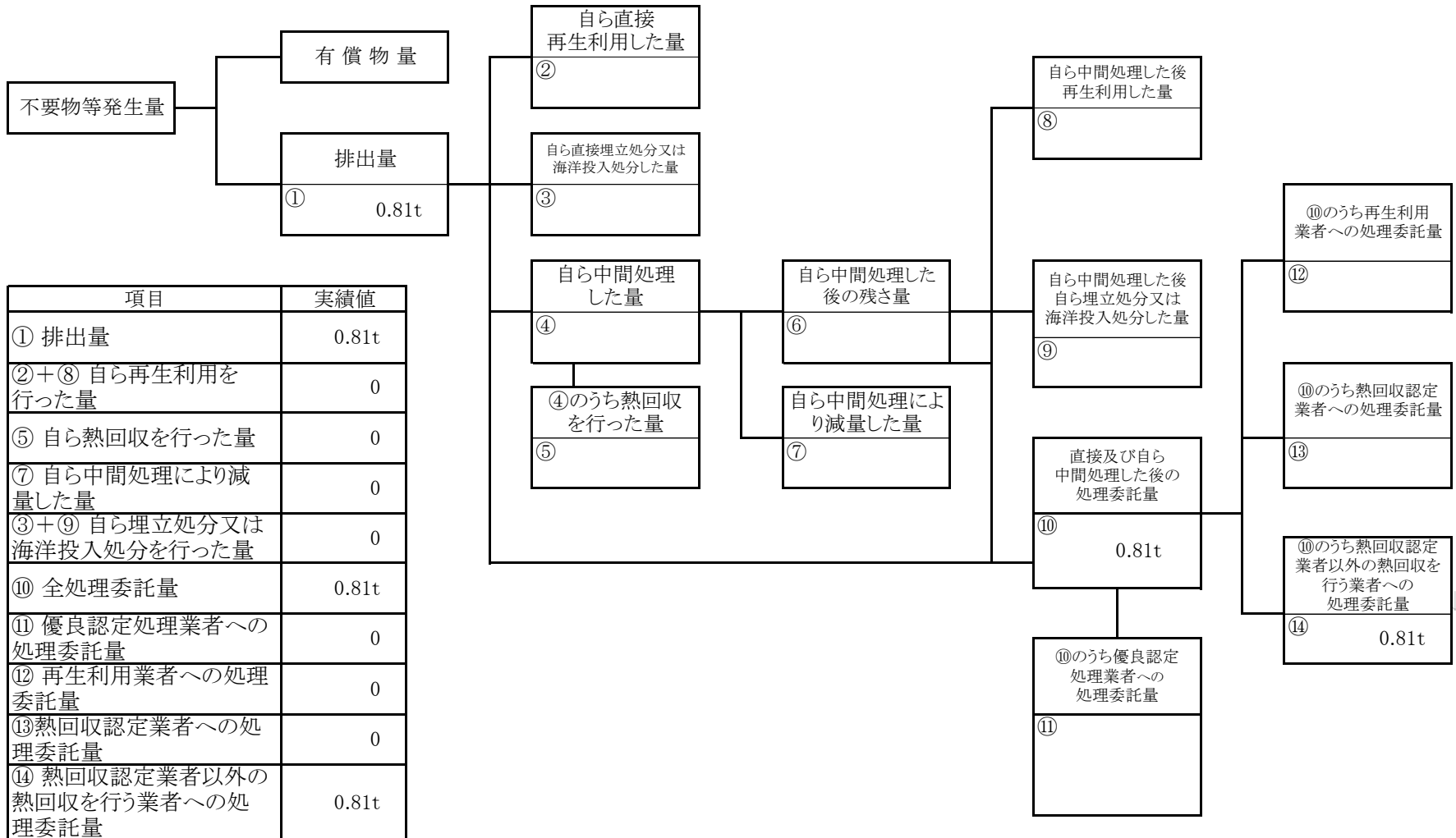
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 動物の死体)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木クズ)



(第3面)

備考

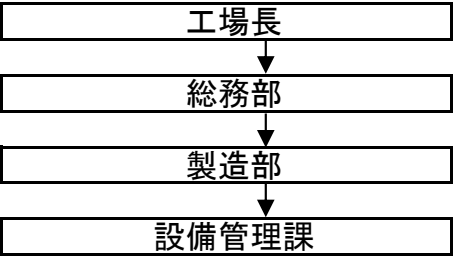
- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理工程

別表1



45t



■ 廃棄物担当課
■ 処理計画作成担当

産業廃棄物処理計画書

別添内訳書

数字(t)

			汚泥	堆積汚泥	廃プラスチック	ガラス・陶器くず 金属くず (使用済蛍光管) 「水銀使用製品 産業廃棄物」	ガラス・陶器くず	動物性残渣	廃アルカリ	汚泥 (腹糞)	動物の死体	木くず	合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項													
	①現状(2025年度実績)	排出量	834.78	0.00	26.38	0.00	0.43	17.52	1,201.83	93.03	22.800	0.81	2,197.58
	②計画(2026年度計画)	排出量	818.08	0.00	25.85	0.00	0.42	17.17	1,177.79	91.17	22.344	0.79	2,153.63
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
	①現状(2025年度実績)	排出量											0.00
	②計画(2026年度計画)	排出量											0.00
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
	①現状(2025年度実績)	自ら熱回収を行った量											0.00
		自ら中間処理により減量する量											0.00
	②計画(2026年度計画)	自ら熱回収を行った量											0.00
		自ら中間処理により減量する量											0.00
自ら行う産業廃棄物の埋め立て処分													
	①現状(2025年度実績)	自ら埋立処分を行った量											0.00
	②計画(2026年度計画)	自ら埋立処分を行う量											0.00
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
	①現状(2025年度実績)	全処理委託量	834.78	0.00	26.38	0.00	0.43	17.52	1,201.83	93.03	22.800	0.81	2,197.58
		(内訳) 優良認定処理業者へ処理を委託した量											0.00
		(内訳) 再生処理業者へ処理を委託した量	834.78			0.00			1,201.83	93.03	22.800		2,152.44
		(内訳) 認定熱回収業者へ処理を委託した量											0.00
		(内訳) 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量		0.00	26.38			17.52				0.81	44.71
	②計画(2026年度計画)	全処理委託量	818.08	0.00	25.85	0.00	0.42	17.17	1,177.79	91.17	22.344	0.79	2,153.63
		(内訳) 優良認定処理業者へ処理を委託する量											0.00
		(内訳) 再生処理業者へ処理を委託する量	818.08			0.00			1,177.79	91.17	22.344		2,109.39
		(内訳) 認定熱回収業者へ処理を委託する量											0.00
		(内訳) 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量		0.00	25.85			17.17				0.79	43.82

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 8 年 6 月 24 日			
長崎県知事 殿			
提出者			
住 所 福岡県久留米市三潅町西牟田6442-1			
氏 名 株式会社フジクロ 代表取締役 中 島 崇			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 042-51-5021			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和 7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	竹松 (6) 整備場新設等土木工事		
事業場の所在地	長崎県大村市		
事業の種類	建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1090 t	全処理委託量	0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1090 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 :

アスファルト殻

)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 40.0

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理に
より減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 40.0

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 40.0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0

項目	実績値
① 排出量	40.0
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	40.0
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	40.0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

コンクリート殻

)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 878

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理に
より減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 878

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 878

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0

項目	実績値
① 排出量	878
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	878
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	878
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 :

廃プラ

)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 0.875

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理に
より減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 0.875

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0.875

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0

項目	実績値
① 排出量	0.875
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0.875
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.875
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

混合

)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 0.38

自ら直接
再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理に
より減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 0.38

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0.38

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0

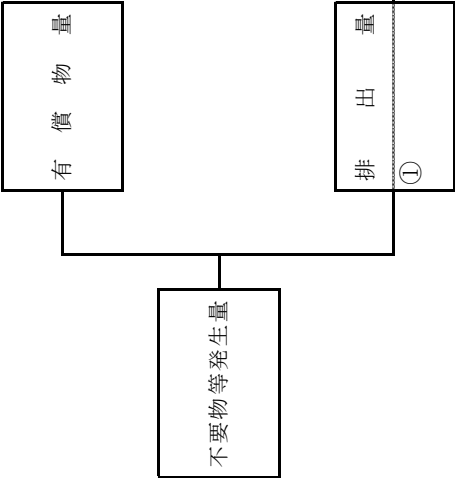
項目	実績値
① 排出量	0.38
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	0.38
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.38
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2026年 月 日			
長崎県知事 殿			
提出者 住 所 福岡県福岡市中央区舞鶴3-9-39 氏 名 株式会社 フジタ 九州支店 支店長 吉村 康男 電話番号 092-281-0664			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社フジタ 九州支店		
事業場の所在地	福岡市中央区舞鶴3-9-39		
事業の種類	建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	941.4 t	全処理委託量	941.4 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	941.4 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	941.4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類：)



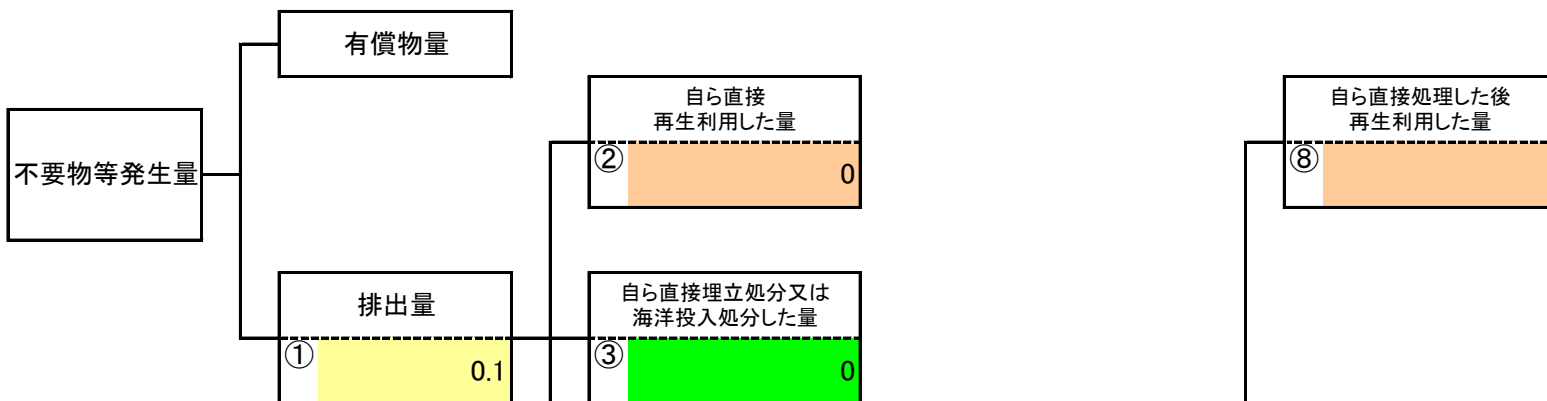
項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

計画の実施状況

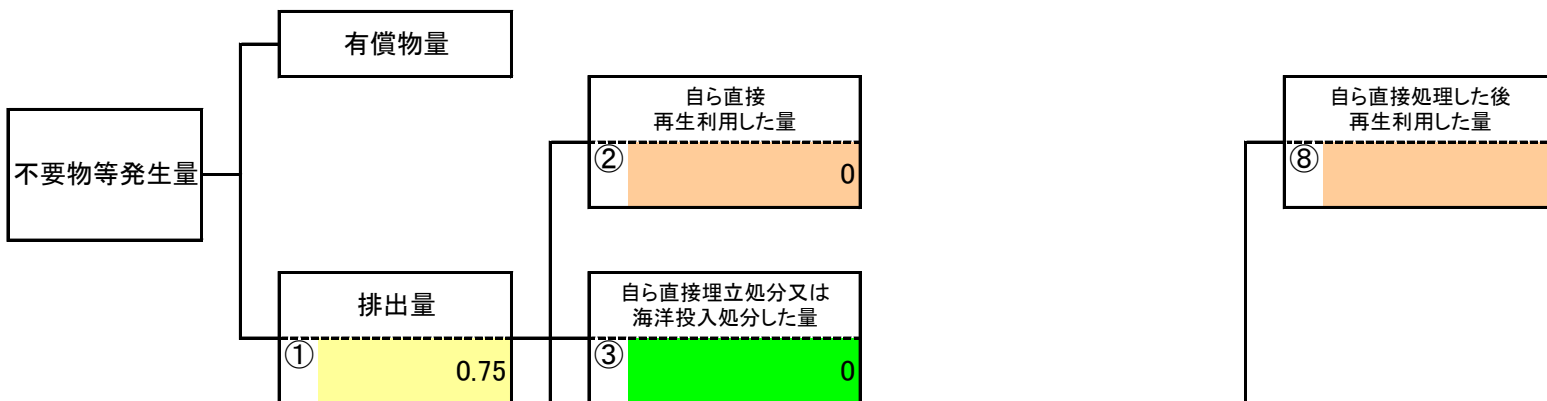
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	0.1
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

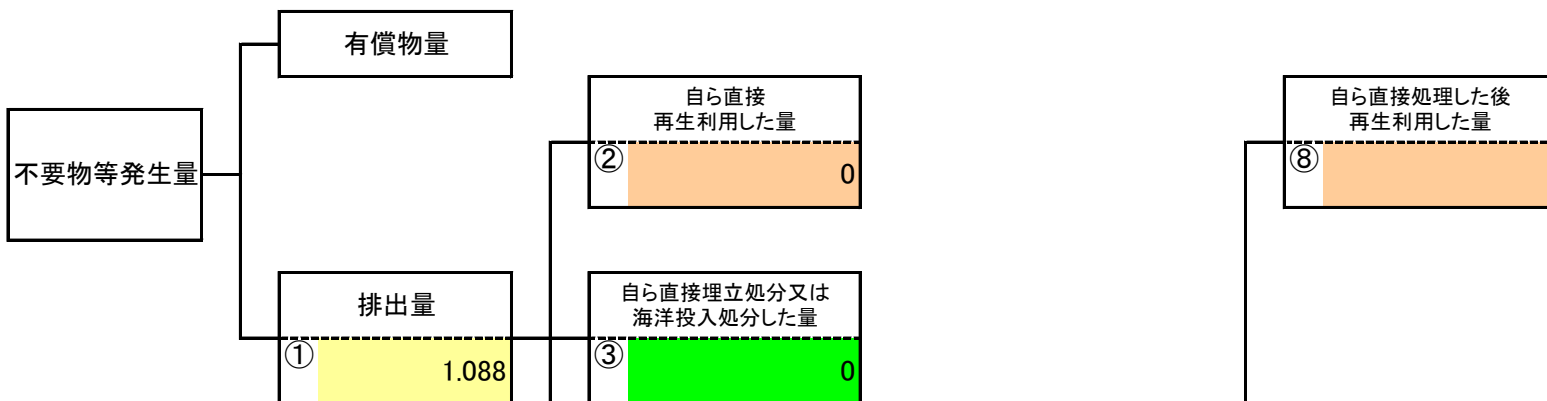


項目	実績値
①排出量	0.75
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.75
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.75
⑫再生利用業者への処理委託量	0.75
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

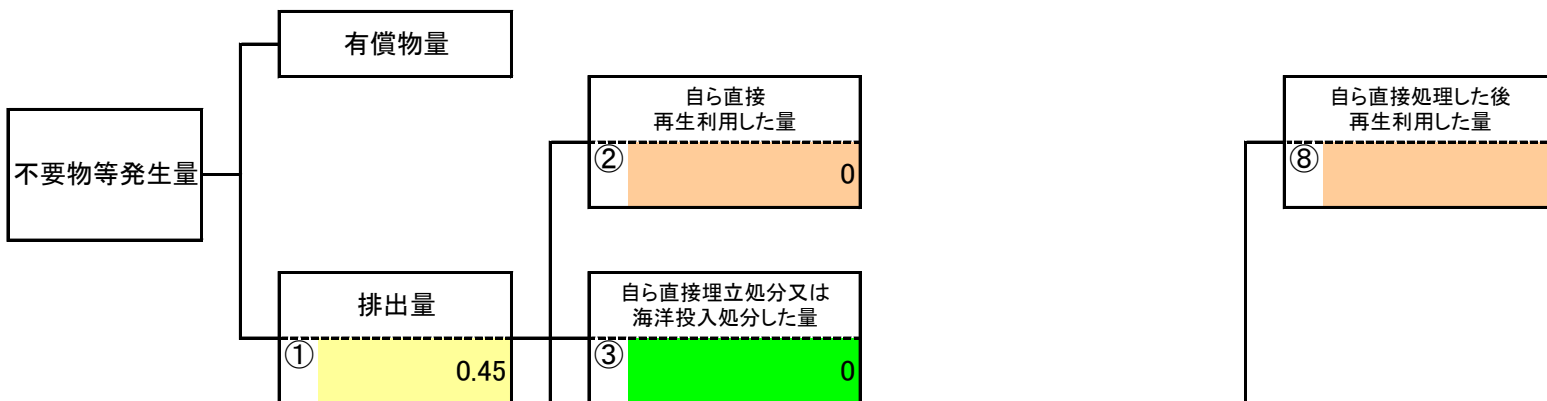
(産業廃棄物の種類: ガラス陶器くず)



項目	実績値
①排出量	1.088
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.088
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.088
⑫再生利用業者への処理委託量	1.088
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶器くず)



項目	実績値
①排出量	0.45
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.45
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.45
⑫再生利用業者への処理委託量	0.45
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 8年 6月 30日

長崎県知事 殿

提出者

住 所 佐世保市光町109番地

株式会社 堀内組

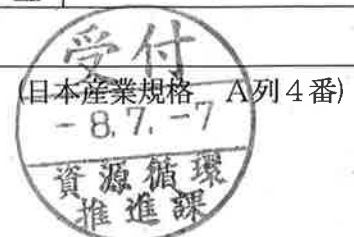
氏 名 代表取締役 山下 忠則

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0956-47-2127

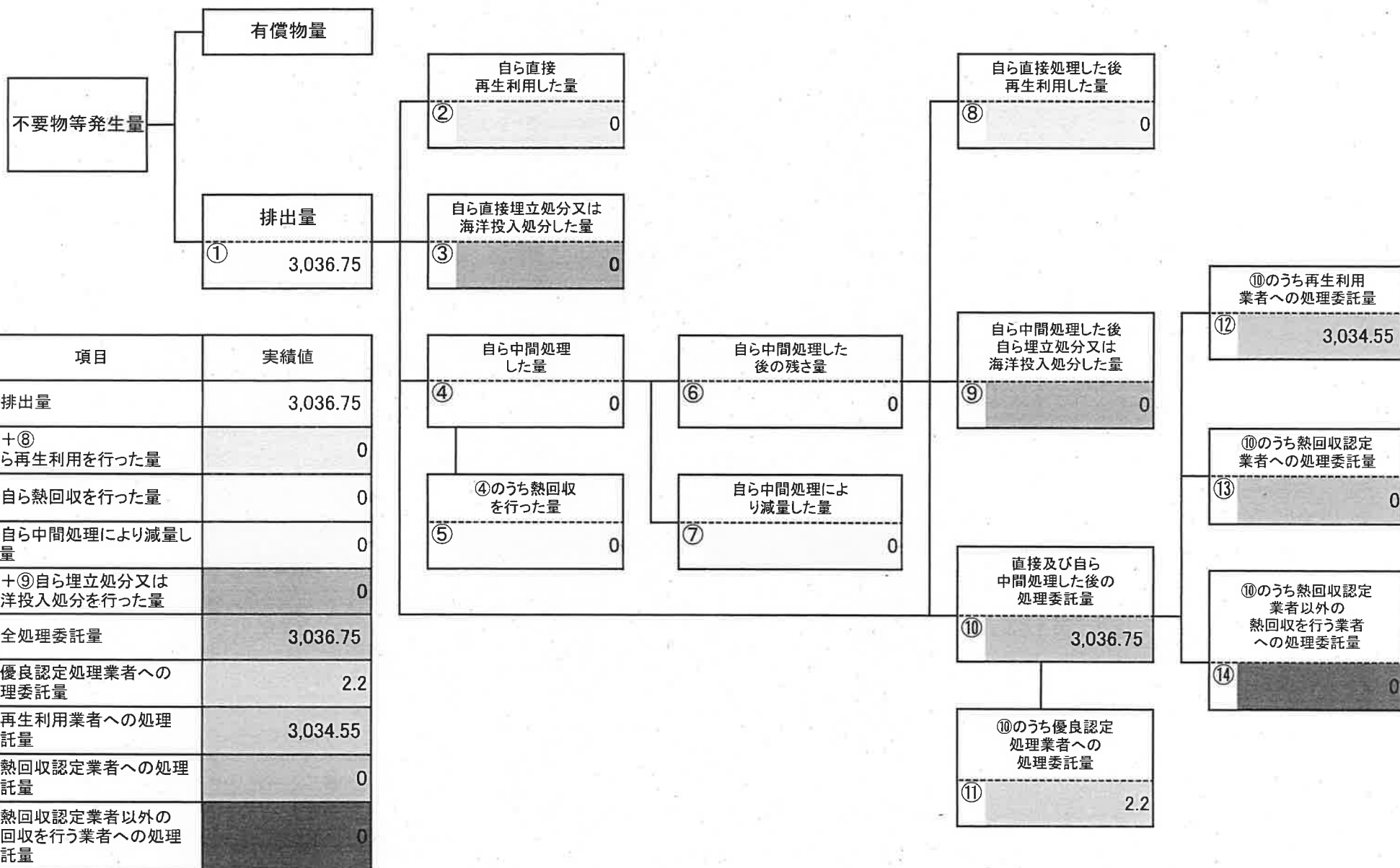
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 堀内組		
事業場の所在地	佐世保市光町109番地		
事業の種類	総合建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙のとおり	全処理委託量	別紙のとおり
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり
※事務処理欄			



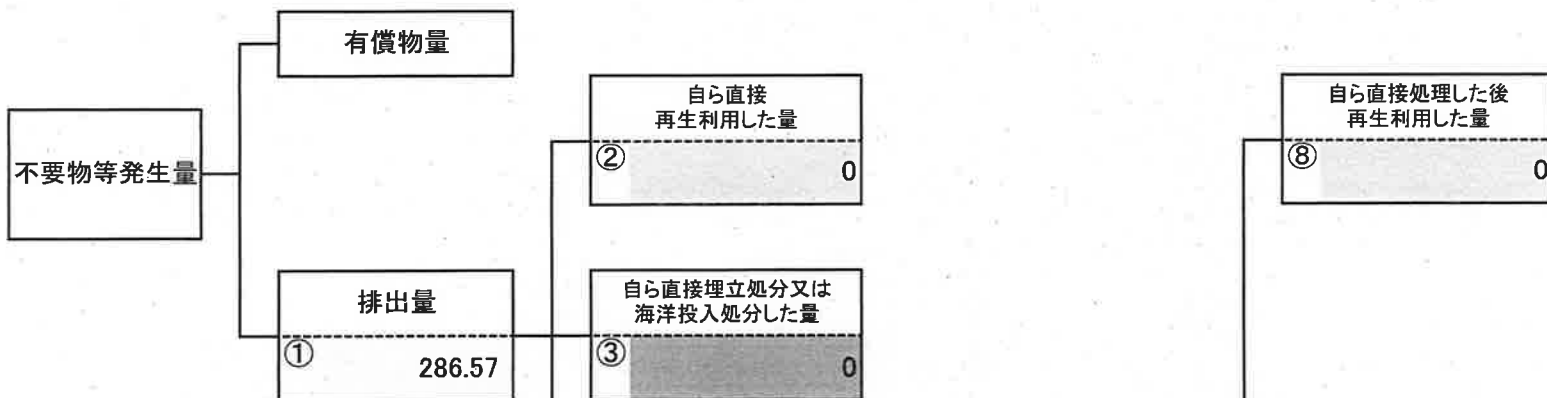
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:がれき類(コンクリートがら))



計画の実施状況

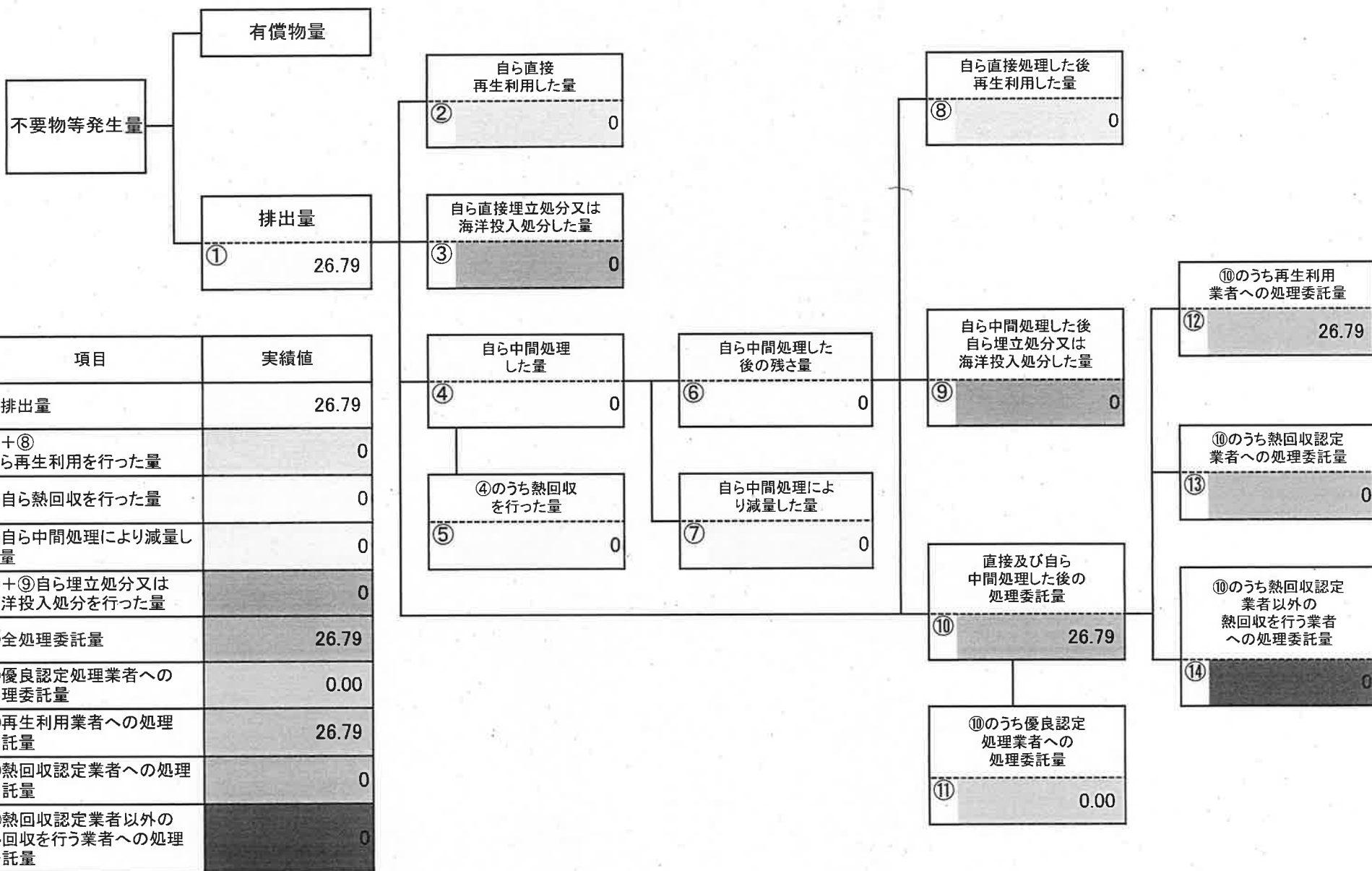
(産業廃棄物の種類:がれき類(アスコンがら))



項目	実績値
①排出量	286.57
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	286.57
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	286.57
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

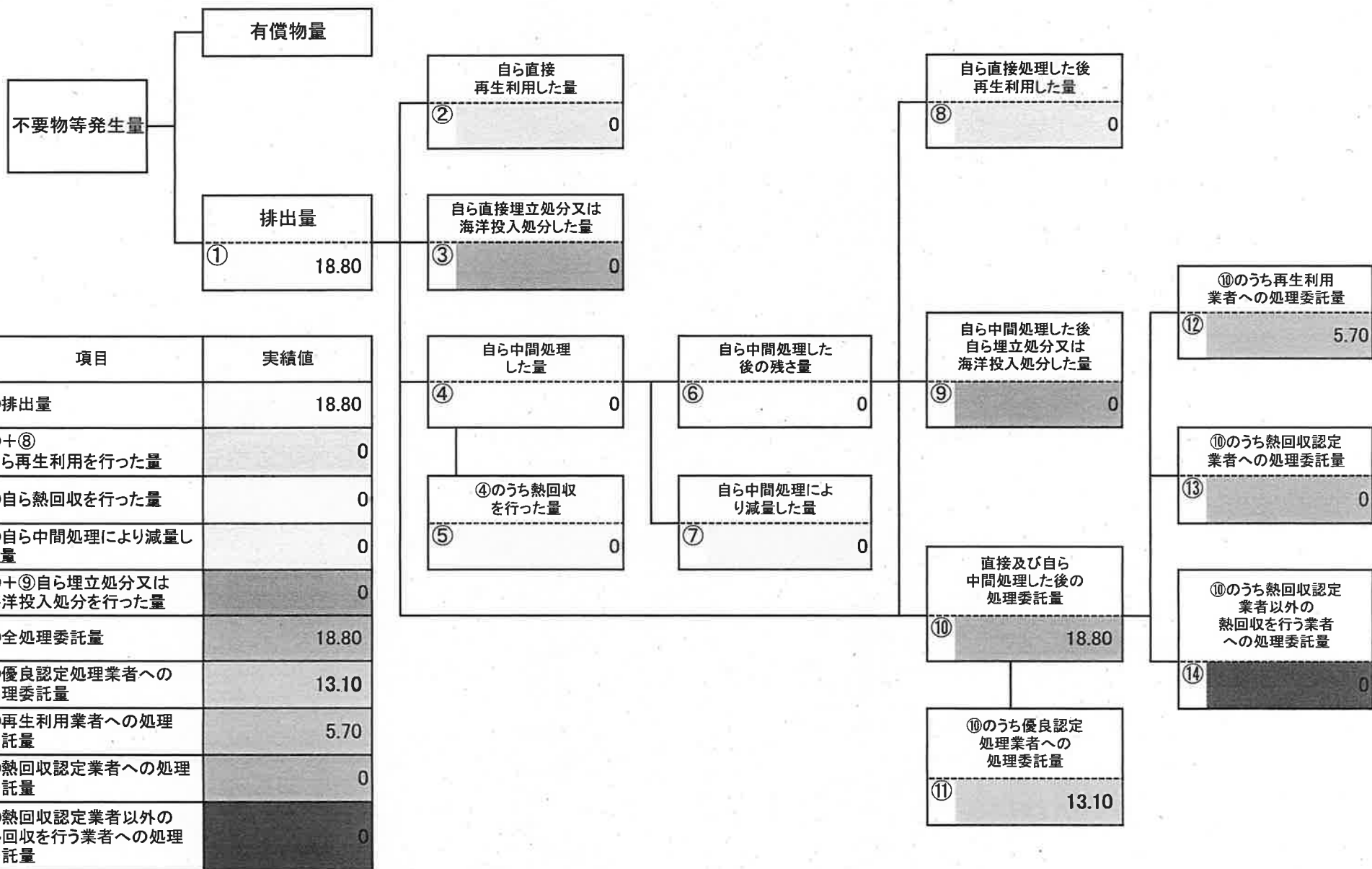
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:がれき類(その他))



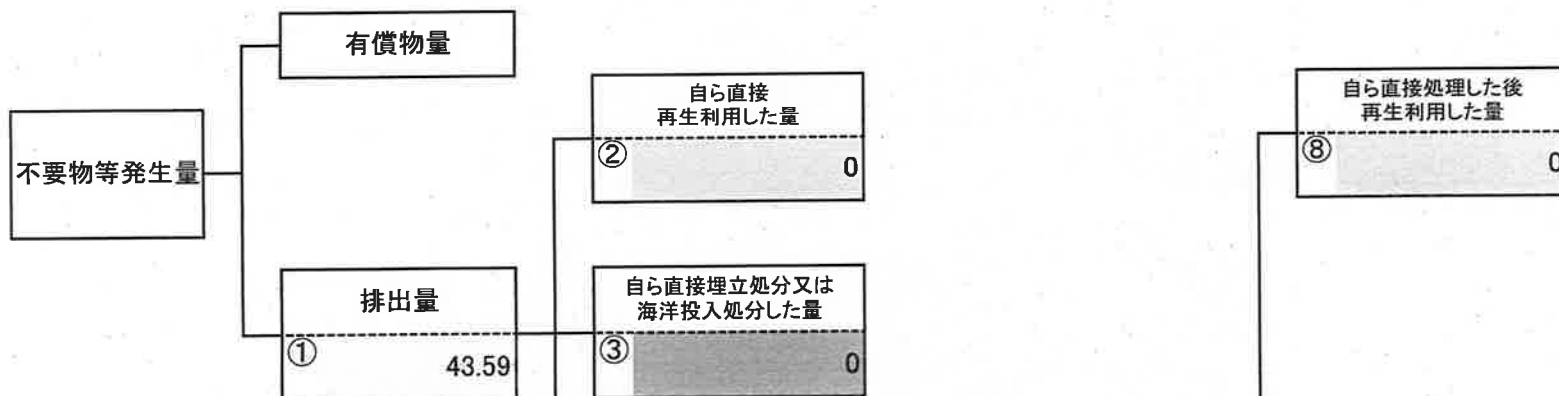
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:ガラス・陶磁器くず)



計画の実施状況

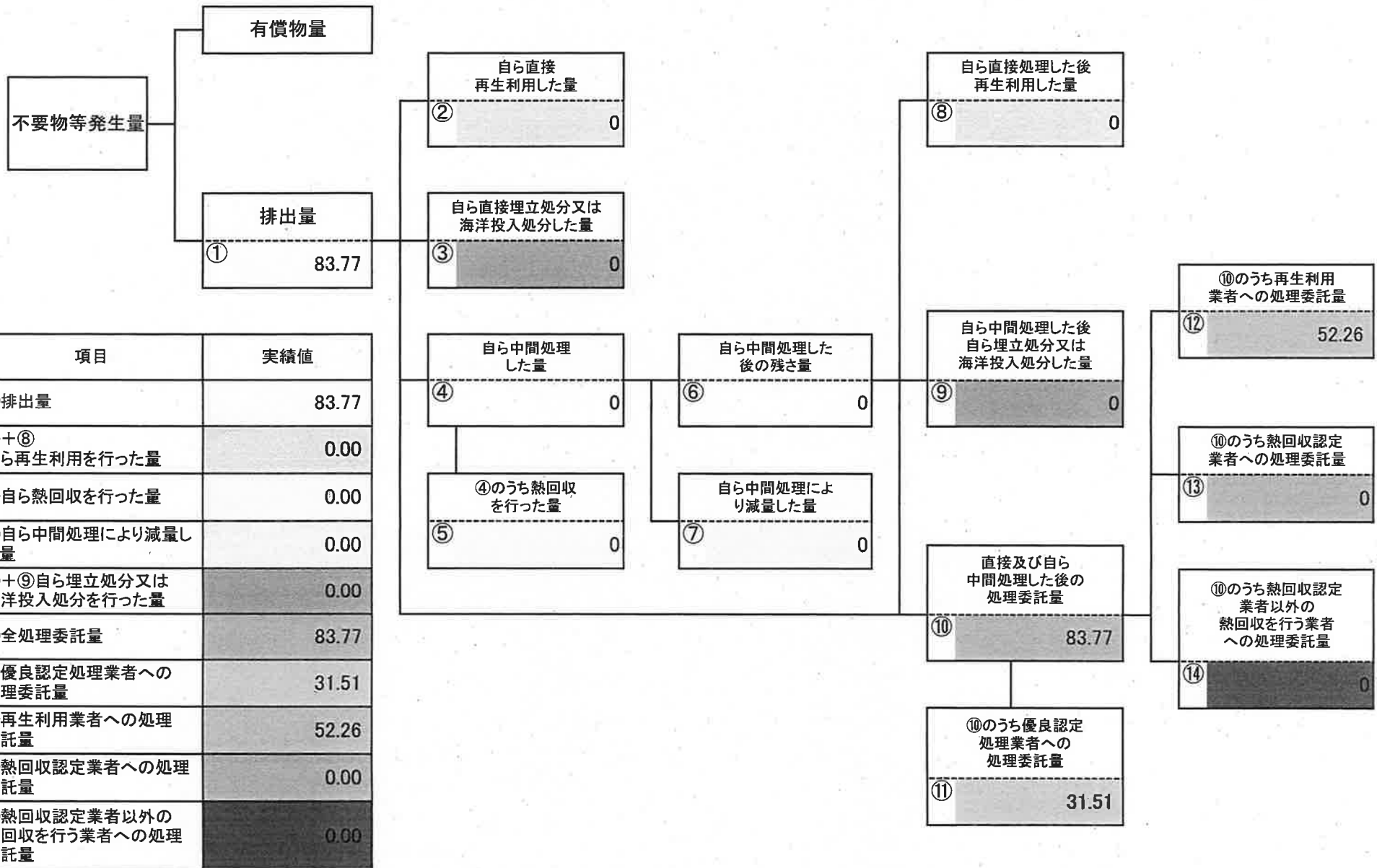
(産業廃棄物の種類:廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	43.59
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	43.59
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.31
⑫再生利用業者への処理委託量	2.28
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

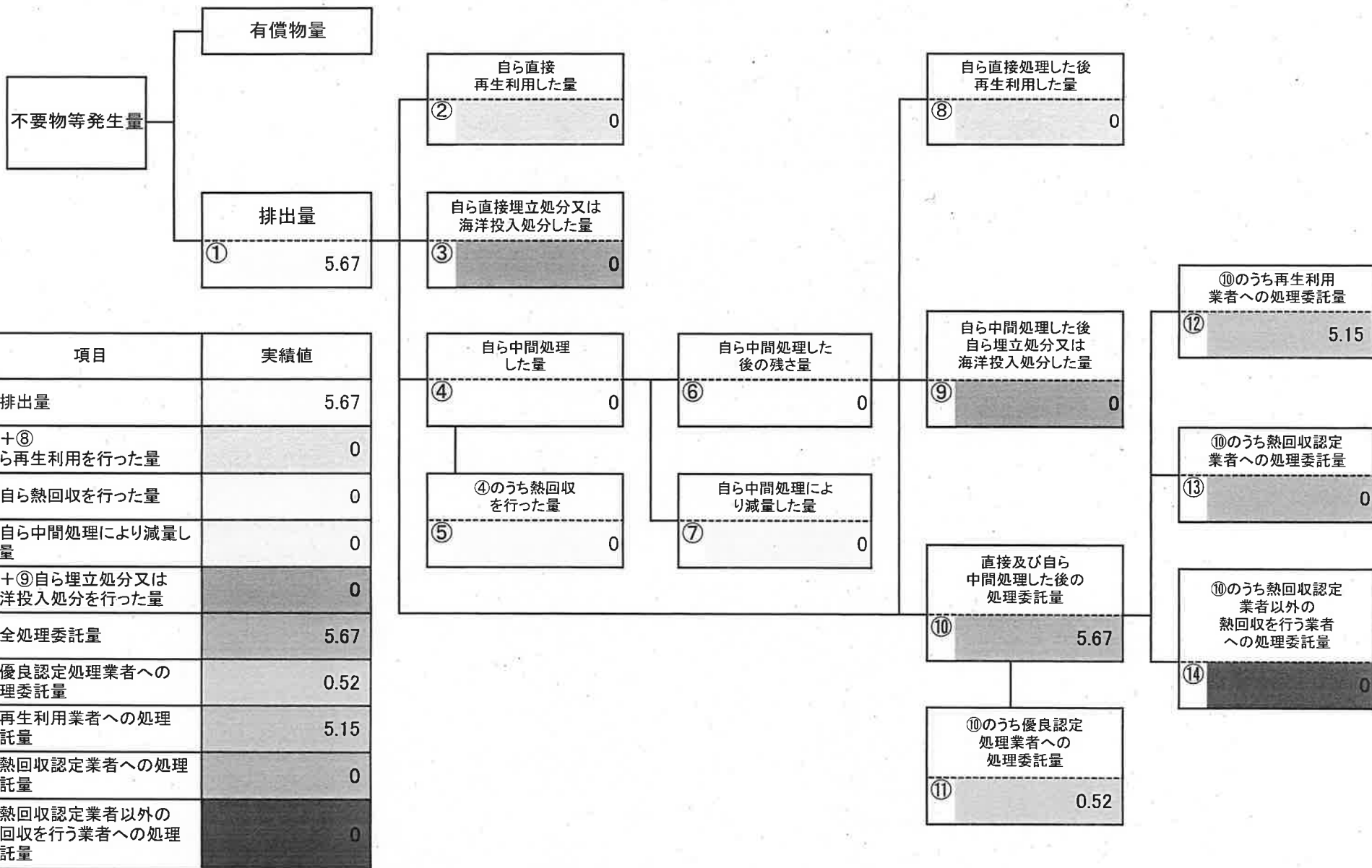
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:金属くず)



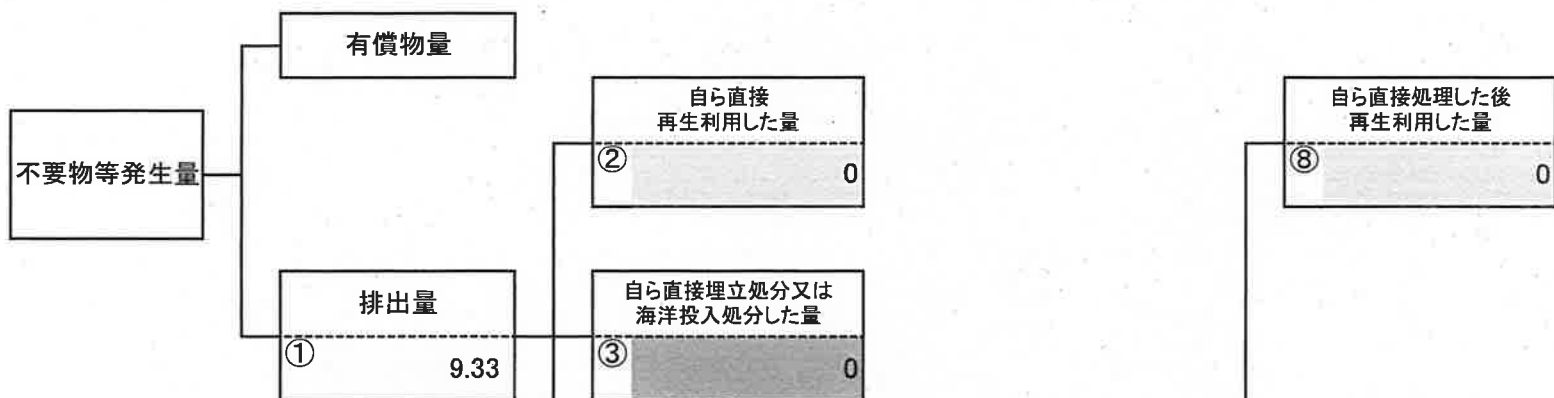
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:石綿含有産業廃棄物(安定型))



計画の実施状況

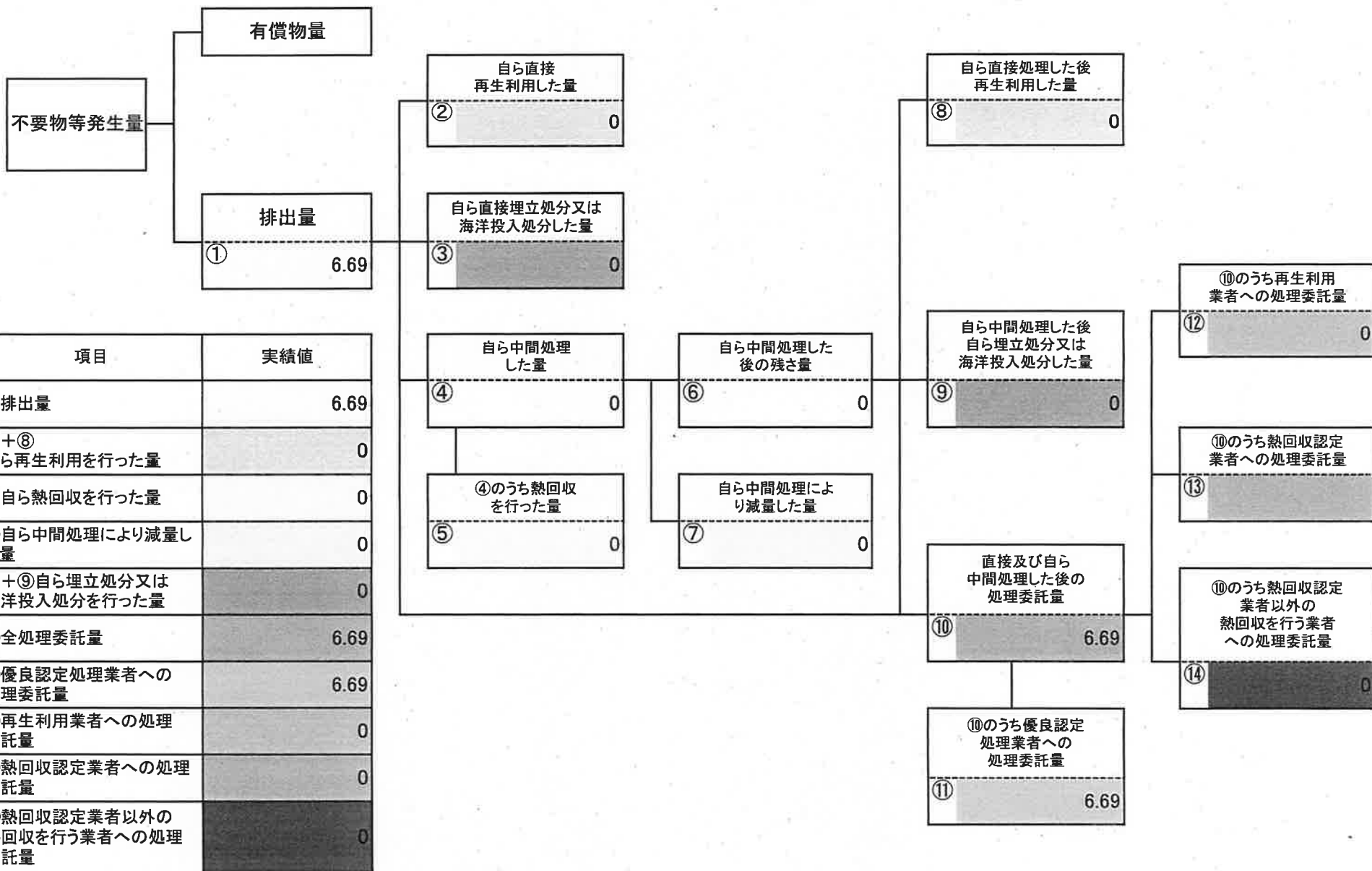
(産業廃棄物の種類:建設汚泥)



項目	実績値
①排出量	9.33
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	9.33
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	9.33
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

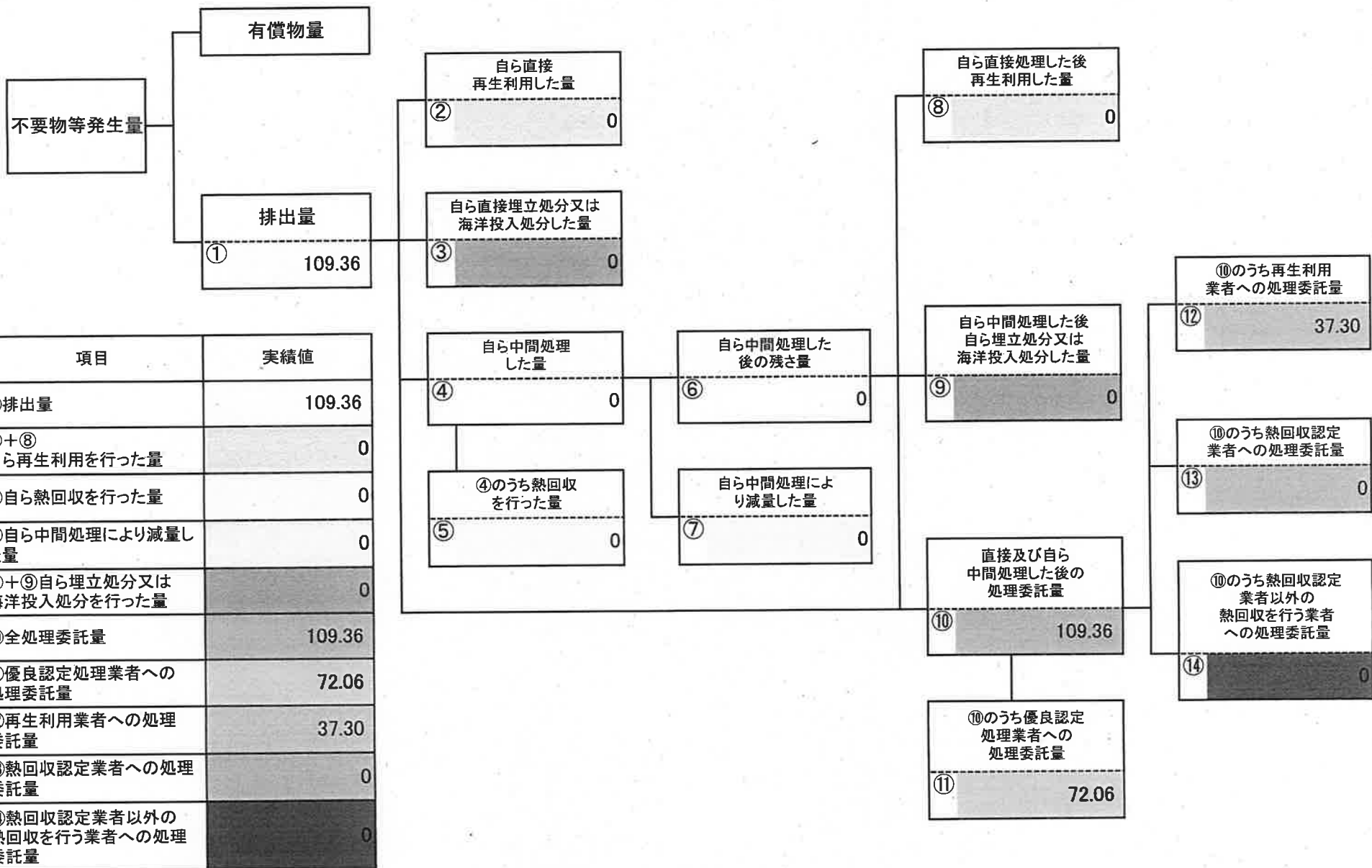
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:紙くず)



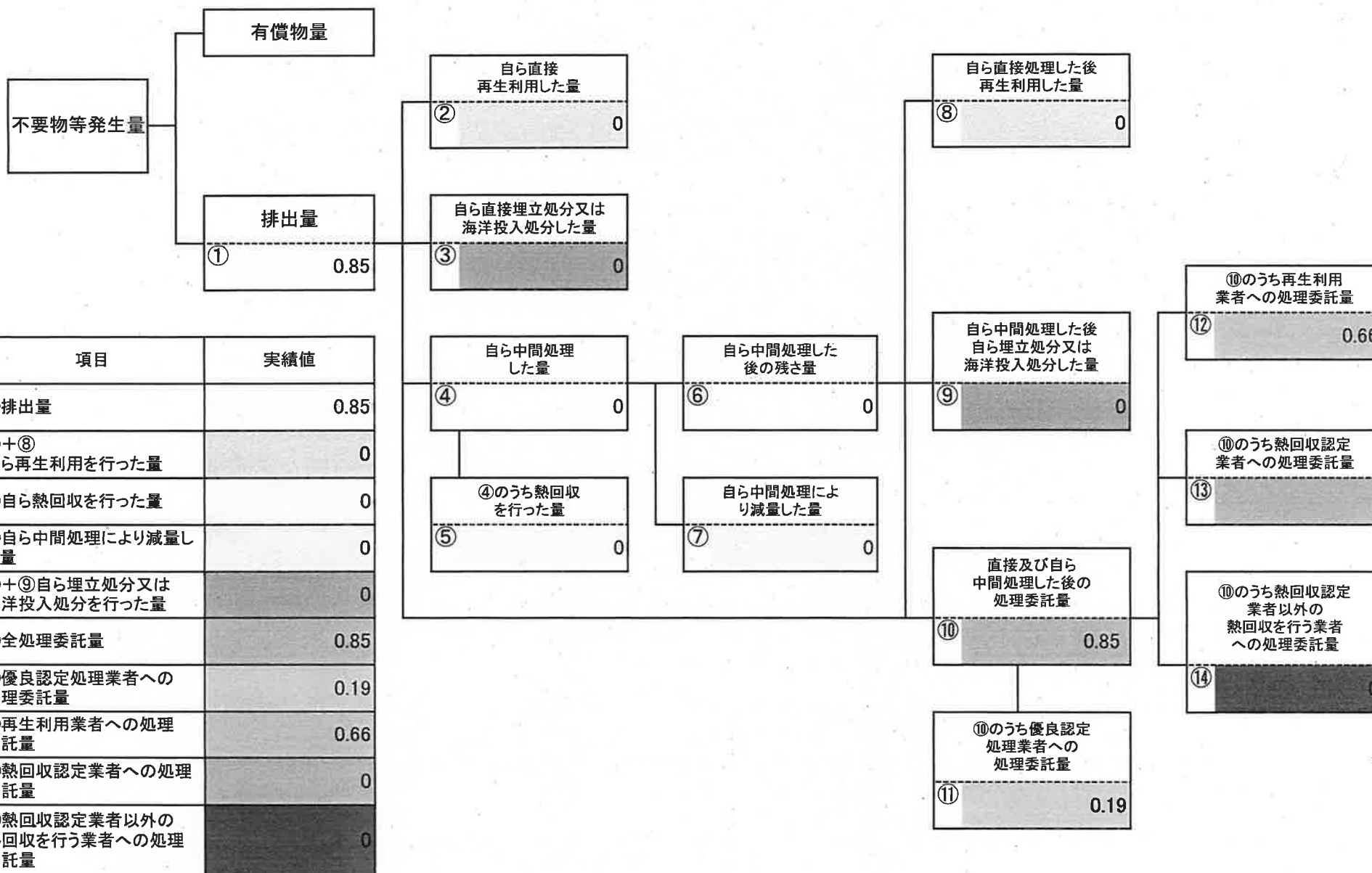
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:木くず)

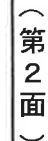


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:繊維くず)

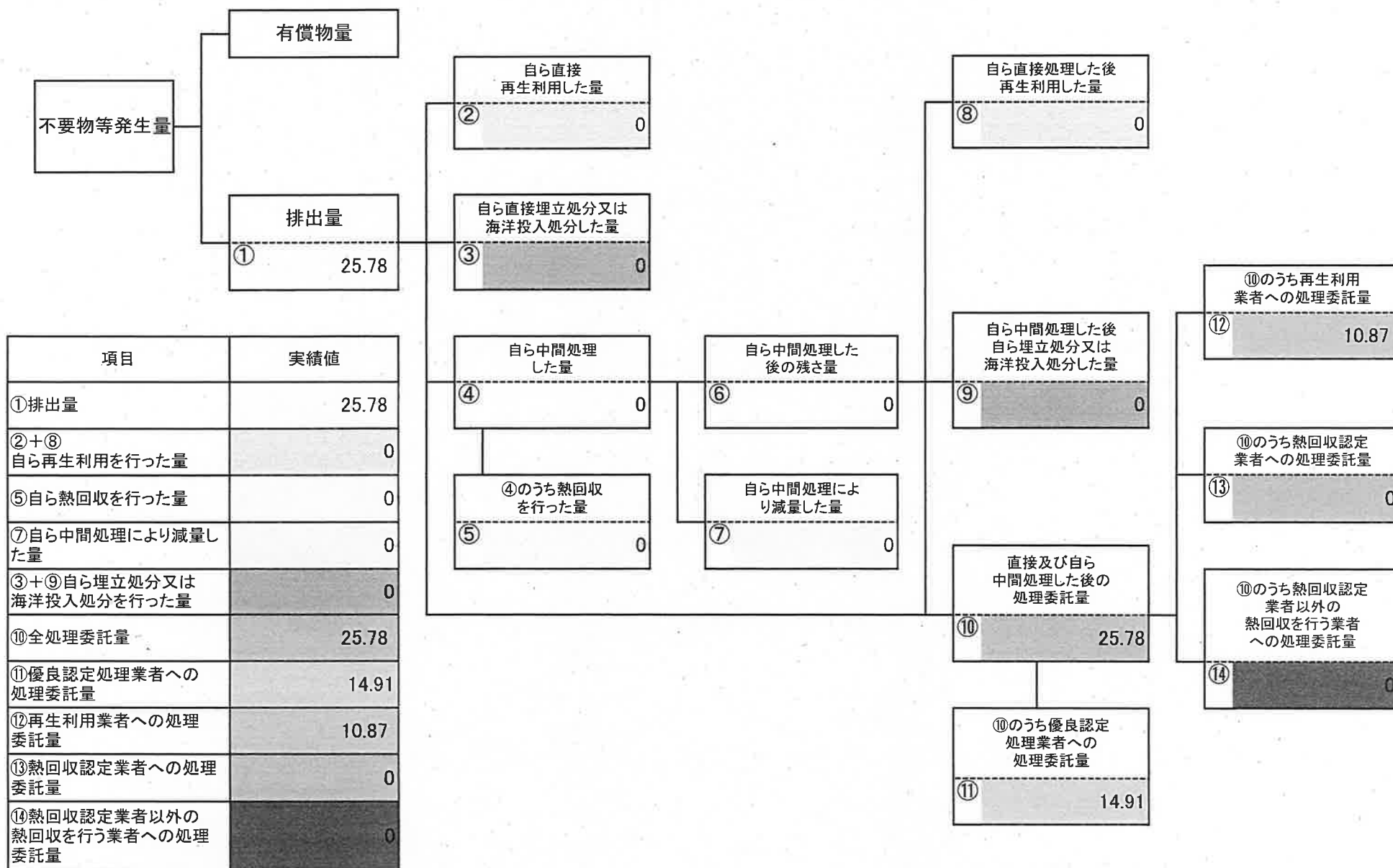


(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)



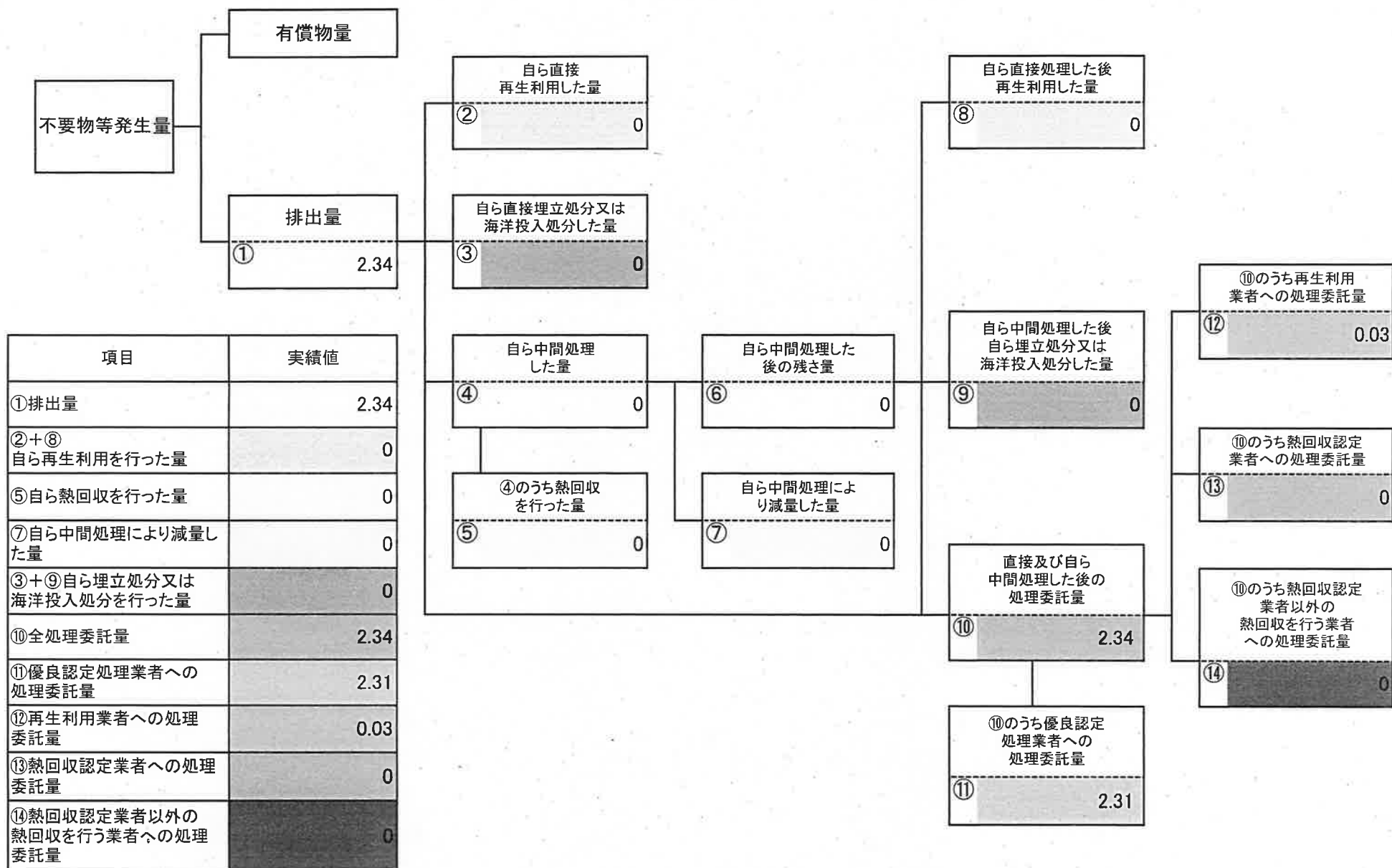
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:混合(管理型))



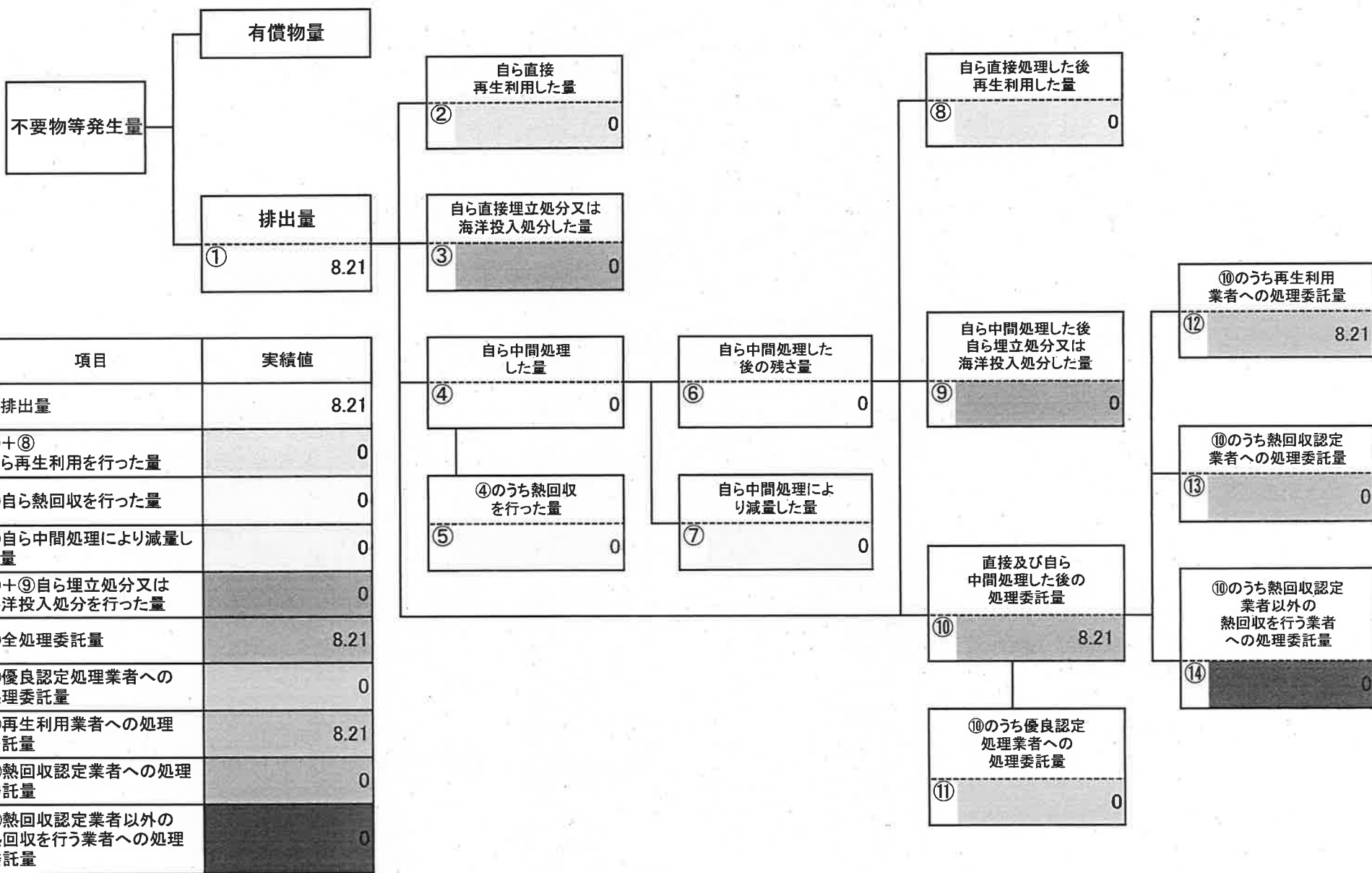
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:水銀使用製品廃棄物)



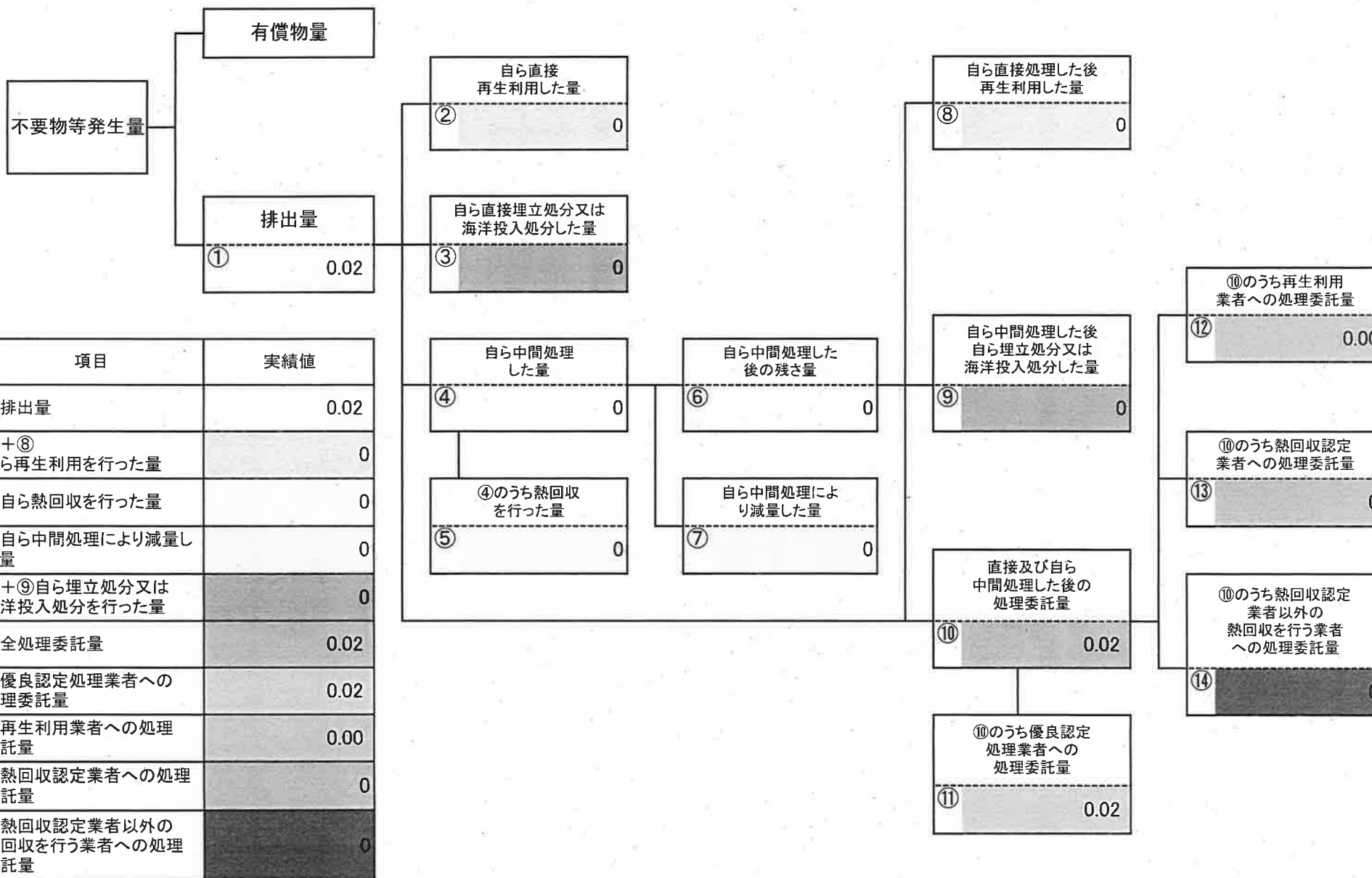
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)



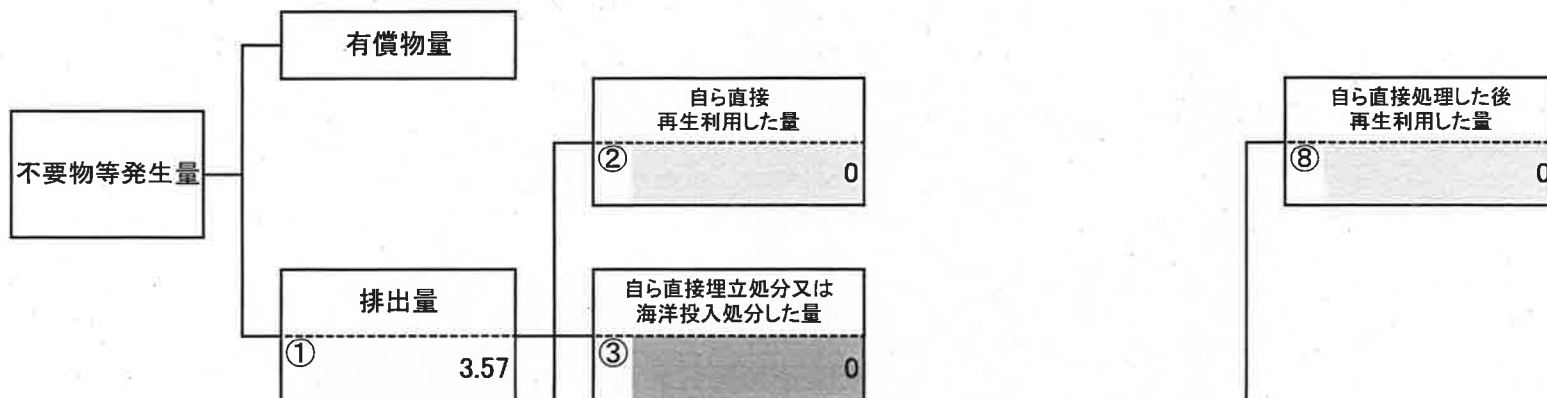
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:木毛板)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石綿等)



項目	実績値
①排出量	3.57
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.57
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.57
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

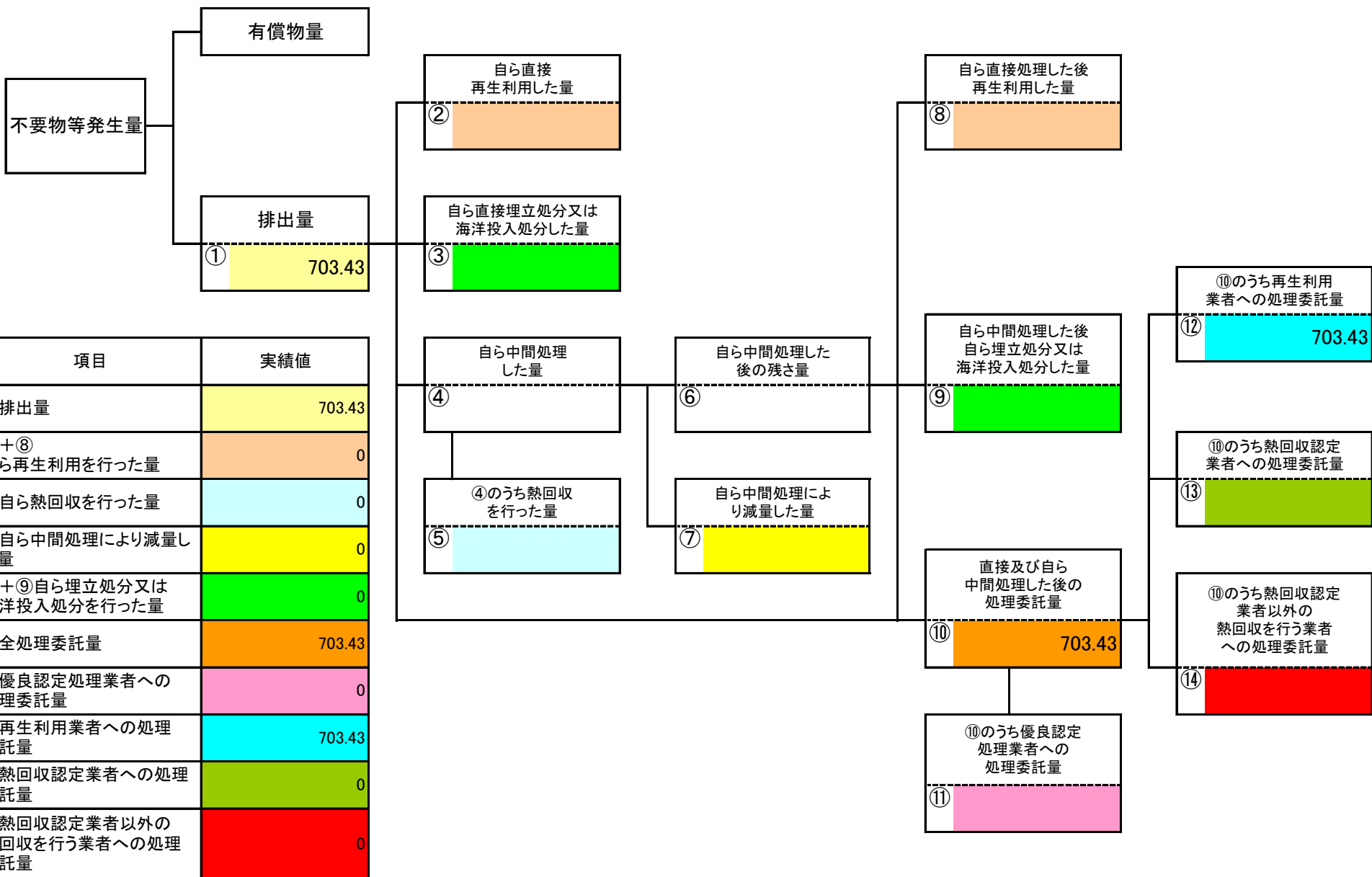
備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和8年 5月 18日			
長崎県知事 殿			
提出者 本田建設株式会社 住所 長崎県島原市有明町大三東戊705 氏名 代表取締役 本田 悦弘 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0957-68-0171			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	本田建設株式会社		
事業場の所在地	長崎県島原市有明町大三東戊705		
事業の種類	06:総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,101 t	全処理委託量	2,101 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,101 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

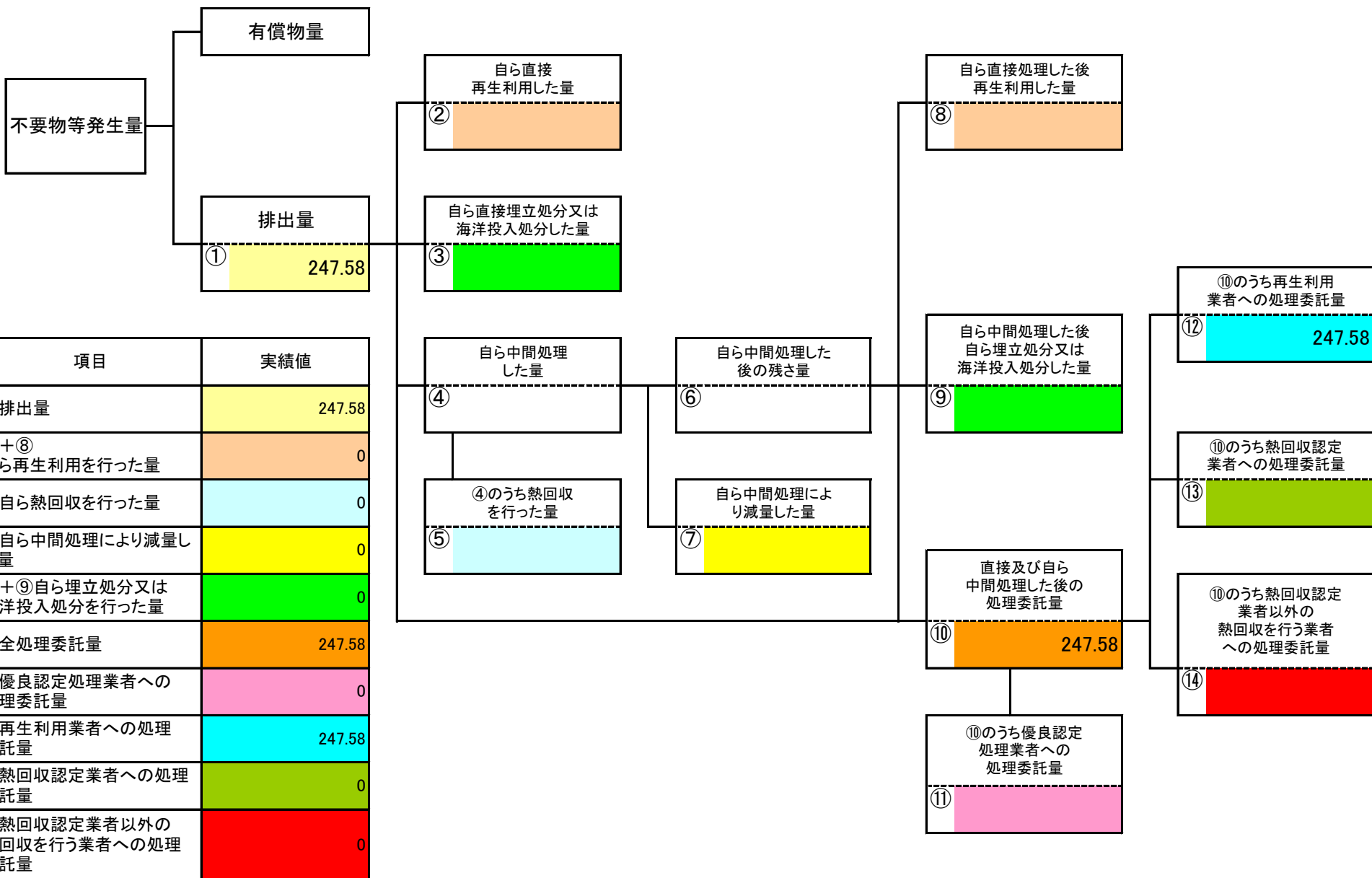
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート塊)



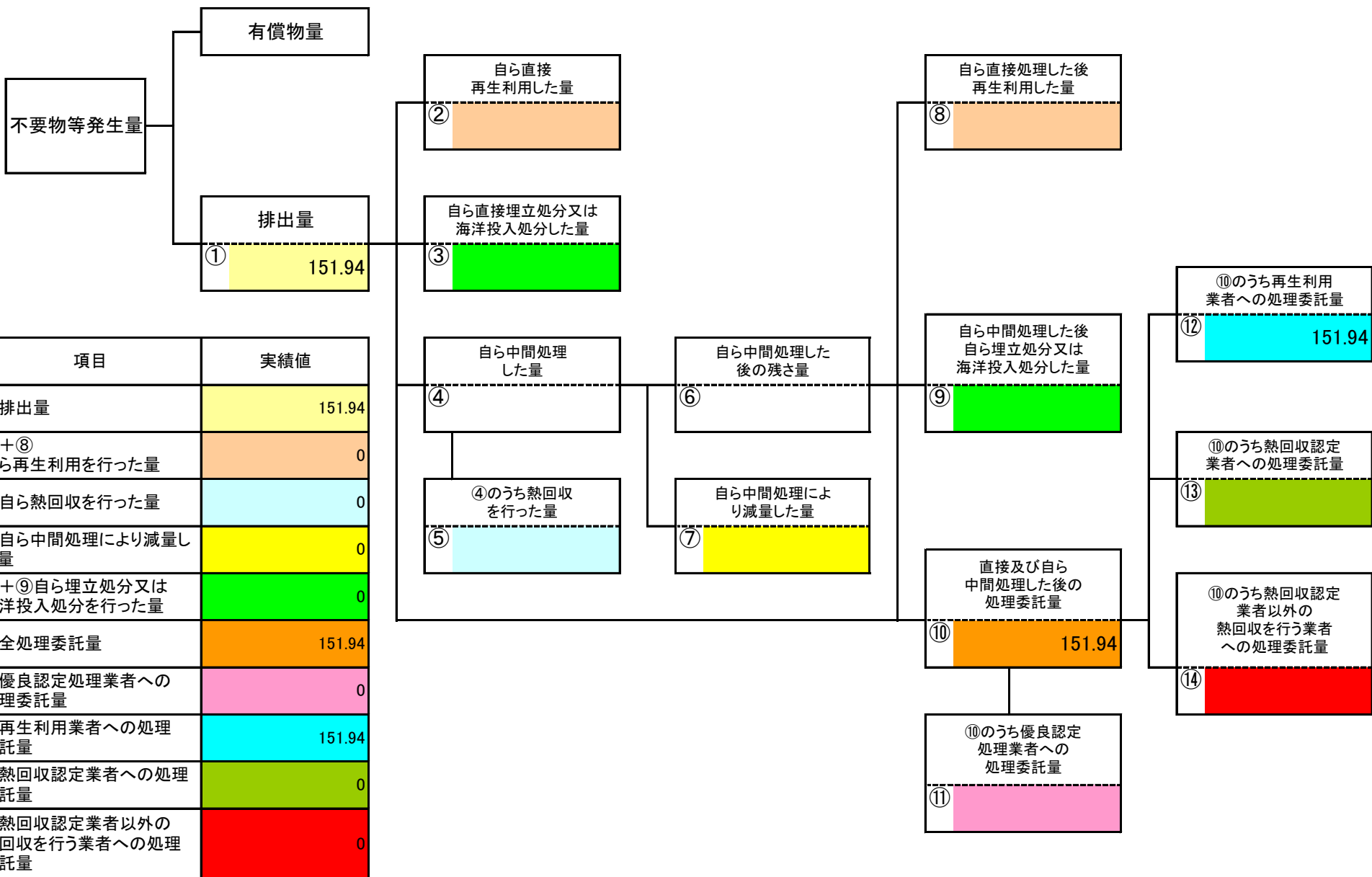
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト塊)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設発生木材)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)



項目	実績値
①排出量	6.82
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6.82
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1
⑫再生利用業者への処理委託量	6.82
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

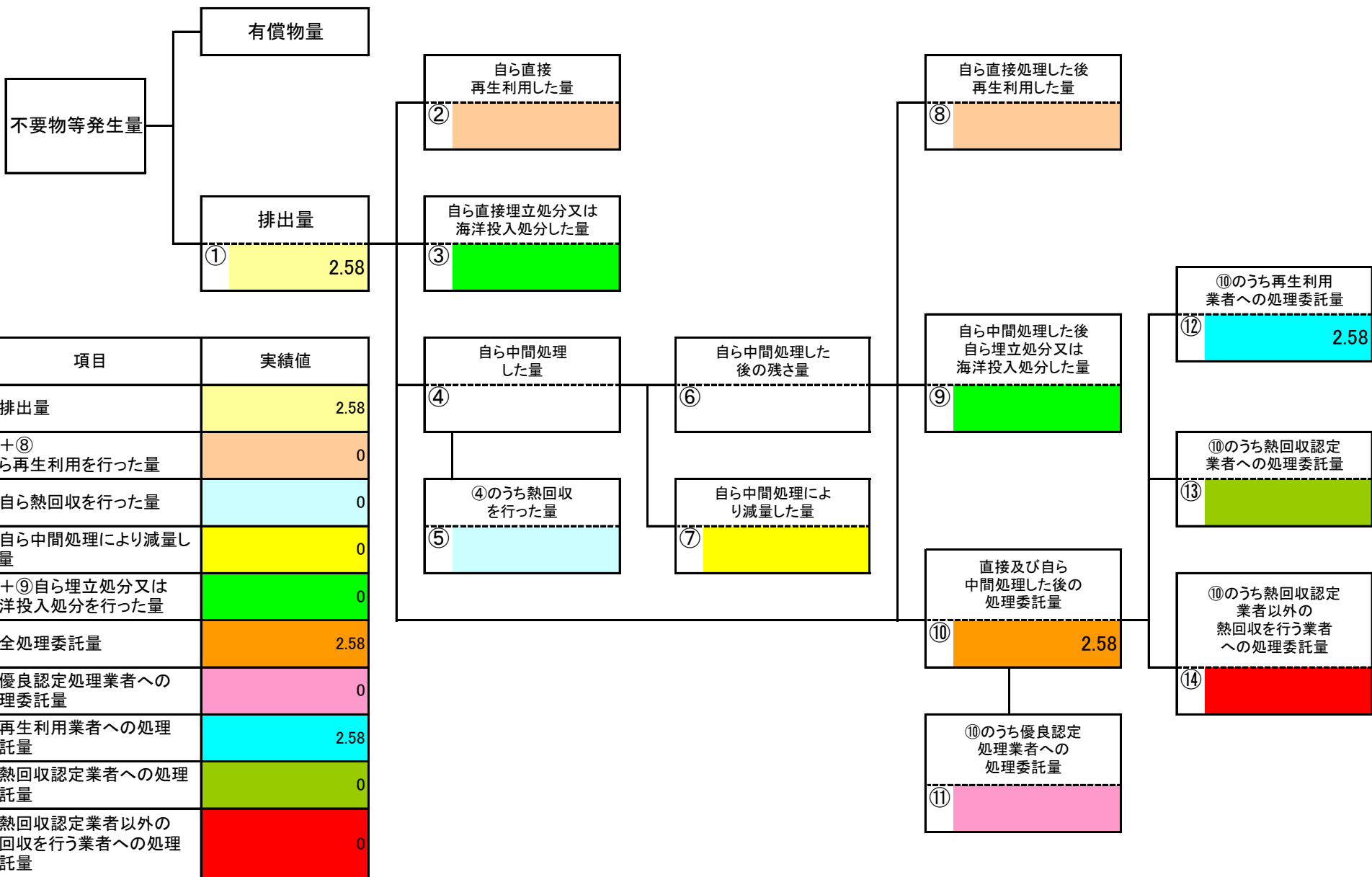
(産業廃棄物の種類: 他がれき)



項目	実績値
①排出量	17
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	17
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	17
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラ)



項目	実績値
①排出量	9.47
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	9.47
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	9.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

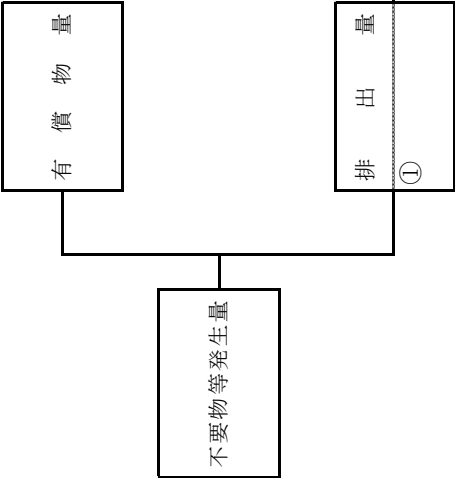
(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和8年 6 月 1 8 日			
長崎県知事 殿			
提出者			
住 所 長崎市興善町4-8第10森谷ビル3階			
氏 名 松尾建設株式会社 長崎支店			
支店長 前田 勝三			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 095-826-7191			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	松尾建設株式会社 長崎支店		
事業場の所在地	長崎県内事業所(長崎市、佐世保市を除く)		
事業の種類	06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3767 t	全処理委託量	3767 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	331 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3650 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類:)



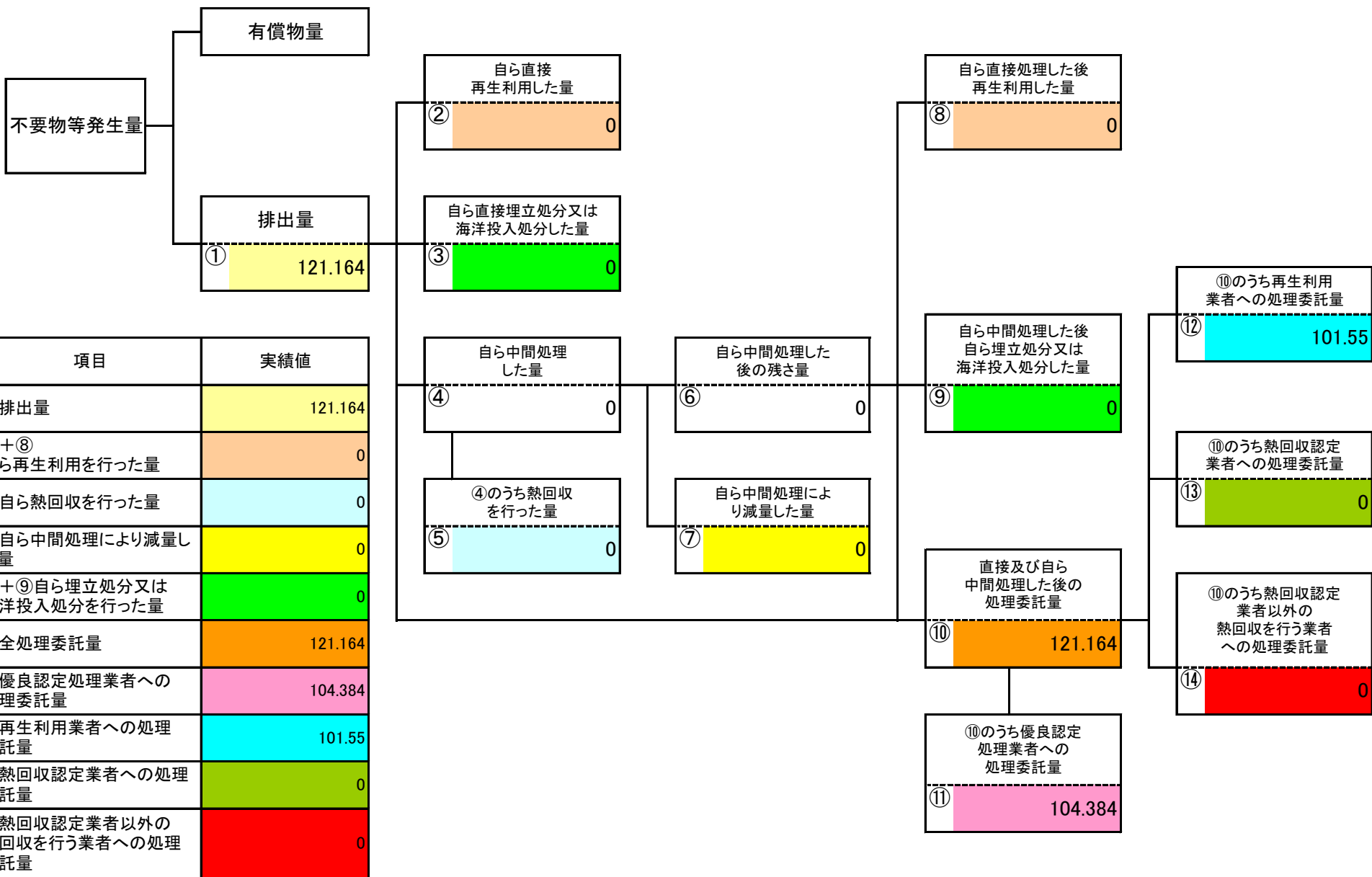
項目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

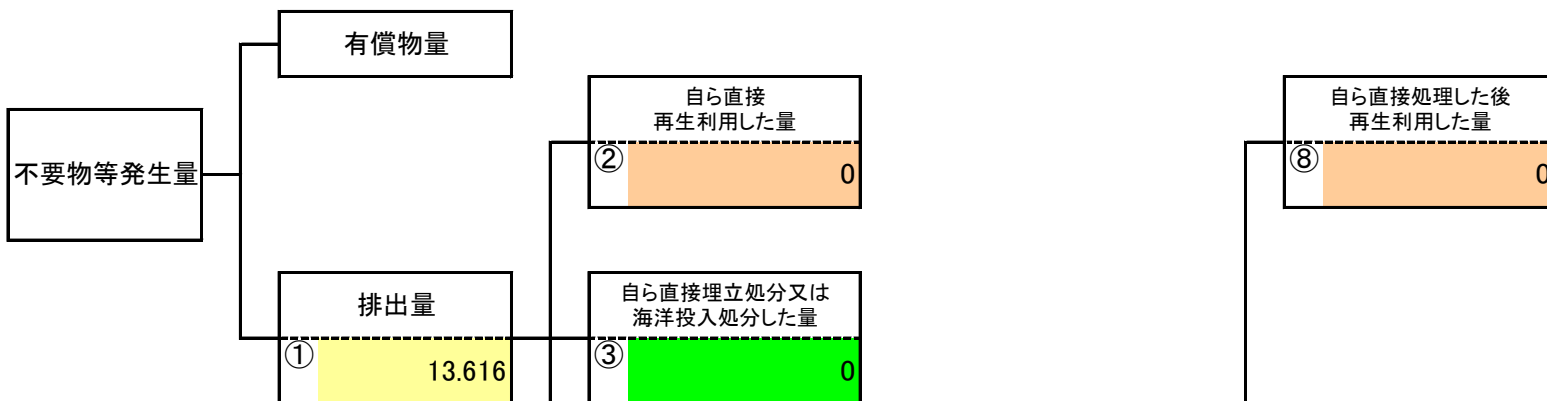
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)



計画の実施状況

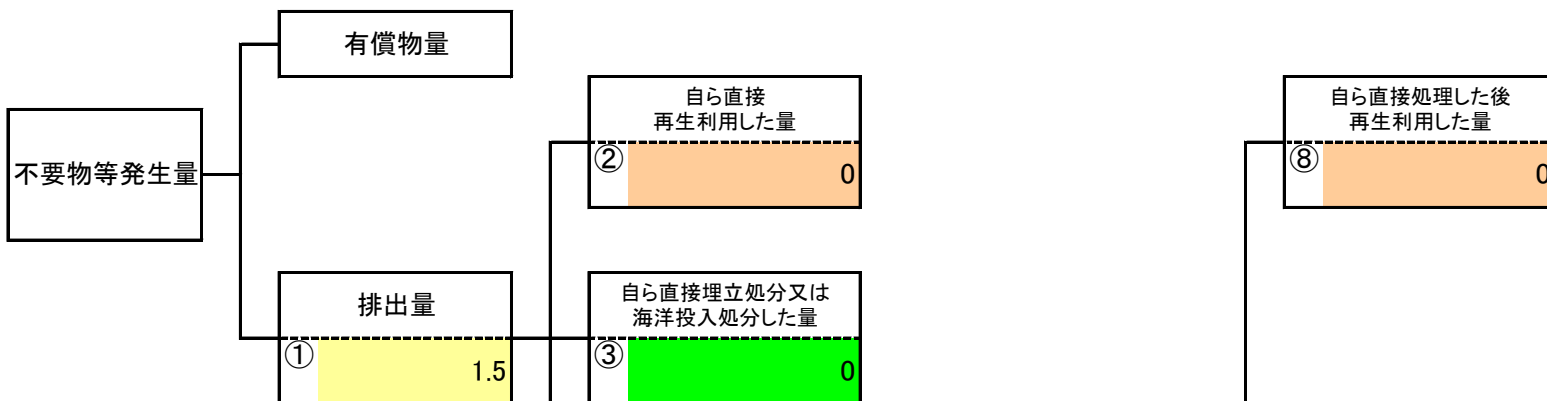
(産業廃棄物の種類: がれき類)



項目	実績値
①排出量	13.616
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	13.616
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.616
⑫再生利用業者への処理委託量	9.62
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

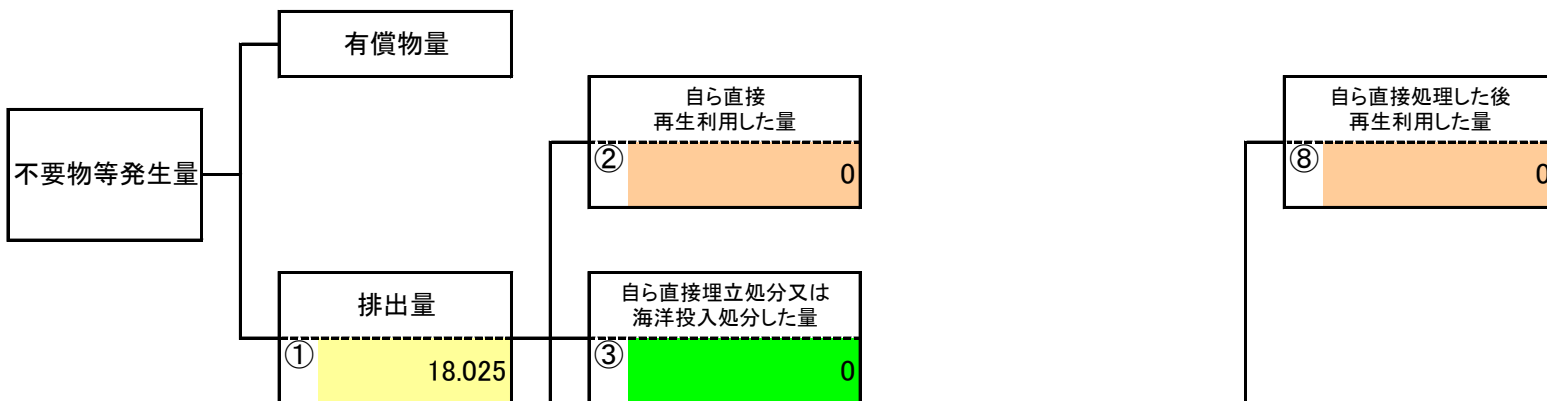
(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	1.5
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

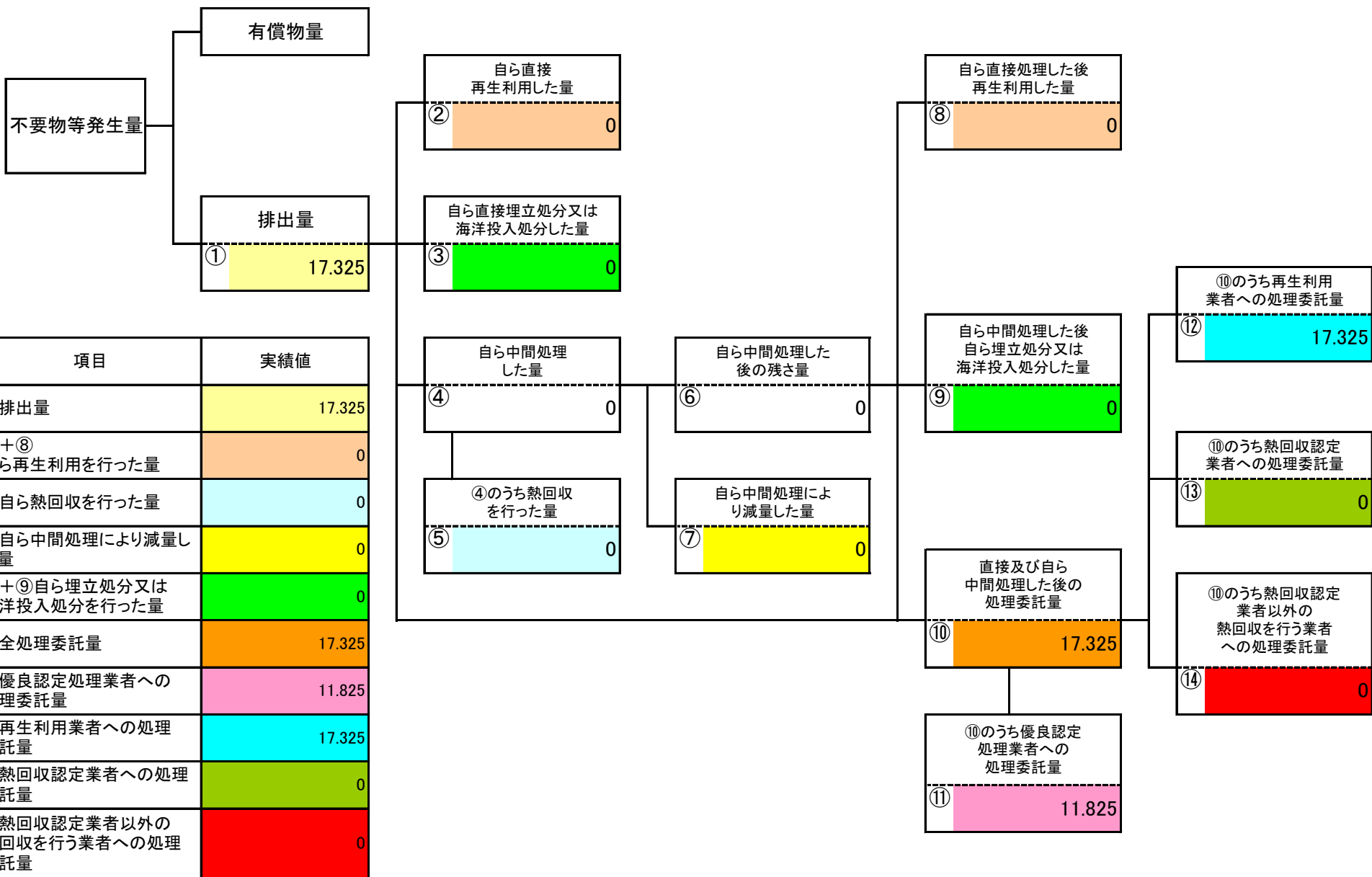
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	18.025
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	18.025
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.975
⑫再生利用業者への処理委託量	18.025
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

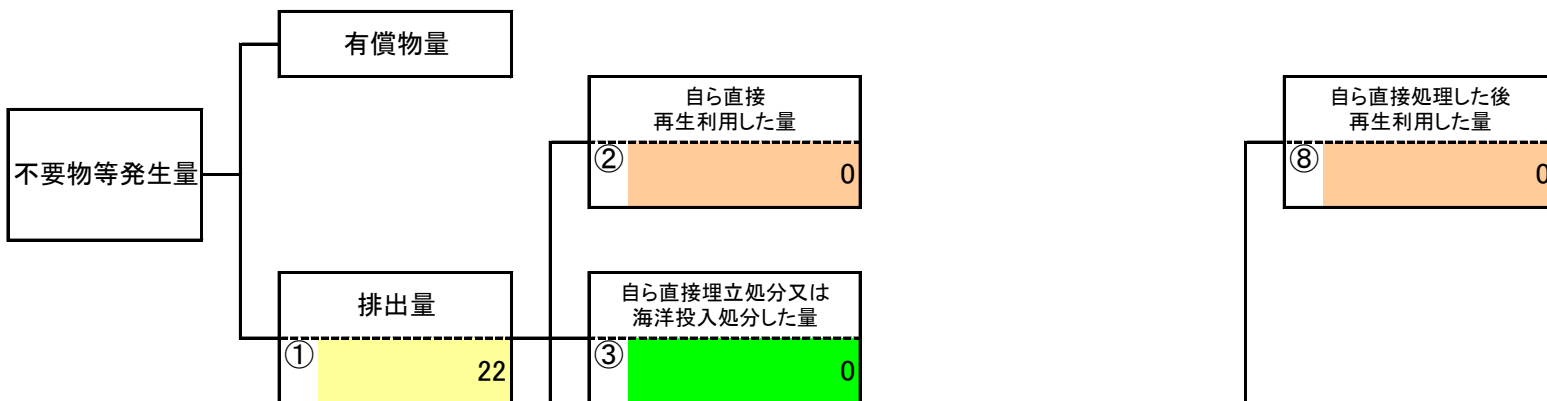
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



計画の実施状況

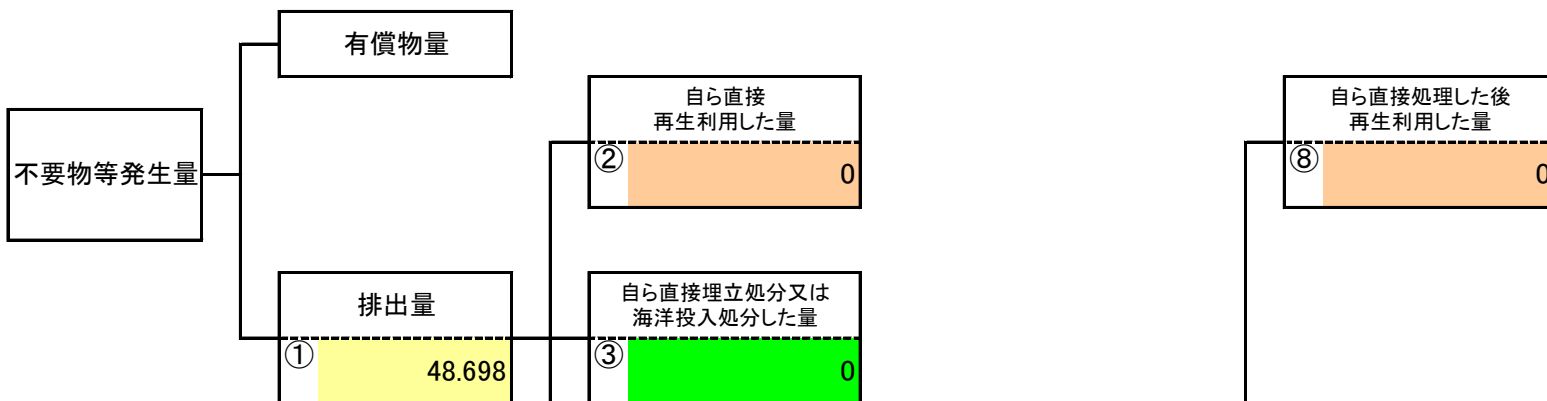
(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)



項目	実績値
①排出量	22
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	22
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.5
⑫再生利用業者への処理委託量	22
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	48.698
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	48.698
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.968
⑫再生利用業者への処理委託量	34.58
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

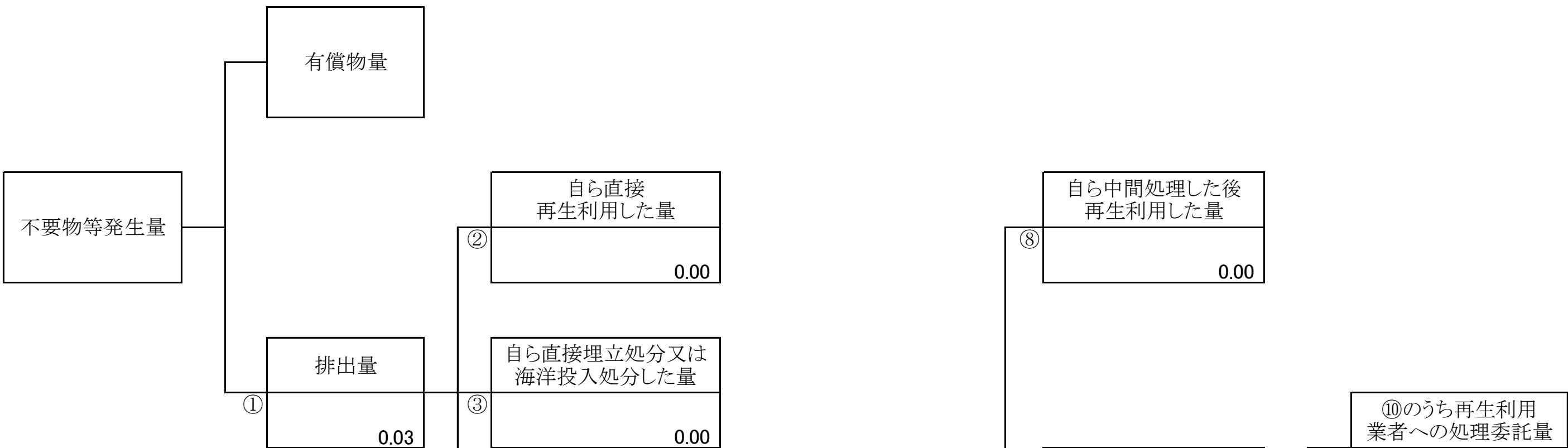
（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
令和8年6月12日				
長崎県知事 殿				
提出者				
住 所 長崎県長崎市飽の浦町5番3号				
氏 名 三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社				
西日本建設統括部統括部長 安井 広宣				
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)				
電話番号 095-818-0600				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称		三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社 西日本建設統括部		
事業場の所在地		長崎県長崎市飽の浦町5番3号		
事業の種類		06 総合工事業（日本標準産業分類 中区分）		
産業廃棄物処理計画における計画期間		令和7年4月1日～令和8年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値				
項目		目標値	項目	目標値
排出量		1,758.33 t	全処理委託量	1,758.33 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	880.42 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0.00 t	再生利用業者への処理委託量	1,755.27 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量		0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄				

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)

(単位：トン)

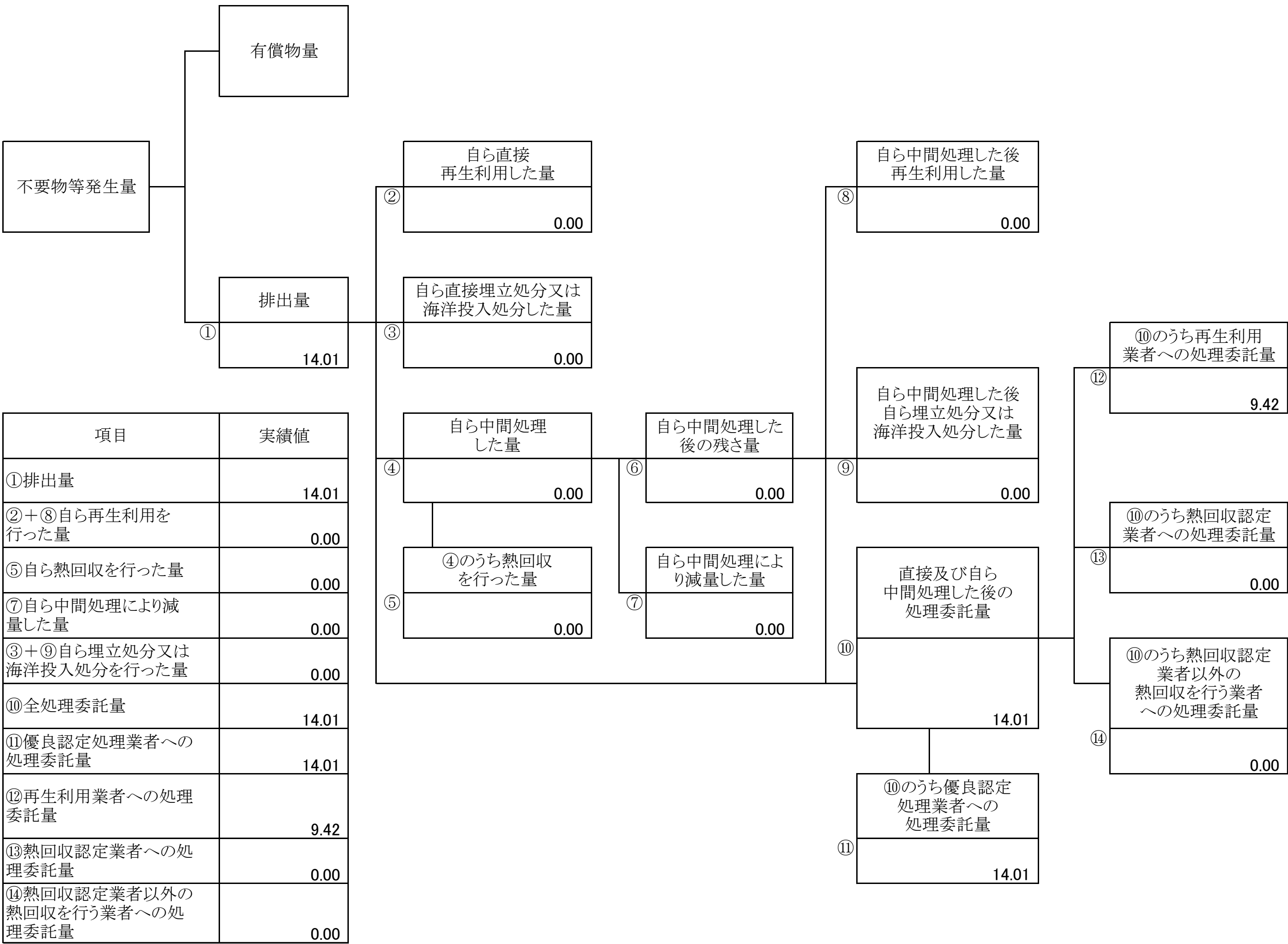


項目	実績値
①排出量	0.03
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.03
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.03
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

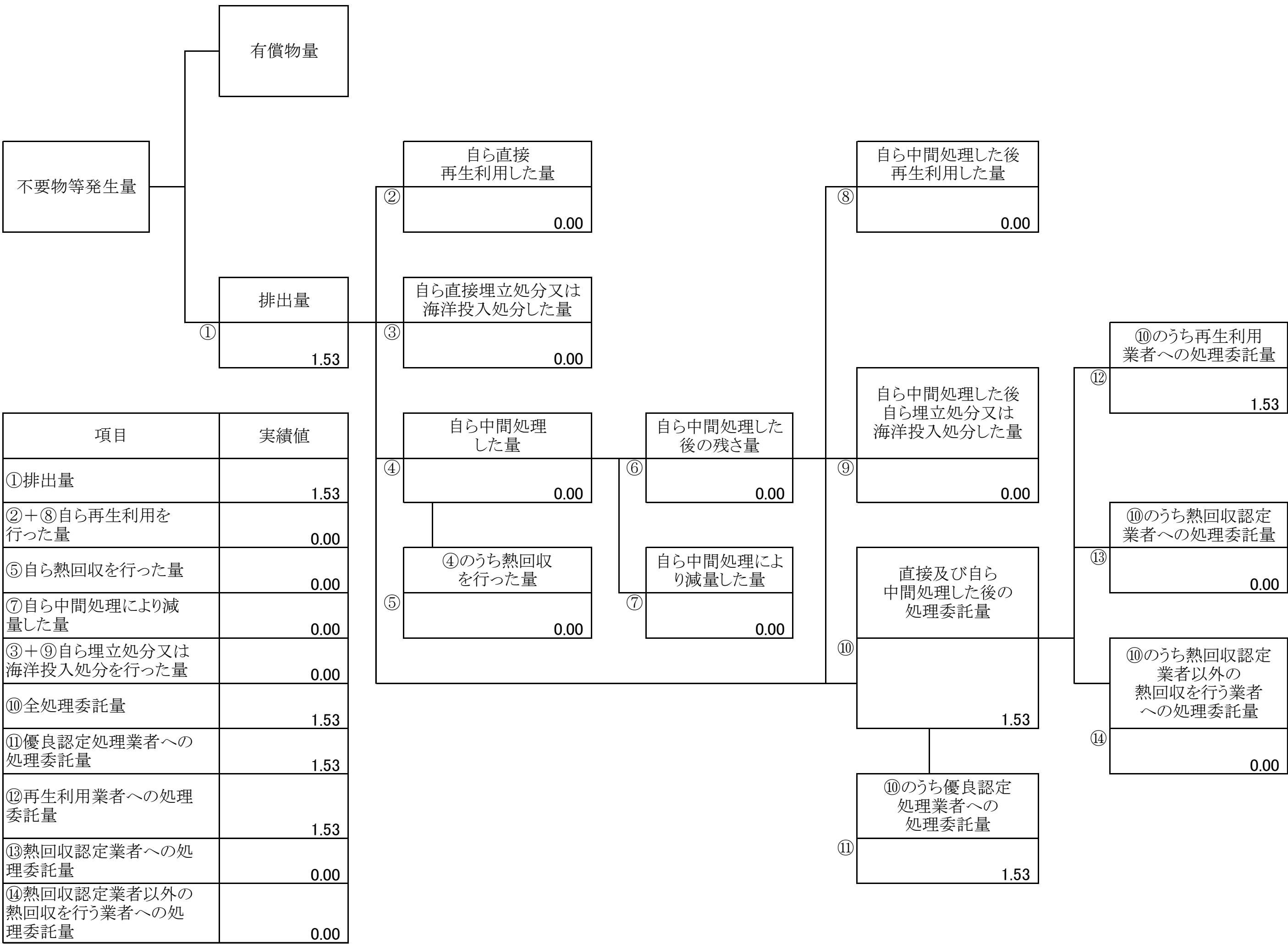
(単位：トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)

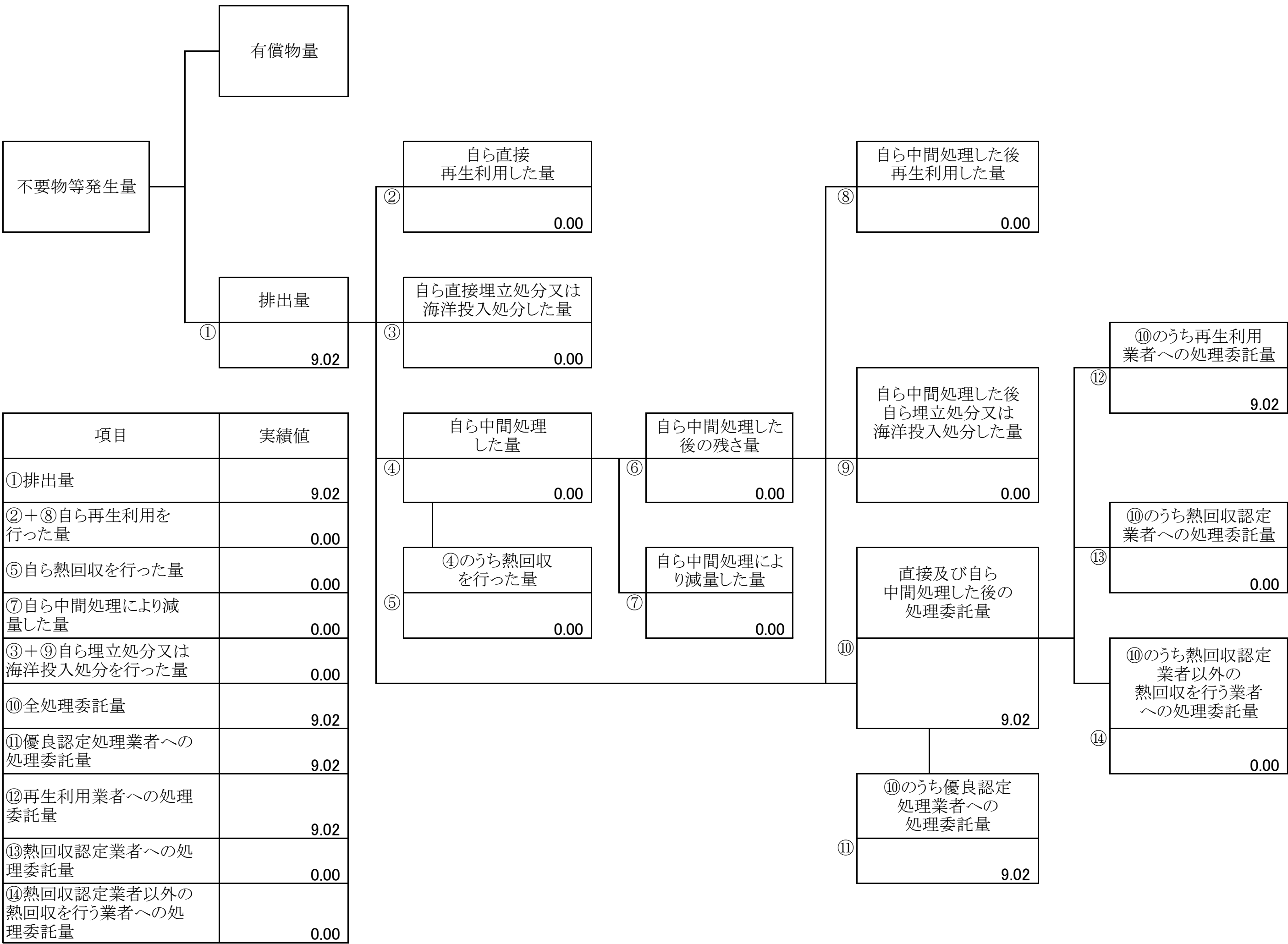
(単位：トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

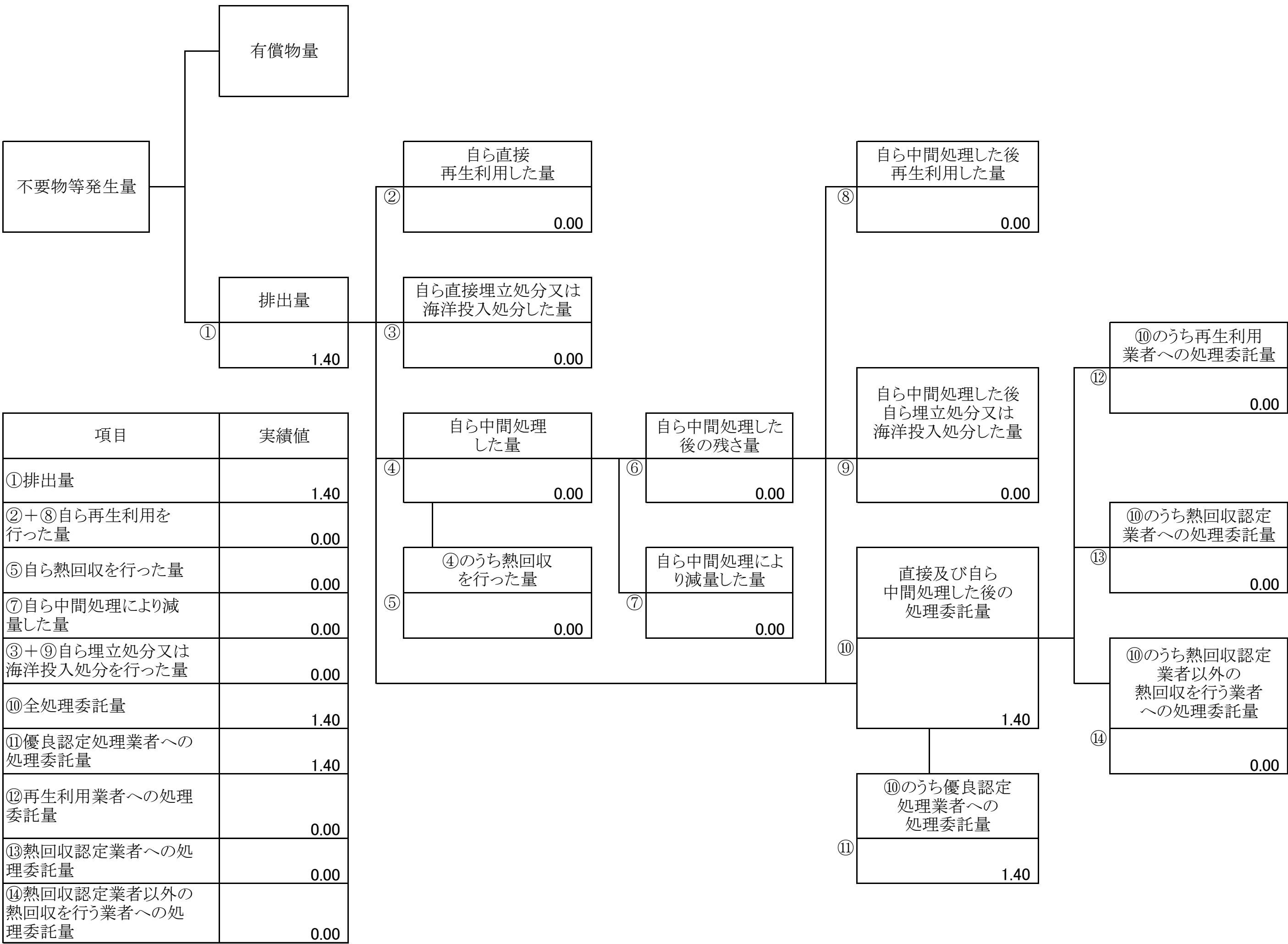
(単位：トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)

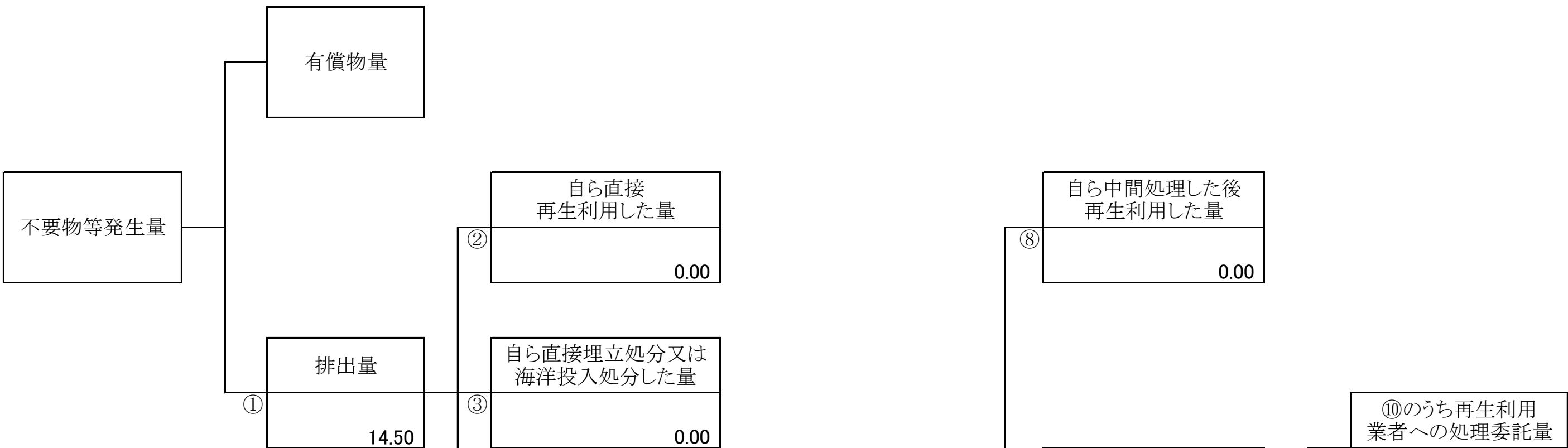
(単位：トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず)

(単位：トン)

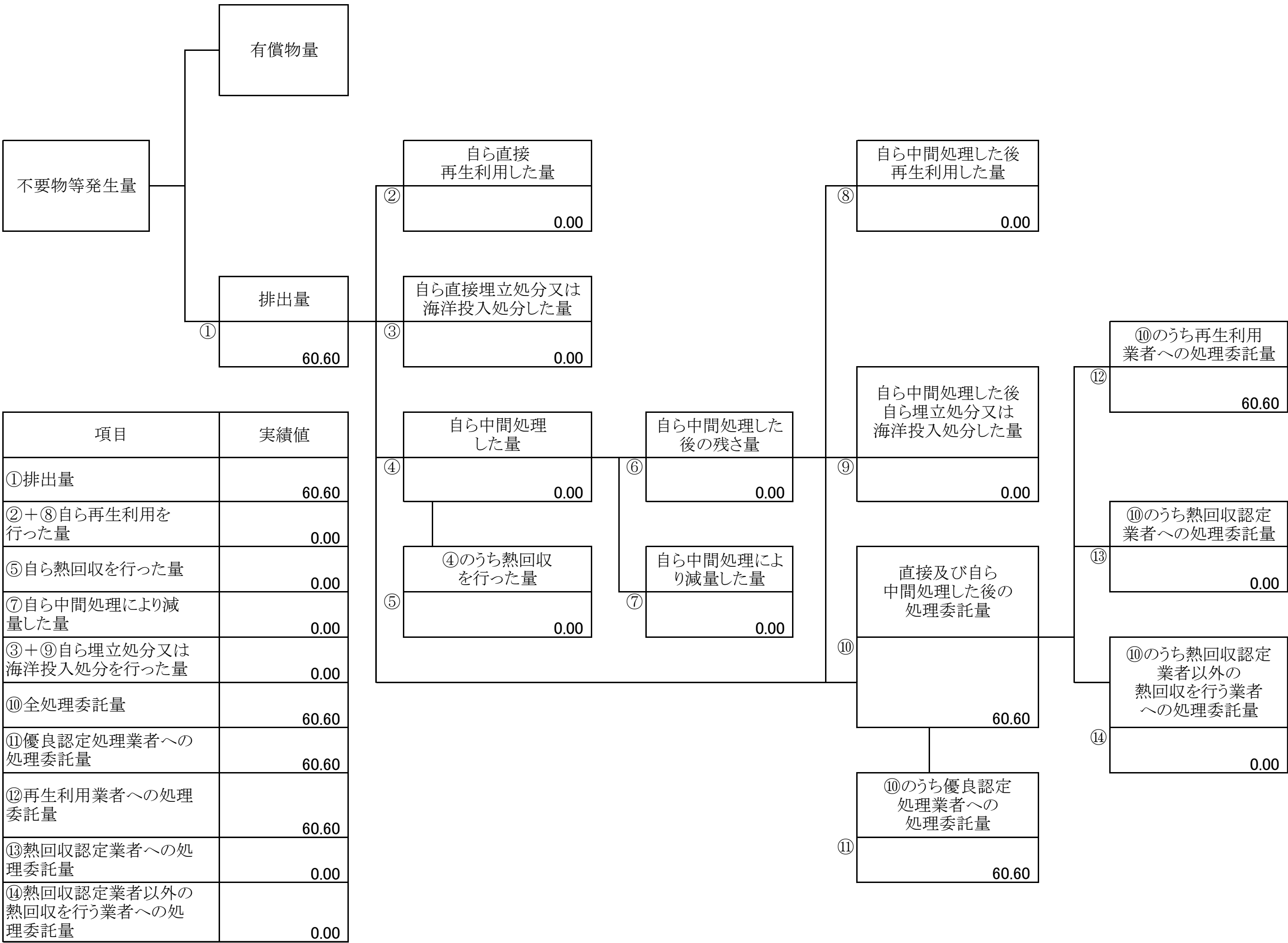


項目	実績値
①排出量	14.50
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	14.50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.50
⑫再生利用業者への処理委託量	14.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃石膏ボード)

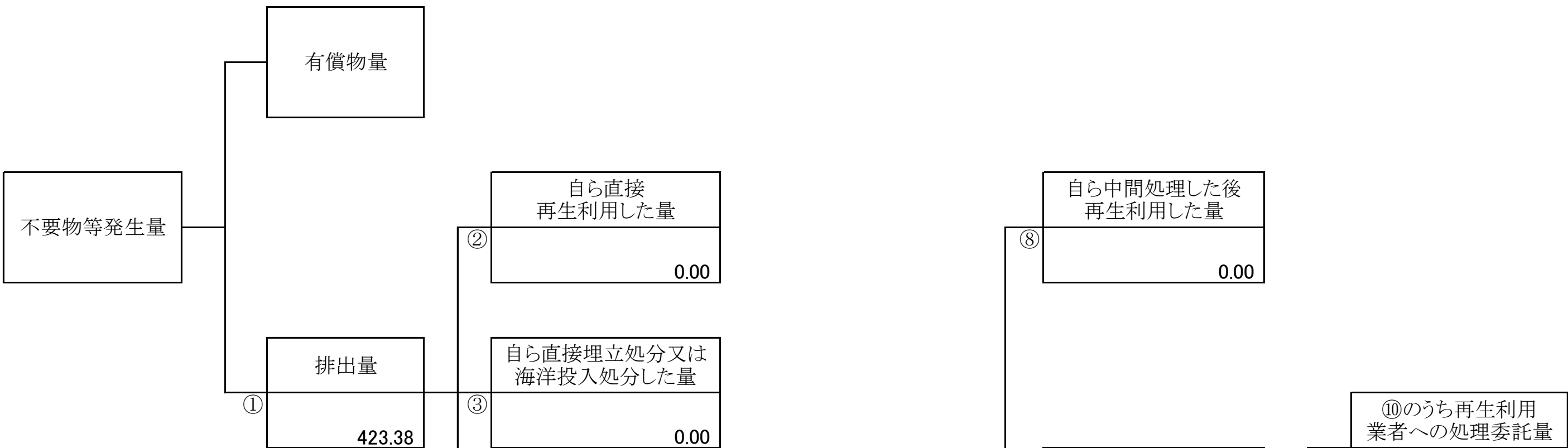
(単位：トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

(単位: トン)

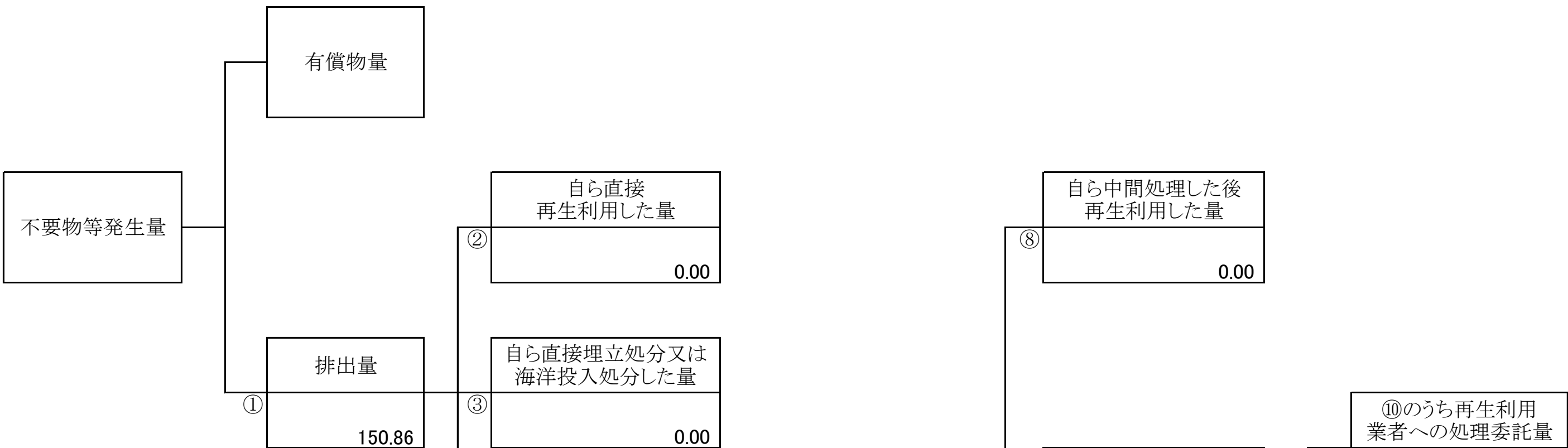


項目	実績値
①排出量	423.38
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	423.38
⑪優良認定処理業者への処理委託量	54.76
⑫再生利用業者への処理委託量	423.38
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

(単位: トン)

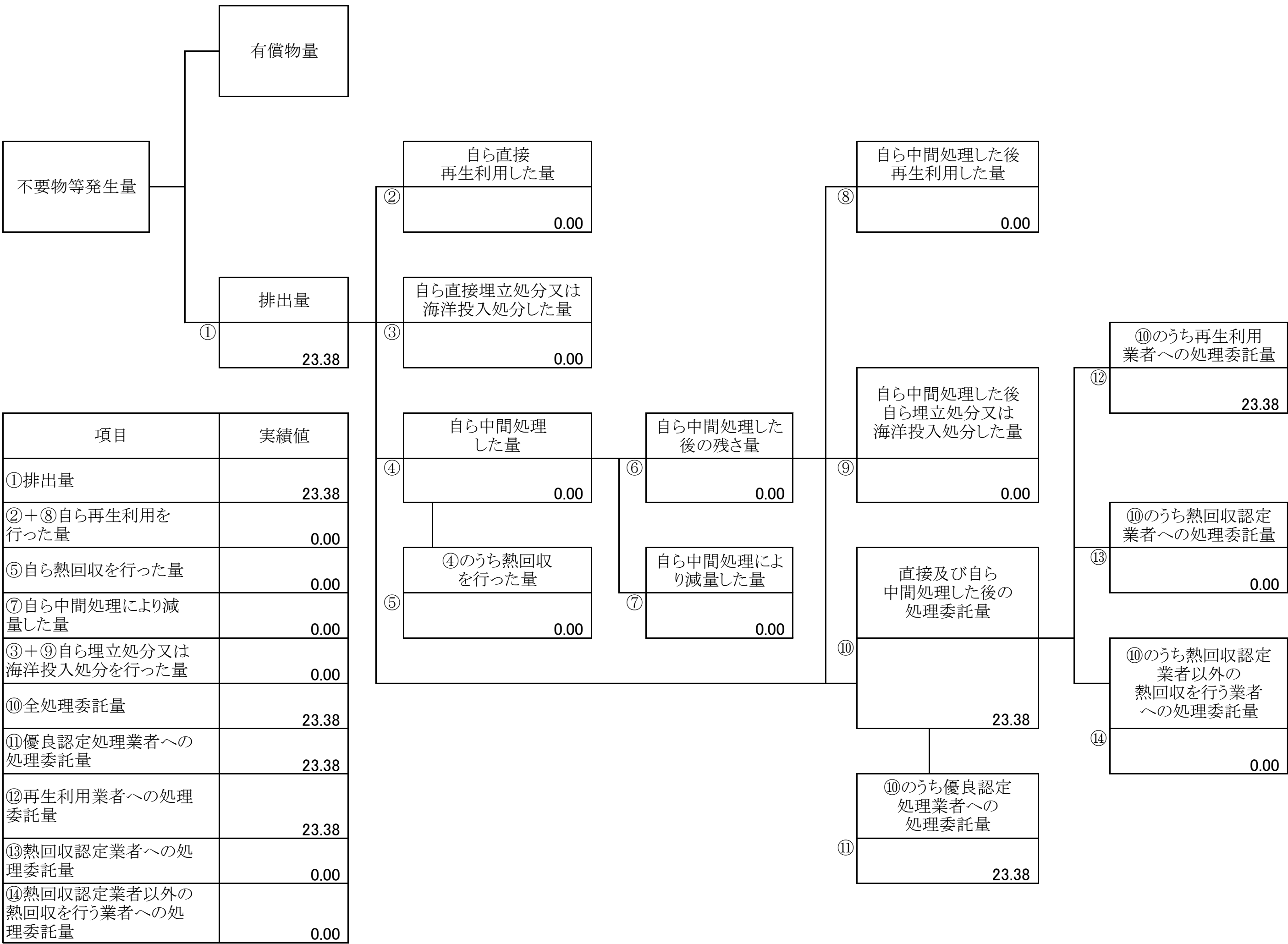


項目	実績値
①排出量	150.86
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	150.86
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.46
⑫再生利用業者への処理委託量	150.86
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：その他がれき類)

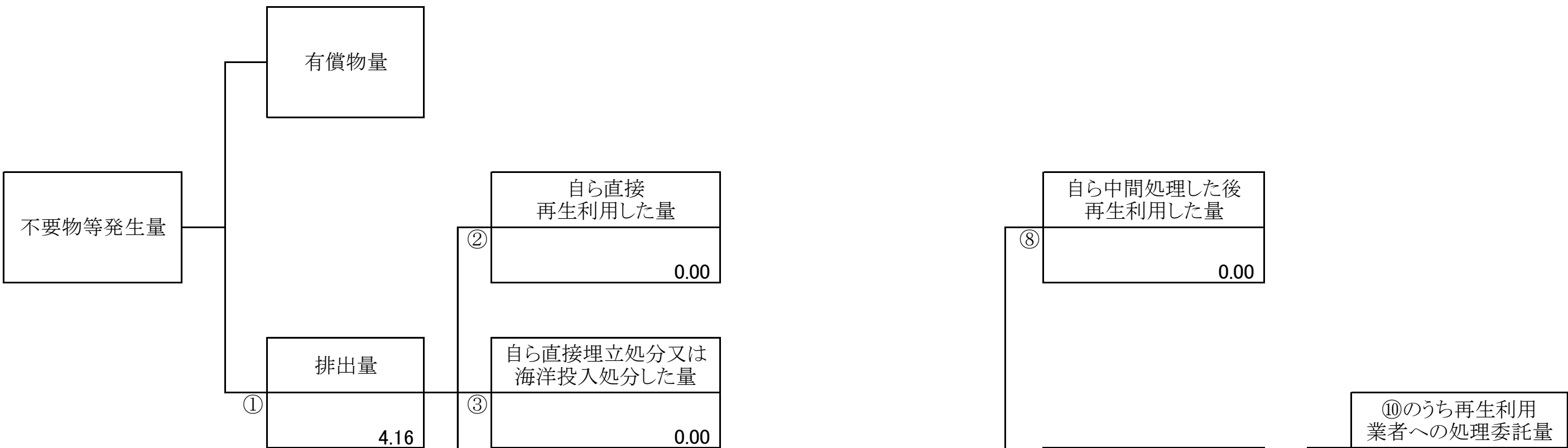
(単位：トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物(安定型))

(単位：トン)

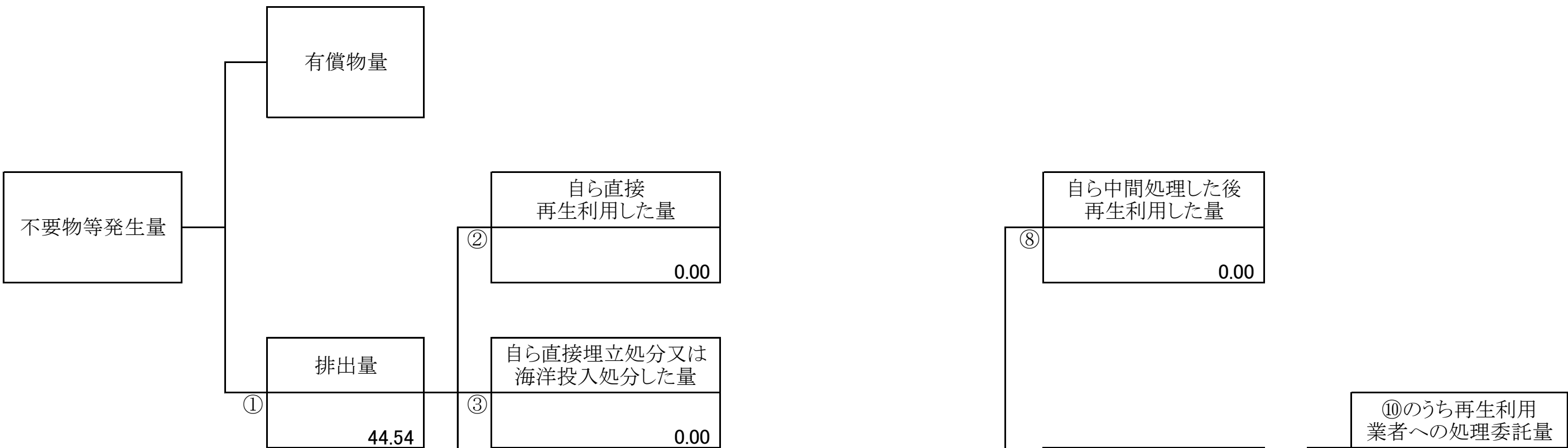


項目	実績値
①排出量	4.16
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.16
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.16
⑫再生利用業者への処理委託量	1.04
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物(管理型))

(単位：トン)

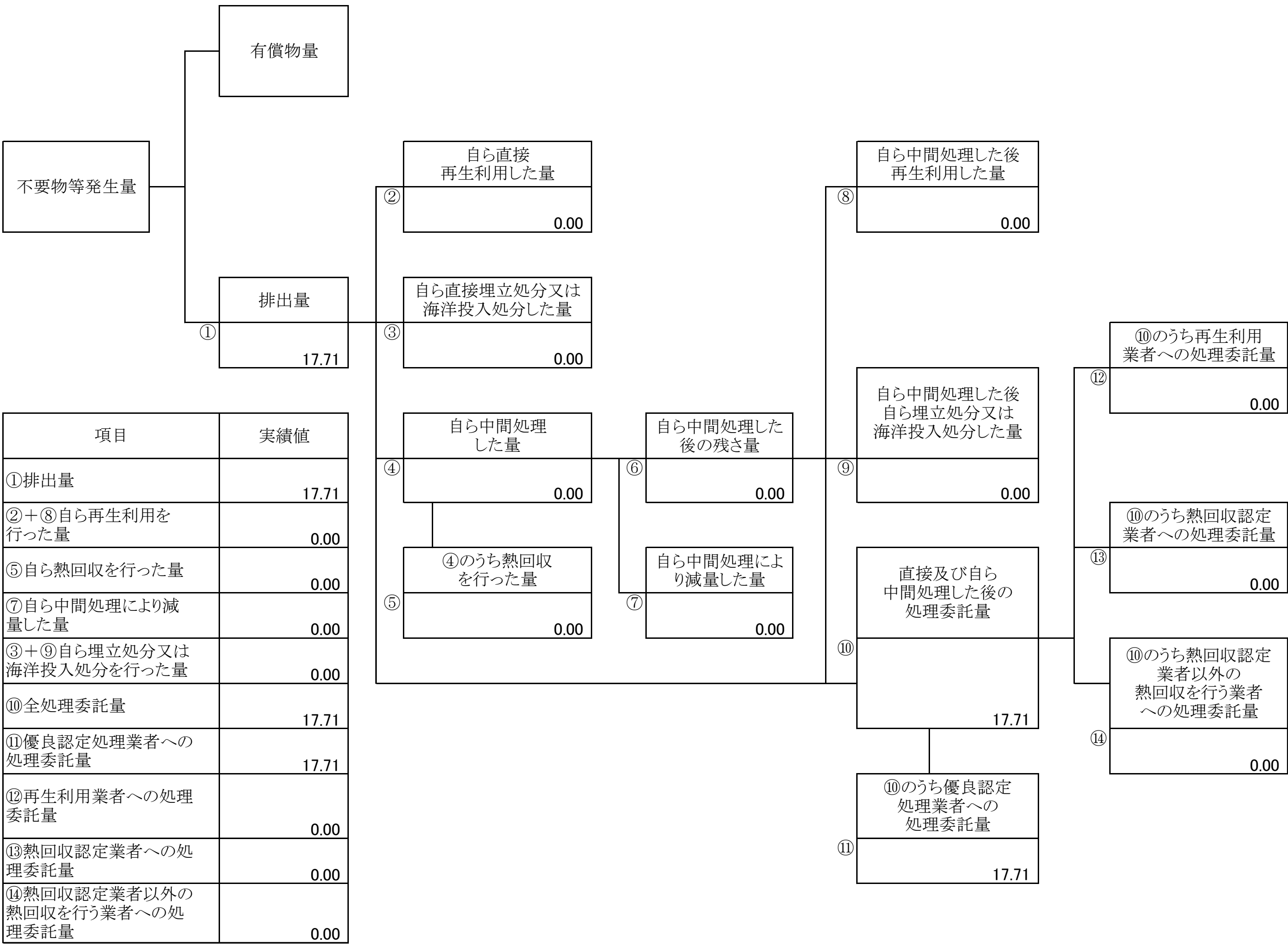


項目	実績値
①排出量	44.54
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	44.54
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.54
⑫再生利用業者への処理委託量	41.68
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物)

(単位：トン)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。